

湯上市  
男女共同参画推進計画に関する市民アンケート調査

[アンケート調査結果報告書]

令和7年9月

湯上市



# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施状況	1
3. 報告書の見方	1
第2章 調査結果	2
(1) 回答者の基本属性	2
1) 性別	2
2) 年齢	2
3) 居住地区	3
4) 職業	4
5) 婚姻状況	6
6) 共働きの状況	7
7) 家族形態	8
(2) 男女共同参画の意識について	9
1) 「男女共同参画社会」の認知状況	9
2) 男女平等の状況	11
3) 男女平等社会の実現に向けて重要なこと	13
4) 女性の社会参画に向けて必要なこと	16
(3) 職場・家庭・地域生活等に関する意識について	19
1) 家庭での役割分担	19
2) 男女別役割分担の考え方	23
3) 性別による子どもの育て方	25
4) 女性が職業をもつこと	27
5) 女性が働き続けることを阻害する要因	29
6) 働く女性の職場における問題点	32
7) 家庭での役割分担	35
8) 男性の育児・介護休業取得率が低い理由	37
9) 男性の家事への参加促進のために必要なこと	39
10) 各種活動への参加状況	42
11) 仕事や家庭の優先度	52
12) ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なこと	56
(4) DV・ハラスメントについて	59
1) DVについて身近で見聞きした経験	59
2) セクハラについて身近で見聞きした経験	60
3) マタハラについて身近で見聞きした経験	61
(5) 性の多様性について	62
1) 多様性のある社会に関する用語の認知状況	62
2) 性的少数者の支援のために必要なこと	65
(6) 行政への要望についておうかがいします。	68
1) 男女共同参画社会の促進のために市に期待すること	68
2) 市への意見・要望	71



# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「潟上市男女共同参画推進計画」の次期計画策定に向けた基礎資料とすることを目的として、市民の皆様の男女共同参画社会の促進に向けた考え方、身の回りの状況などの実態を把握するために実施したものです。

## 2. 調査の実施状況

### ①調査期間

令和7年8月

### ②調査方法

- ・ 郵送による配布・回収
- ・ Web 調査

### ③調査対象

18歳以上の一般市民：1,000名

### ④回収状況

発送数	回収区分	回収数		無効票	有効回収数		
		計	回収率		計	有効回収率	
1,000件	郵送	257件	355件	0件	257件	351件	35.1%
	Web	98件			94件		

※郵送調査とWeb調査に重複して回答した票はありませんでした。

※設問への回答がない票、回答IDが判別できない票については回収無効票として集計対象から除外しています。

## 3. 報告書の見方

○図表の中のnは回答者の総数を意味しています。設問によっては、回答者が制限される（別の設問である選択肢を選んだ回答者のみ回答する場合など）ため、nの数は一定ではありません。

○比率は、nを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、表示されている百分比の合計が100%にならない場合があります。

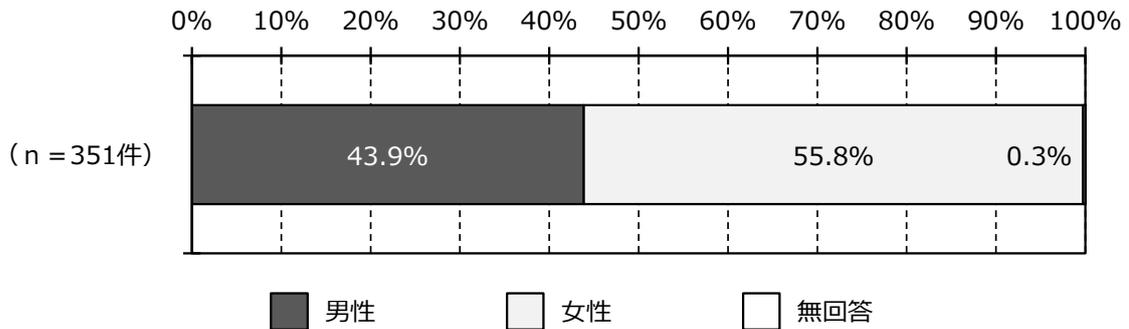
○複数回答が可能な設問では、その比率の合計が100%を上回ることがあります。

## 第2章 調査結果

### (1) 回答者の基本属性

#### 1) 性別

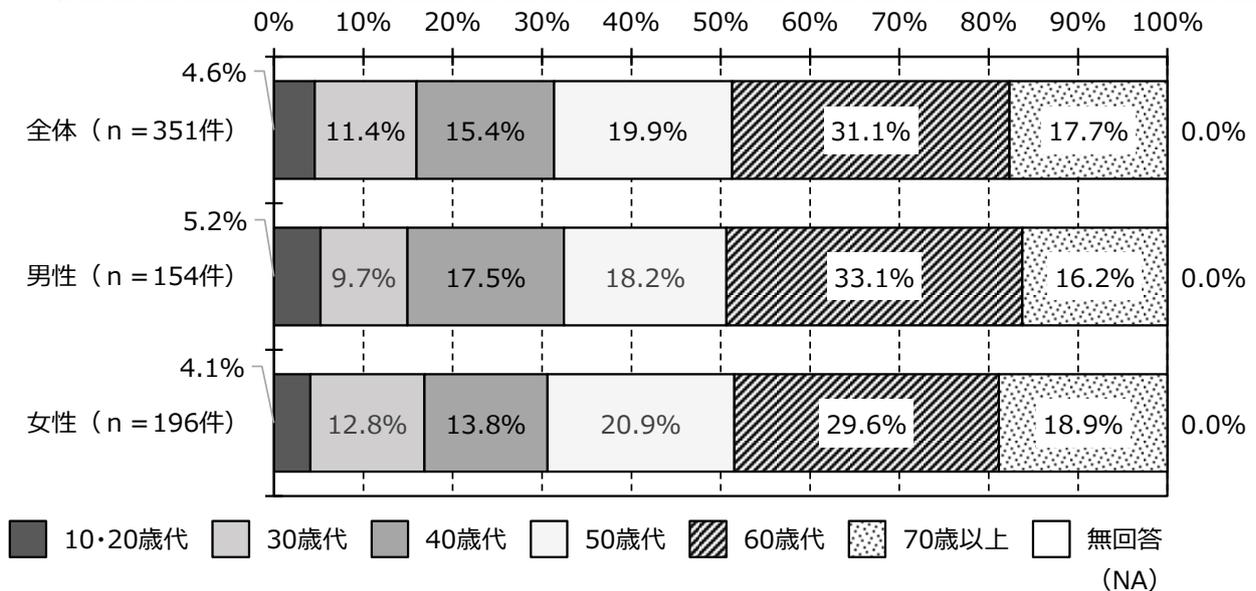
問1 : あなたの性別についてお答えください。(〇は1つ)



回答者の性別は「男性」が43.9%、「女性」が55.8%で、やや女性の占める割合が高くなっています。性別について回答したくないという「無回答」は0.3%（1件）となっています。

#### 2) 年齢

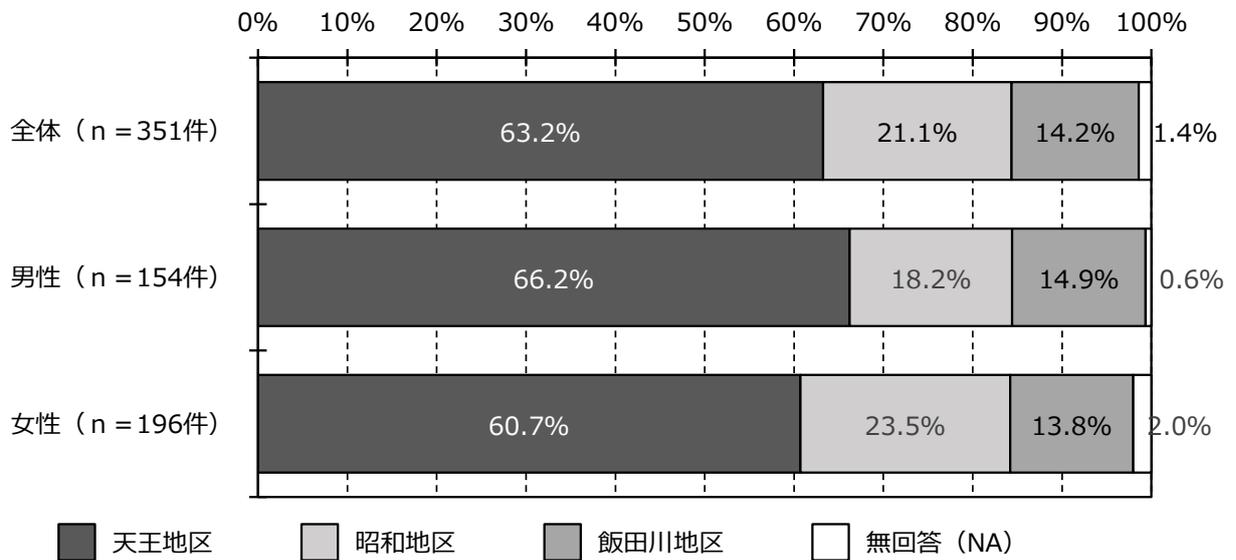
問2 : あなたの年齢についてお答えください。(〇は1つ)



回答者の年齢は男女とも「60歳代」が3割前後を占めてもっとも多くなっています。「70歳以上」とあわせると、男女とも回答者の半数近くを60歳以上が占めています。

### 3) 居住地区

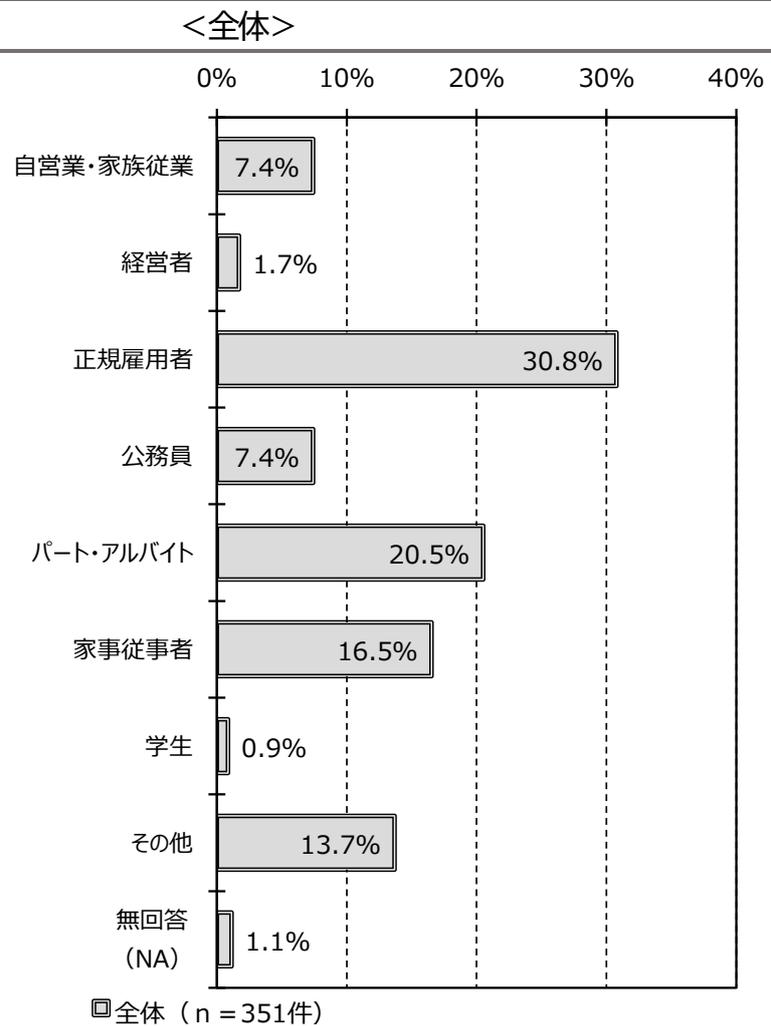
問3 : あなたがお住まいの地区についてお答えください。(〇は1つ)



居住地区をみると、男女とも「天王地区」が6割以上を占めてもっとも多くなっています。ついで男女とも「昭和地区」の割合が高く、「飯田川地区」の割合がもっとも低くなっています。

## 4) 職業

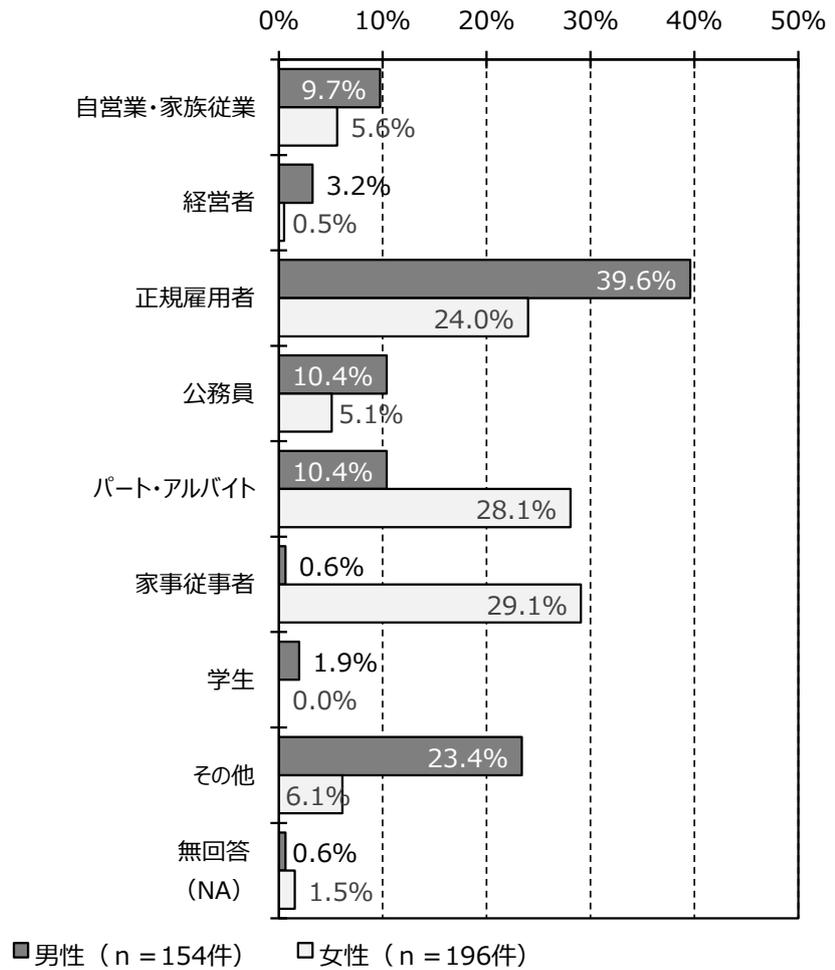
問4 : 現在のあなたの主な職業についてお答えください。(〇は1つ)



回答者の職業は全体では「正規雇用者」が30.8%でもっとも多く、ついで「パート・アルバイト」が20.5%となっています。

「その他」としては、無職が多く挙げられていました。

<性別>

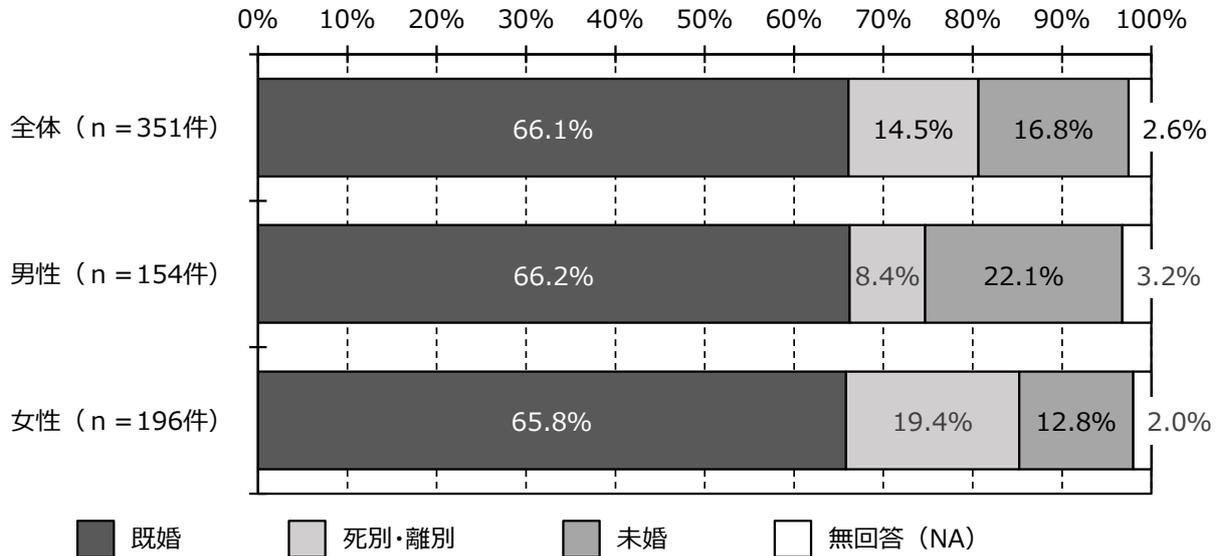


性別にみると、男性では「正規雇用者」がとくに多く、39.6%を占めています。  
女性は「正規雇用者は24.0%にとどまり、「パート・アルバイト」が28.1%、「家事従事者」が29.1%で、男性よりも高い割合を占めています。

## 5) 婚姻状況

問5 : 婚姻状況についてお答えください。(〇は1つ)

※既婚には事実婚(婚姻届の手続きをとっていない夫婦)も含まれます。



婚姻状況を見ると、男女ともに「既婚」が6割以上を占めてもっとも多くなっています。ついで男性では「未婚」が、女性では「死別・離別」が多くなっています。

### [属性別にみた回答傾向]

#### <全体>

		n	既婚	死別・離別	未婚	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>66.1%</b>	<b>14.5%</b>	<b>16.8%</b>	<b>2.6%</b>
		351件	232件	51件	59件	9件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
		16件	4件	0件	12件	0件
	30歳代	100.0%	62.5%	0.0%	37.5%	0.0%
		40件	25件	0件	15件	0件
	40歳代	100.0%	68.5%	5.6%	25.9%	0.0%
		54件	37件	3件	14件	0件
	50歳代	100.0%	70.0%	17.1%	8.6%	4.3%
	70件	49件	12件	6件	3件	
60歳代	100.0%	67.0%	20.2%	9.2%	3.7%	
	109件	73件	22件	10件	4件	
70歳以上	100.0%	71.0%	22.6%	3.2%	3.2%	
	62件	44件	14件	2件	2件	

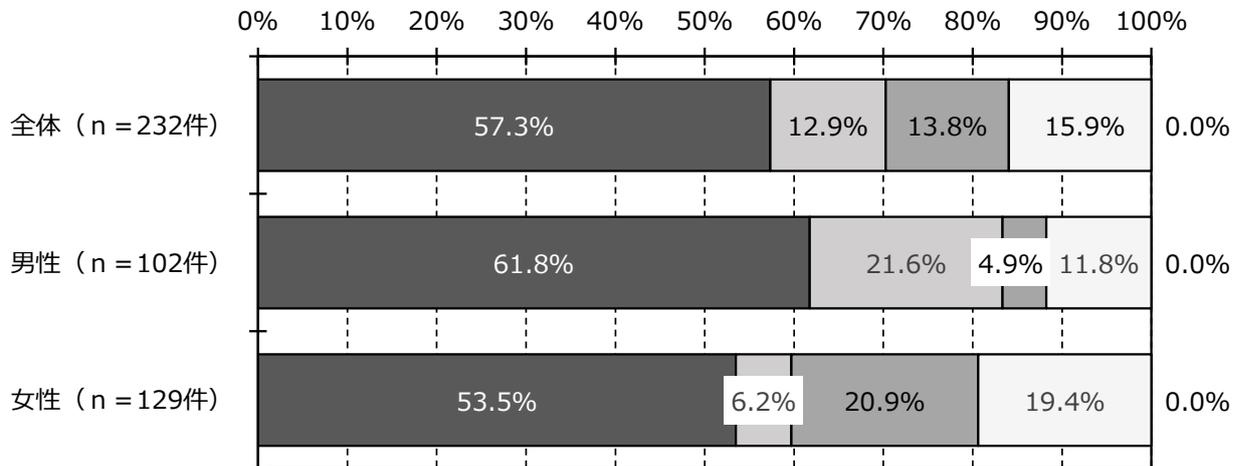
年齢別にみると、30歳以上の回答者の6割以上は「既婚」となっています。  
「未婚」は、30歳代では37.5%、40歳代では25.9%となっています。

## 6) 共働きの状況

◆問5で「1. 既婚」と回答された方におうかがいします。

問6 : 共働きの状況についてお答えください。(〇は1つ)

※共働きには自営、パート、内職も含まれます。



共働きである
  自分だけ働いている
  配偶者だけ働いている
  どちらも働いていない
  無回答 (NA)

既婚者に共働きの状況について聞くと、男性では6割が、女性では5割以上が「共働きである」としています。

### [属性別にみた回答傾向]

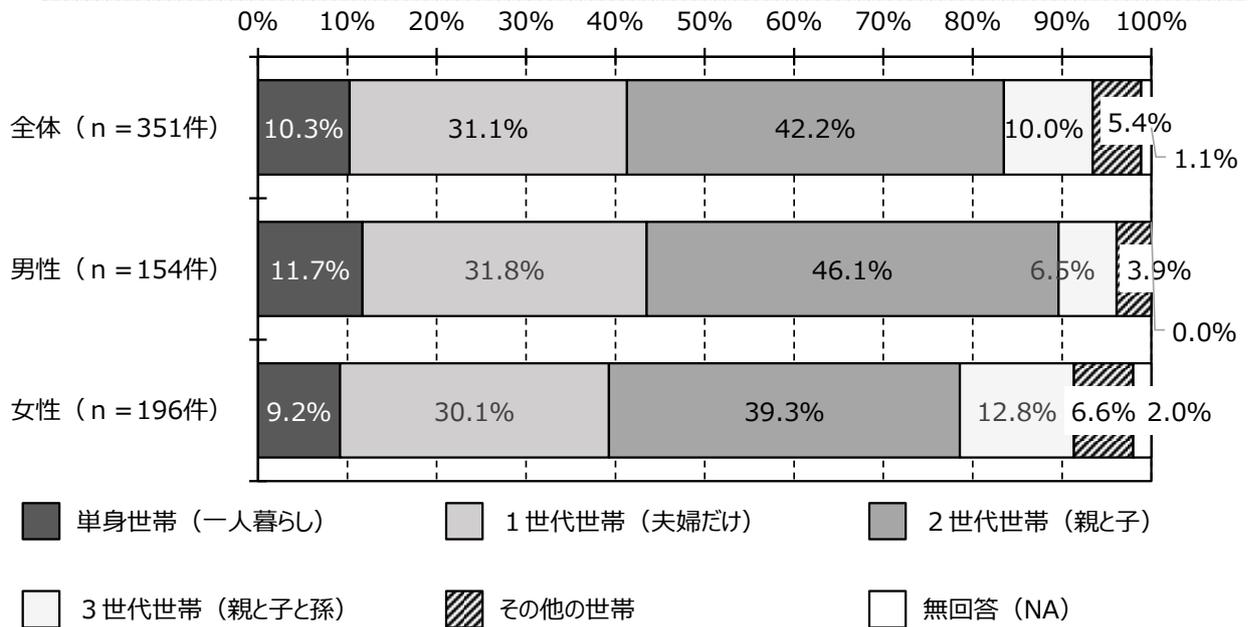
#### <全体>

		n	共働きである	自分だけ働いている	配偶者だけ働いている	どちらも働いていない	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>57.3%</b>	<b>12.9%</b>	<b>13.8%</b>	<b>15.9%</b>	<b>0.0%</b>
		232件	133件	30件	32件	37件	0件
年齢	10・20歳代	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		4件	4件	0件	0件	0件	0件
	30歳代	100.0%	88.0%	4.0%	8.0%	0.0%	0.0%
		25件	22件	1件	2件	0件	0件
	40歳代	100.0%	86.5%	5.4%	5.4%	2.7%	0.0%
		37件	32件	2件	2件	1件	0件
	50歳代	100.0%	75.5%	6.1%	14.3%	4.1%	0.0%
	49件	37件	3件	7件	2件	0件	
60歳代	100.0%	42.5%	27.4%	17.8%	12.3%	0.0%	
	73件	31件	20件	13件	9件	0件	
70歳以上	100.0%	15.9%	9.1%	18.2%	56.8%	0.0%	
	44件	7件	4件	8件	25件	0件	

年齢別にみると、60歳未満の回答者では7割以上が「共働きである」としています。60歳代では「自分だけ働いている」が27.4%で、他の年代よりも高い割合を占めています。

## 7) 家族形態

問7 : あなたの家族形態についてお答えください。(〇は1つ)



家族形態をみると、「2世代世帯 (親と子)」が男性では 46.1%、女性では 39.3%でもっとも多くなっています。

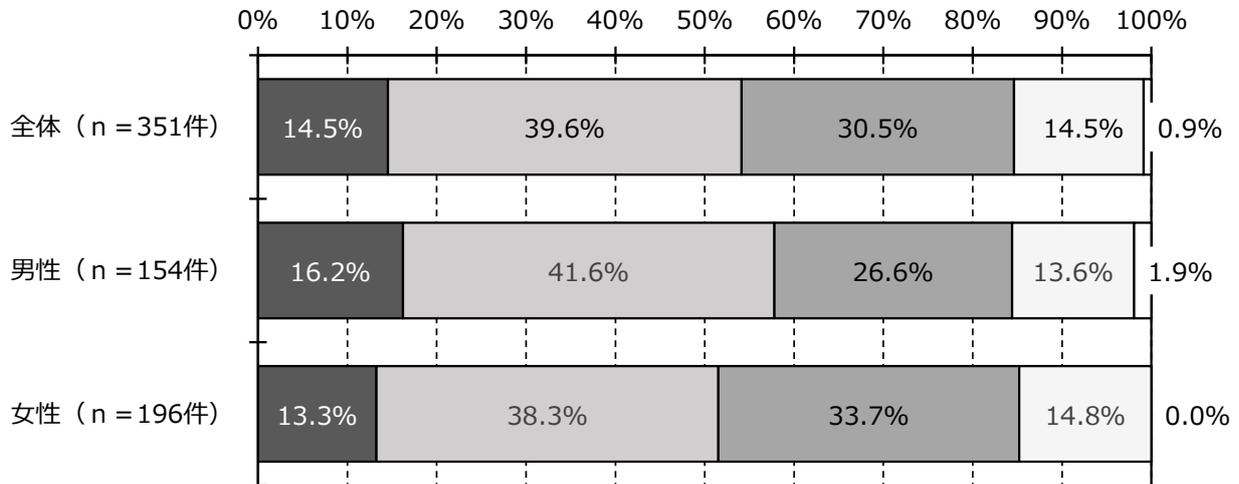
男女とも「単身世帯 (一人暮らし)」は1割前後、「1世代世帯 (夫婦だけ)」は3割程度を占めています。

「3世代世帯 (親と子と孫)」は女性では 12.8%と1割を超えており、男性よりも割合が高くなっています。

## (2) 男女共同参画の意識について

### 1) 「男女共同参画社会」の認知状況

問8 「男女共同参画社会」について知っていますか。(〇は1つ)



- どのような社会か、よく知っている
- おおむね、どのような社会なのかは知っている
- 名称だけは聞いたことがある
- その名称は、初めて聞いた
- 無回答 (NA)

「男女共同参画社会」については男女とも「おおむね、どのような社会なのかは知っている」という回答がもっとも多くなっていますが、「名称だけは聞いたことがある」、「その名称は、初めて聞いた」というあまり内容までは理解していないという回答の割合は男性よりも女性の方が高くなっています。

#### [属性別にみた回答傾向]

##### <全体>

		n	どのような社会か、よく知っている	おおむね、どのような社会なのかは知っている	名称だけは聞いたことがある	その名称は、初めて聞いた	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>14.5%</b>	<b>39.6%</b>	<b>30.5%</b>	<b>14.5%</b>	<b>0.9%</b>
		351件	51件	139件	107件	51件	3件
年齢	10・20歳代	100.0%	31.3%	25.0%	18.8%	18.8%	6.3%
		16件	5件	4件	3件	3件	1件
	30歳代	100.0%	12.5%	45.0%	35.0%	5.0%	2.5%
		40件	5件	18件	14件	2件	1件
	40歳代	100.0%	16.7%	35.2%	20.4%	27.8%	0.0%
		54件	9件	19件	11件	15件	0件
	50歳代	100.0%	14.3%	32.9%	37.1%	15.7%	0.0%
	70件	10件	23件	26件	11件	0件	
60歳代	100.0%	14.7%	44.0%	27.5%	12.8%	0.9%	
	109件	16件	48件	30件	14件	1件	
70歳以上	100.0%	9.7%	43.5%	37.1%	9.7%	0.0%	
	62件	6件	27件	23件	6件	0件	

<性別>

		n	どのような社会か、よく知っている	おおむね、どのような社会なのかは知っている	名称だけは聞いたことがある	その名称は、初めて聞いた	無回答 (NA)
<b>■ 男性</b>	<b>全体</b>	<b>100.0%</b>	<b>16.2%</b>	<b>41.6%</b>	<b>26.6%</b>	<b>13.6%</b>	<b>1.9%</b>
		154件	25件	64件	41件	21件	3件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%
		8件	2件	3件	0件	2件	1件
	30歳代	100.0%	20.0%	40.0%	33.3%	0.0%	6.7%
		15件	3件	6件	5件	0件	1件
	40歳代	100.0%	22.2%	25.9%	25.9%	25.9%	0.0%
		27件	6件	7件	7件	7件	0件
	50歳代	100.0%	17.9%	35.7%	39.3%	7.1%	0.0%
	28件	5件	10件	11件	2件	0件	
60歳代	100.0%	13.7%	51.0%	19.6%	13.7%	2.0%	
	51件	7件	26件	10件	7件	1件	
70歳以上	100.0%	8.0%	48.0%	32.0%	12.0%	0.0%	
	25件	2件	12件	8件	3件	0件	
		n	どのような社会か、よく知っている	おおむね、どのような社会なのかは知っている	名称だけは聞いたことがある	その名称は、初めて聞いた	無回答 (NA)
<b>■ 女性</b>	<b>全体</b>	<b>100.0%</b>	<b>13.3%</b>	<b>38.3%</b>	<b>33.7%</b>	<b>14.8%</b>	<b>0.0%</b>
		196件	26件	75件	66件	29件	0件
年齢	10・20歳代	100.0%	37.5%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%
		8件	3件	1件	3件	1件	0件
	30歳代	100.0%	8.0%	48.0%	36.0%	8.0%	0.0%
		25件	2件	12件	9件	2件	0件
	40歳代	100.0%	11.1%	44.4%	14.8%	29.6%	0.0%
		27件	3件	12件	4件	8件	0件
	50歳代	100.0%	12.2%	31.7%	36.6%	19.5%	0.0%
	41件	5件	13件	15件	8件	0件	
60歳代	100.0%	15.5%	37.9%	34.5%	12.1%	0.0%	
	58件	9件	22件	20件	7件	0件	
70歳以上	100.0%	10.8%	40.5%	40.5%	8.1%	0.0%	
	37件	4件	15件	15件	3件	0件	

年齢別にみると、10・20歳代では「どのような社会か、よく知っている」(31.3%)という回答が3割を超えています。

「名称だけは聞いたことがある」、「その名称は、初めて聞いた」というあまり内容までは理解していないという回答の割合は、50歳代で半数を超えており、40歳代でも半数近くを占めており、40・50歳代で認知が不十分に行った状況となっています。

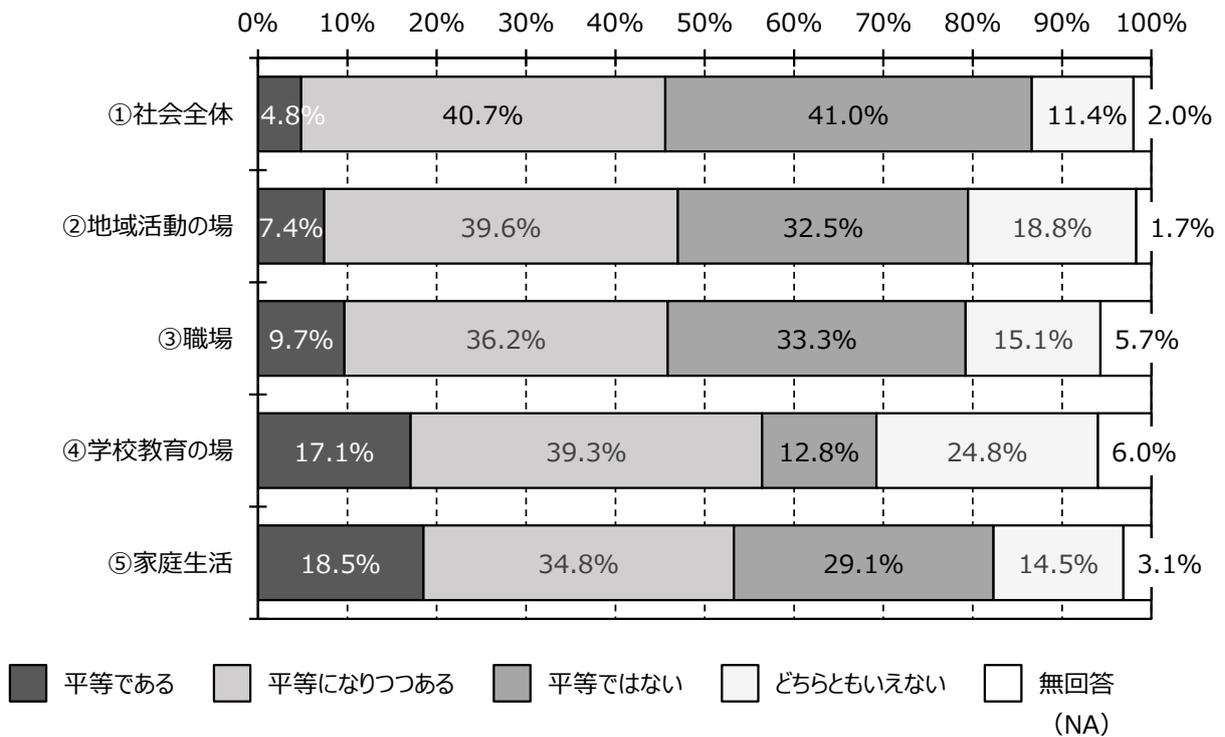
性別に年齢別の内訳をみると、「名称だけは聞いたことがある」、「その名称は、初めて聞いた」というあまり内容までは理解していないという回答の割合は、男性では40歳代、女性では50歳代で半数以上を占めています。

## 2) 男女平等の状況

問9 : 男女平等の現状についてあなたの考えにもっとも近いものはどれですか。(①～⑤の各項目についてそれぞれ〇は1つ)

<全体>

全体 (n=351件)

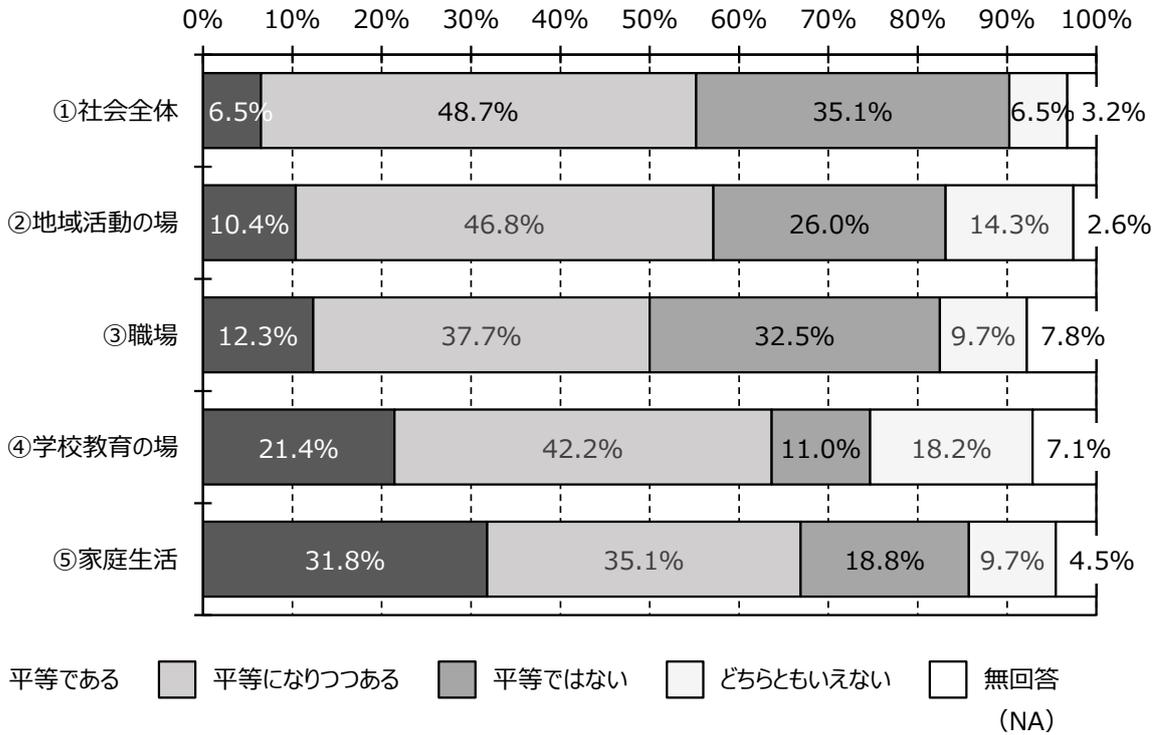


全体では「平等である」という回答の割合が高かったものは、④学校教育の場 (17.1%)、⑤家庭生活 (18.5%) となっています。

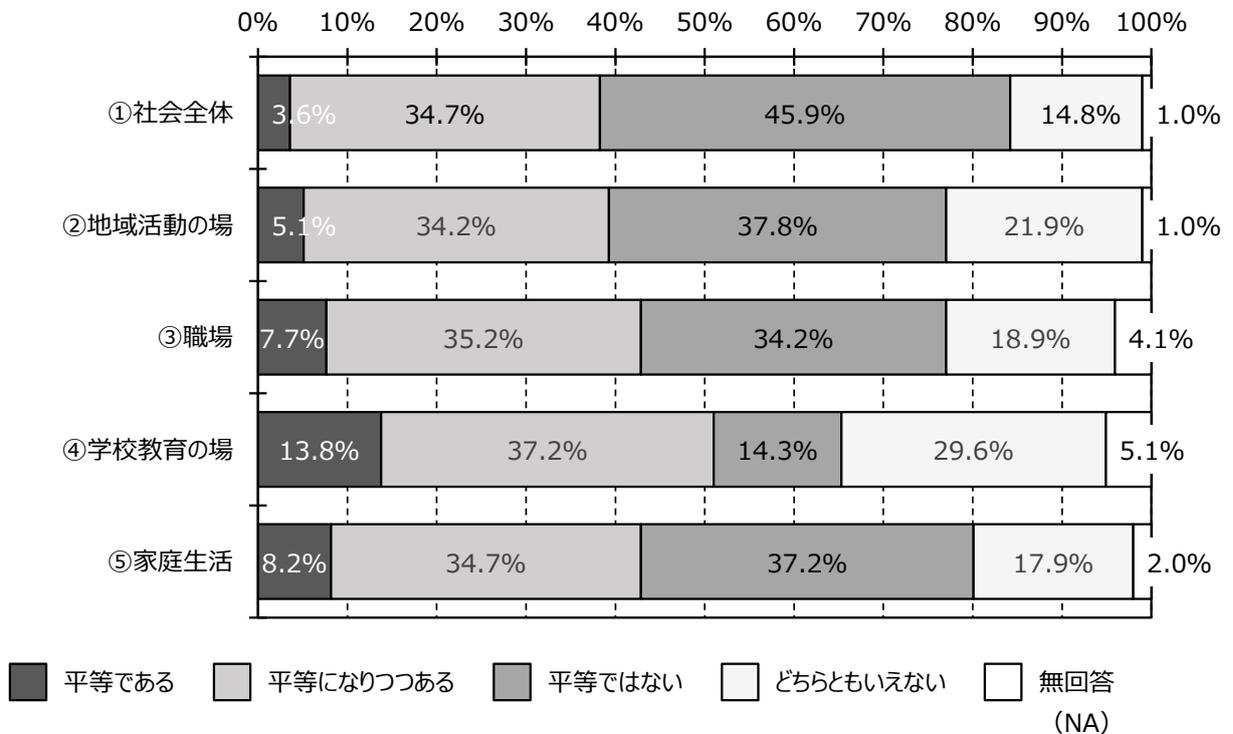
反対に「平等ではない」という回答が多かったものは①社会全体で、41.0%が平等ではないと評価しています。

<性別>

男性 (n = 154件)



女性 (n = 196件)

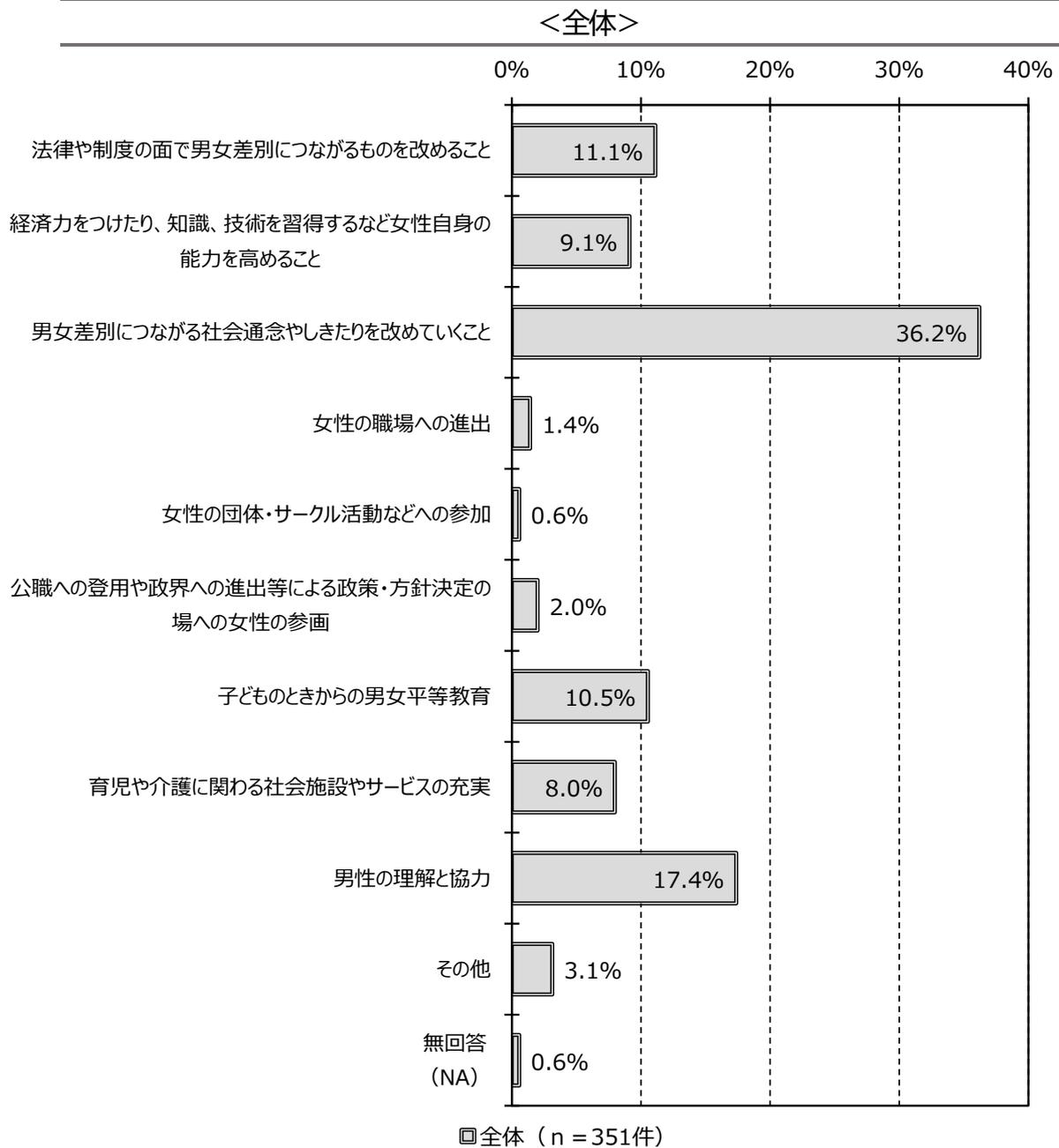


性別にみると、男性は全体と同様の傾向となっていますが、女性の場合、⑤家庭生活が「平等である」とする回答の割合は8.2%にとどまり、男性の31.8%とは大きな差が生じています。

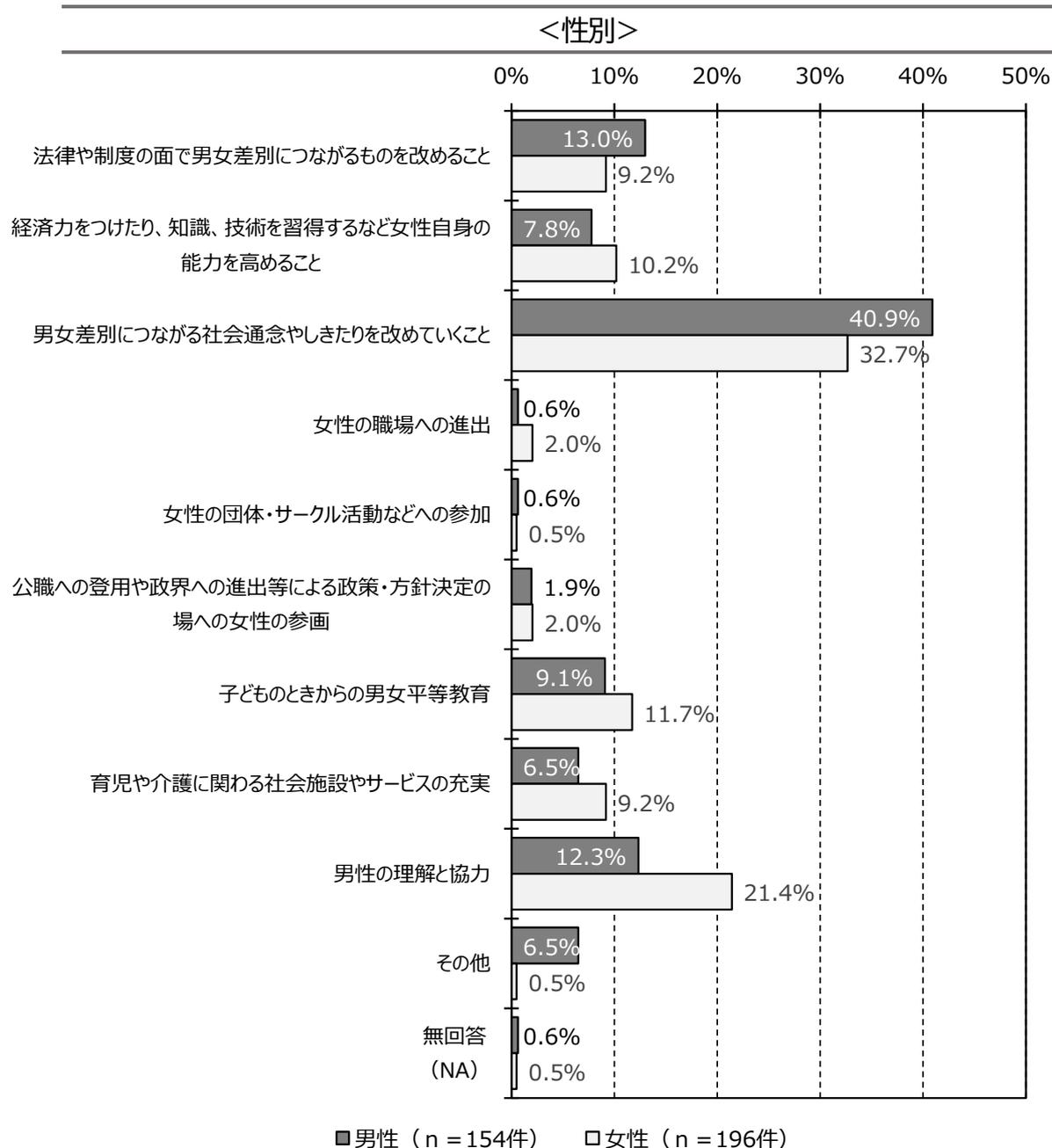
また①～⑤のすべての項目において女性よりも男性の方が「平等である」という回答割合が高くなっています。

### 3) 男女平等社会の実現に向けて重要なこと

問 10：男女がともに平等な関係を持って、生き生き暮らす社会を実現するために、あなたがもっとも重要と思うものは何ですか。（〇は1つ）



全体では「男女差別につながる社会通念やしきたりを改めていくこと」への回答が 36.2%でもっとも多くなっています。



性別にみると、「男女差別につながる社会通念やしきたりを改めていくこと」への回答割合は女性よりも男性の方が高くなっています。

女性では「男女差別につながる社会通念やしきたりを改めていくこと」について「男性の理解と協力」(21.4%) などへの回答割合が男性よりも高くなっています。

## [属性別にみた回答傾向]

### <全体>

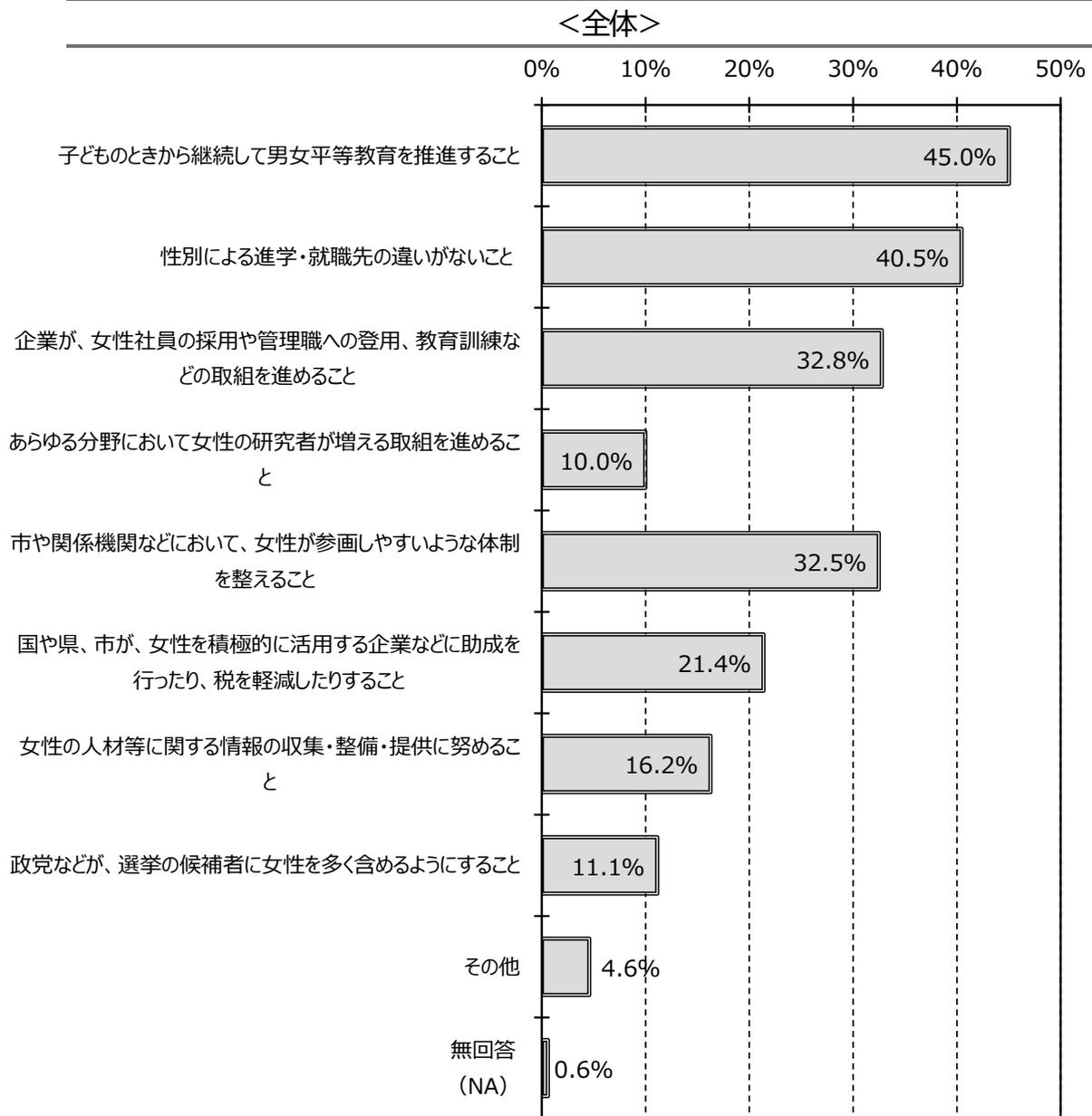
		n	法律や制度の面で男女差別につながるものを改めること	経済力をつけたり、知識、技術を習得するなど女性自身の能力を高めること	男女差別につながる社会通念やしきたりを改めていくこと	女性の職場への進出	女性の団体・サークル活動などへの参加	公職への登用や政界への進出等による政策・方針決定の場への女性の参画
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>11.1%</b> 39件	<b>9.1%</b> 32件	<b>36.2%</b> 127件	<b>1.4%</b> 5件	<b>0.6%</b> 2件	<b>2.0%</b> 7件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	6.3% 1件	6.3% 1件	25.0% 4件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	30歳代	100.0% 40件	7.5% 3件	15.0% 6件	22.5% 9件	2.5% 1件	0.0% 0件	0.0% 0件
	40歳代	100.0% 54件	9.3% 5件	3.7% 2件	40.7% 22件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	50歳代	100.0% 70件	17.1% 12件	5.7% 4件	34.3% 24件	1.4% 1件	0.0% 0件	2.9% 2件
	60歳代	100.0% 109件	10.1% 11件	9.2% 10件	43.1% 47件	2.8% 3件	1.8% 2件	4.6% 5件
	70歳以上	100.0% 62件	11.3% 7件	14.5% 9件	33.9% 21件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>10.5%</b> 37件	<b>8.0%</b> 28件	<b>17.4%</b> 61件	<b>3.1%</b> 11件	<b>0.6%</b> 2件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	12.5% 2件	12.5% 2件	18.8% 3件	12.5% 2件	6.3% 1件	
	30歳代	100.0% 40件	7.5% 3件	15.0% 6件	25.0% 10件	5.0% 2件	0.0% 0件	
	40歳代	100.0% 54件	14.8% 8件	3.7% 2件	18.5% 10件	9.3% 5件	0.0% 0件	
	50歳代	100.0% 70件	5.7% 4件	8.6% 6件	22.9% 16件	1.4% 1件	0.0% 0件	
	60歳代	100.0% 109件	11.0% 12件	4.6% 5件	12.8% 14件	0.0% 0件	0.0% 0件	
	70歳以上	100.0% 62件	12.9% 8件	11.3% 7件	12.9% 8件	1.6% 1件	1.6% 1件	

年齢別にみると、いずれの年代においても「男女差別につながる社会通念やしきたりを改めていくこと」への回答がもっとも多くなっています。

とくに40歳代、60歳代では4割以上が重要なこととして挙げています。

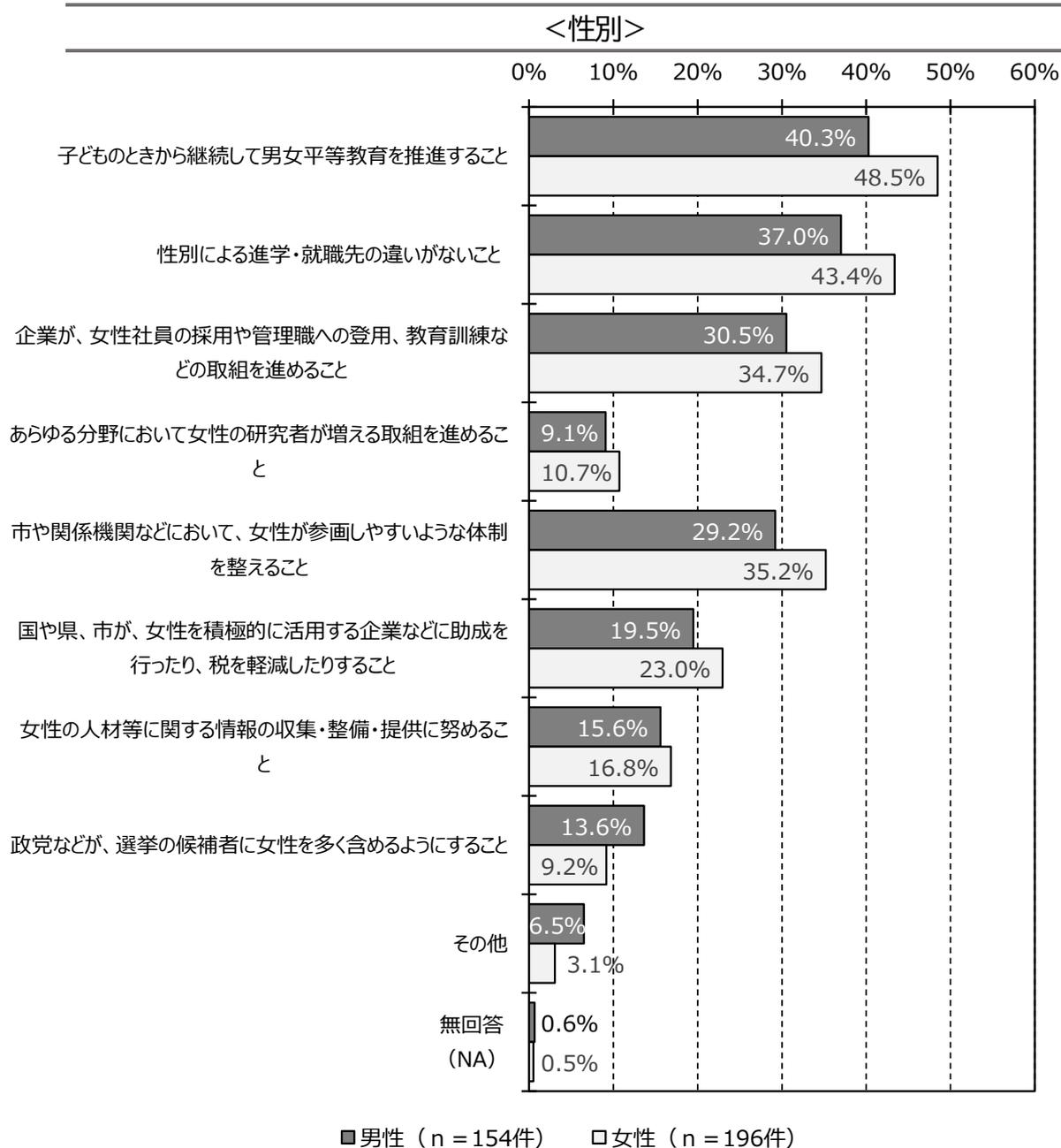
## 4) 女性の社会参画に向けて必要なこと

問 11：女性が様々な分野の役職や公職に就き、政策・方針決定の場へ参画していくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



□全体 (n = 351件)

女性の社会参画に向けて必要なこととして、全体では「子どものときから継続して男女平等教育を推進すること」(45.0%)、「性別による進学・就職先の違いがないこと」(40.5%) などへの回答が4割以上を占めて多くなっています。



性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっており、「子どものときから継続して男女平等教育を推進すること」、「性別による進学・就職先の違いがないこと」への回答が多くなっています。また、多くの項目で男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	子どものときから継続して男女平等教育を推進すること	性別による進学・就職先の違いがないこと	企業が、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などの取組を進めること	あらゆる分野において女性の研究者が増えること	市や関係機関などにおいて、女性が参画しやすいような体制を整えること	国や県、市が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりすること
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>45.0%</b> 158件	<b>40.5%</b> 142件	<b>32.8%</b> 115件	<b>10.0%</b> 35件	<b>32.5%</b> 114件	<b>21.4%</b> 75件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	31.3% 5件	31.3% 5件	43.8% 7件	18.8% 3件	12.5% 2件	37.5% 6件
	30歳代	100.0% 40件	35.0% 14件	45.0% 18件	22.5% 9件	5.0% 2件	35.0% 14件	30.0% 12件
	40歳代	100.0% 54件	38.9% 21件	38.9% 21件	27.8% 15件	5.6% 3件	29.6% 16件	11.1% 6件
	50歳代	100.0% 70件	42.9% 30件	42.9% 30件	42.9% 30件	7.1% 5件	35.7% 25件	21.4% 15件
	60歳代	100.0% 109件	51.4% 56件	42.2% 46件	31.2% 34件	15.6% 17件	37.6% 41件	20.2% 22件
	70歳以上	100.0% 62件	51.6% 32件	35.5% 22件	32.3% 20件	8.1% 5件	25.8% 16件	22.6% 14件
	<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>16.2%</b> 57件	<b>11.1%</b> 39件	<b>4.6%</b> 16件	<b>0.6%</b> 2件	
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	25.0% 4件	18.8% 3件	12.5% 2件	6.3% 1件		
	30歳代	100.0% 40件	15.0% 6件	7.5% 3件	5.0% 2件	0.0% 0件		
	40歳代	100.0% 54件	20.4% 11件	13.0% 7件	13.0% 7件	0.0% 0件		
	50歳代	100.0% 70件	15.7% 11件	2.9% 2件	2.9% 2件	0.0% 0件		
	60歳代	100.0% 109件	14.7% 16件	11.9% 13件	1.8% 2件	0.0% 0件		
	70歳以上	100.0% 62件	14.5% 9件	17.7% 11件	1.6% 1件	1.6% 1件		

年齢別にみると、60歳以上では「子どものときから継続して男女平等教育を推進すること」を必要とする回答が多く、60歳以上の半数が挙げています。

10・20歳代では「企業が、女性社員の採用や管理職への登用、教育訓練などの取組を進めること」が必要とする回答が4割を超えてもっとも多くなっています。反対に「市や関係機関などにおいて、女性が参画しやすいような体制を整えること」への回答は1割程度で、他の年齢層よりも回答割合が低くなっています。

### (3) 職場・家庭・地域生活等に関する意識について

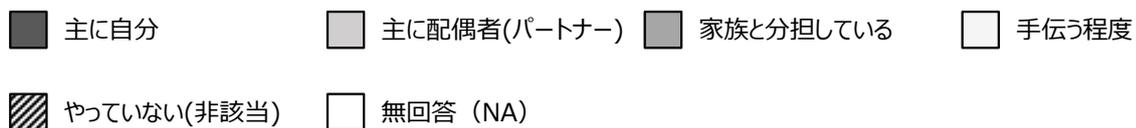
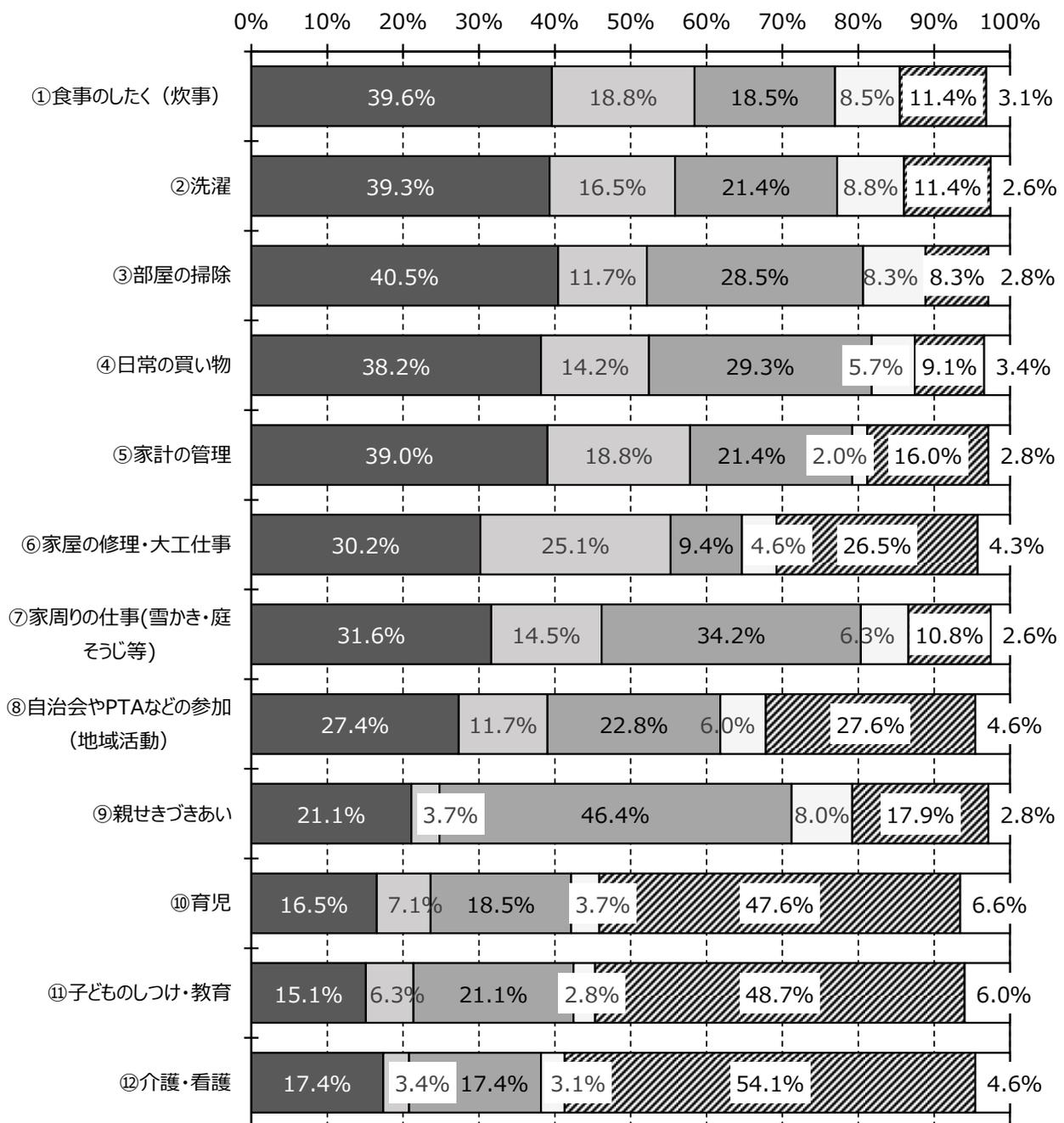
#### 1) 家庭での役割分担

問 12：家庭での仕事について主に誰が分担していますか。(①～⑫の各項目についてそれぞれ〇は1つ)

※1人暮らしの方や該当しない場合は「やっていない(非該当)」に〇をつけてください。

<全体>

全体 (n=351件)

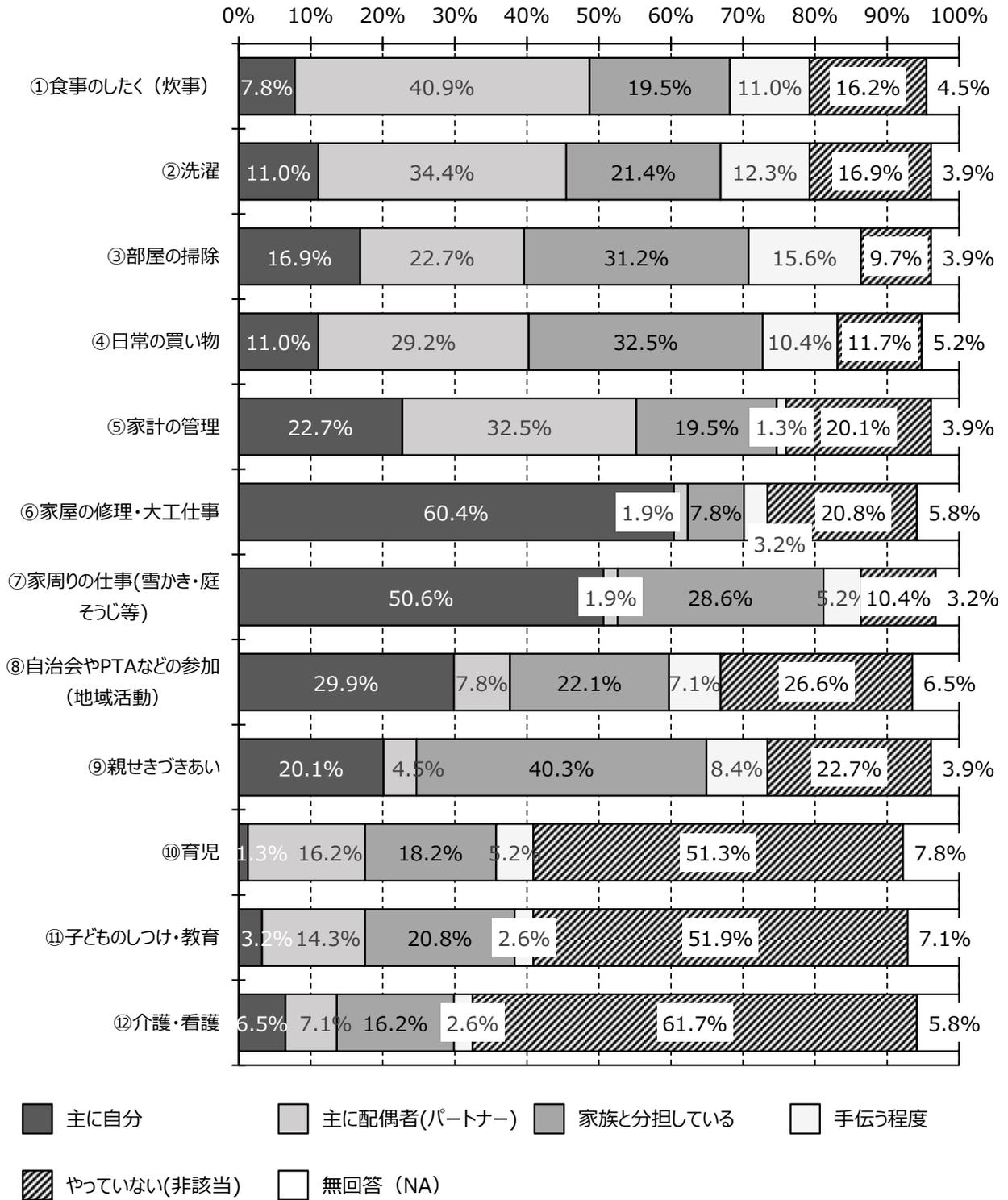


家庭での役割分担についてみると、「家族と分担している」という回答の割合が高かったものは、⑨親せきづきあいで、46.4%と4割以上を占めています。

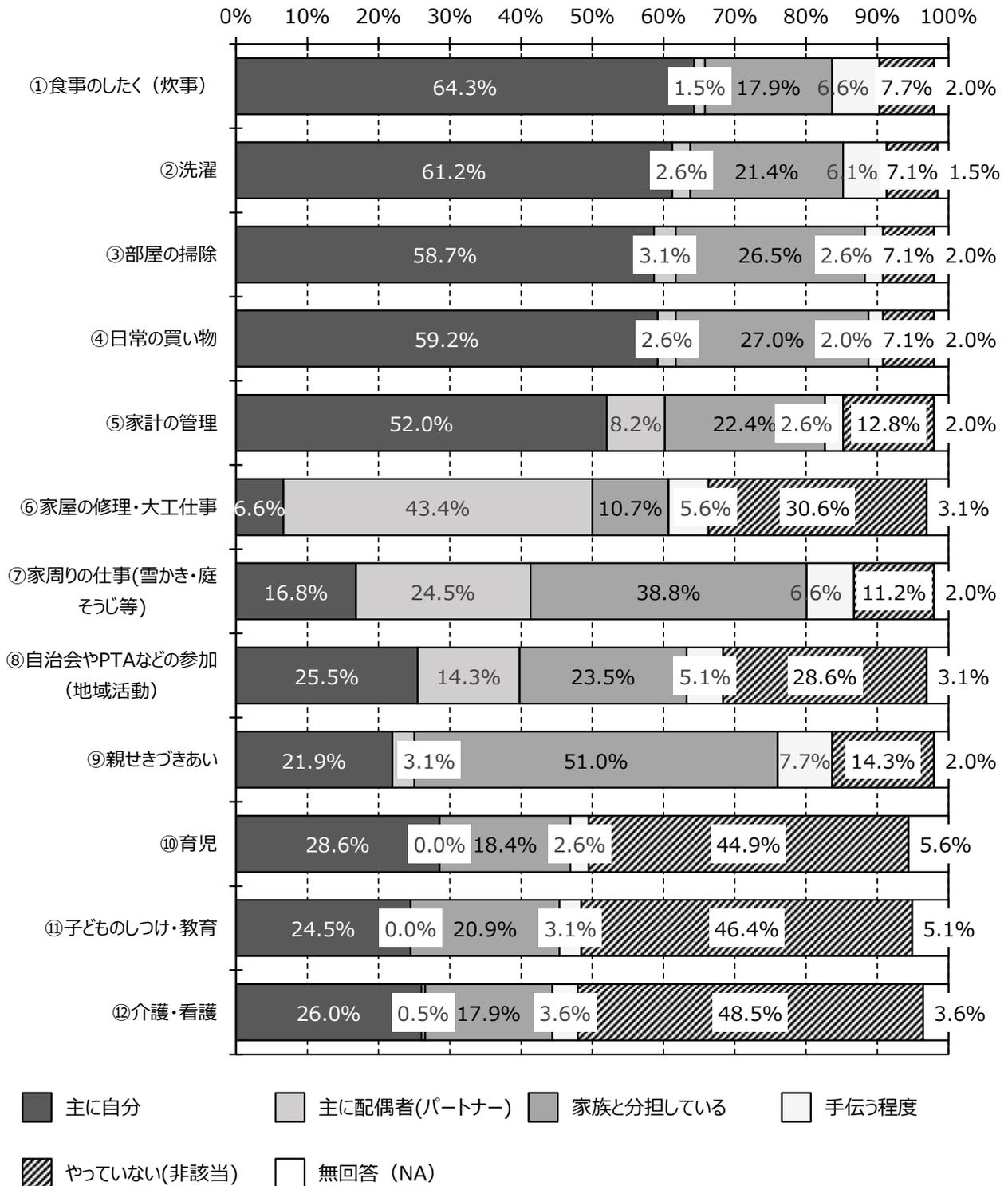
「主に自分」という回答が多かったものは、③部屋の掃除(40.5%)、①食事のしたく(炊事)(39.6%)、②洗濯(39.3%)、⑤家計の管理(39.0%)などで、いずれも4割前後を占めています。

<性別>

男性 (n = 154件)



女性 (n = 196件)

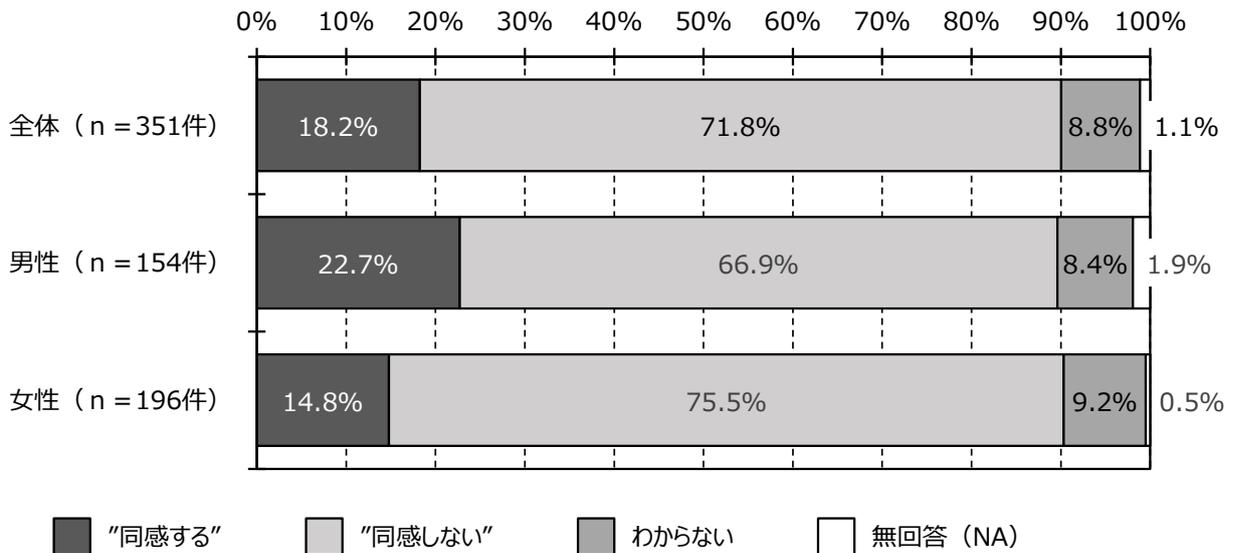
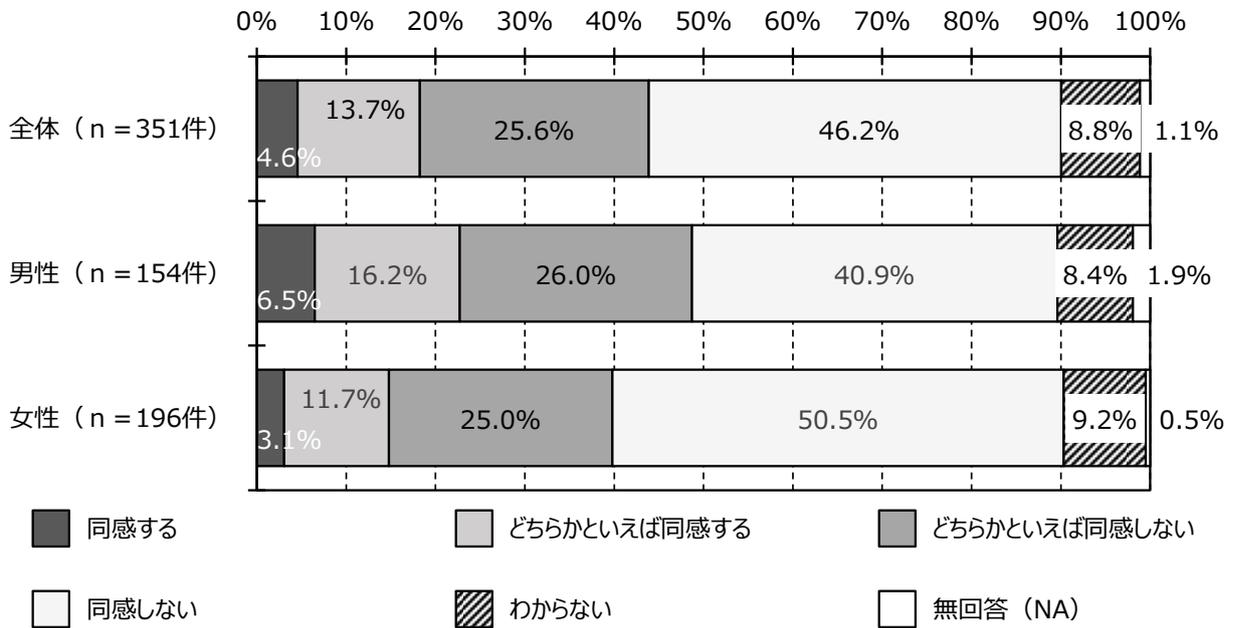


性別にみると、男性では⑥家屋の修理・大工仕事 (60.4%)、⑦家周りの仕事(雪かき・庭そうじ等) (50.6%) については「主に自分」という回答の割合が高くなっています。反対に①食事のしたく (炊事) については40.9%が「主に配偶者(パートナー)」が行っているとしています。

女性では①食事のしたく (炊事) (64.3%)、②洗濯 (61.2%) については6割以上が「主に自分」が行っているとしています。その他に③部屋の掃除 (58.7%)、④日常の買い物 (59.2%)、⑤家計の管理 (52.0%) についても半数以上が「主に自分」が行っているとしています。

## 2) 男女別役割分担の考え方

問 13: 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか  
(〇は1つ)



「男は仕事、女は家庭」という考え方については、全体の46.2%が「同意しない」としています。性別にみると、「同意しない」という回答は男性では40.9%であるのに対して、女性では50.5%と女性の方が割合が高くなっています。

「同意する」、「どちらかといえば同意する」を「同意する」、「どちらかといえば同意しない」、「同意しない」を「同意しない」として整理すると、男性では「同意する」が22.7%と女性の14.8%よりも割合が高く、「同意しない」については女性が75.5%で男性の66.9%よりも割合が高くなっています。

## [属性別にみた回答傾向]

### <全体>

		n	"同感する"	"同感しない"	わからない	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>18.2%</b>	<b>71.8%</b>	<b>8.8%</b>	<b>1.1%</b>
		351件	64件	252件	31件	4件
年齢	10・20歳代	100.0%	6.3%	56.3%	31.3%	6.3%
		16件	1件	9件	5件	1件
	30歳代	100.0%	20.0%	75.0%	5.0%	0.0%
		40件	8件	30件	2件	0件
	40歳代	100.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
		54件	9件	36件	9件	0件
	50歳代	100.0%	4.3%	88.6%	5.7%	1.4%
	70件	3件	62件	4件	1件	
60歳代	100.0%	21.1%	71.6%	6.4%	0.9%	
	109件	23件	78件	7件	1件	
70歳以上	100.0%	32.3%	59.7%	6.5%	1.6%	
	62件	20件	37件	4件	1件	

### <性別>

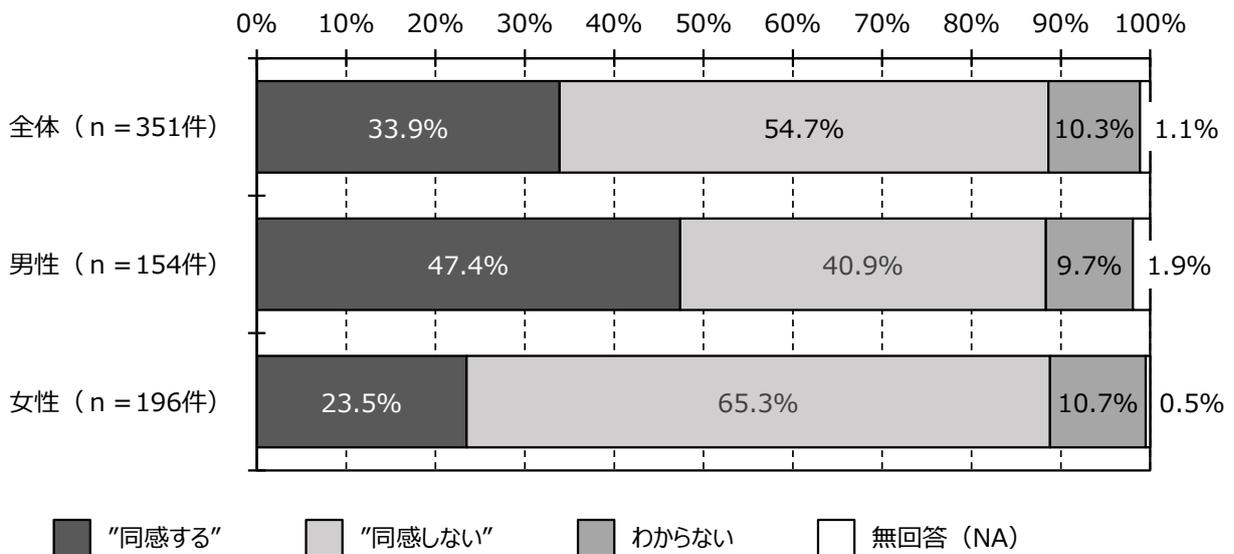
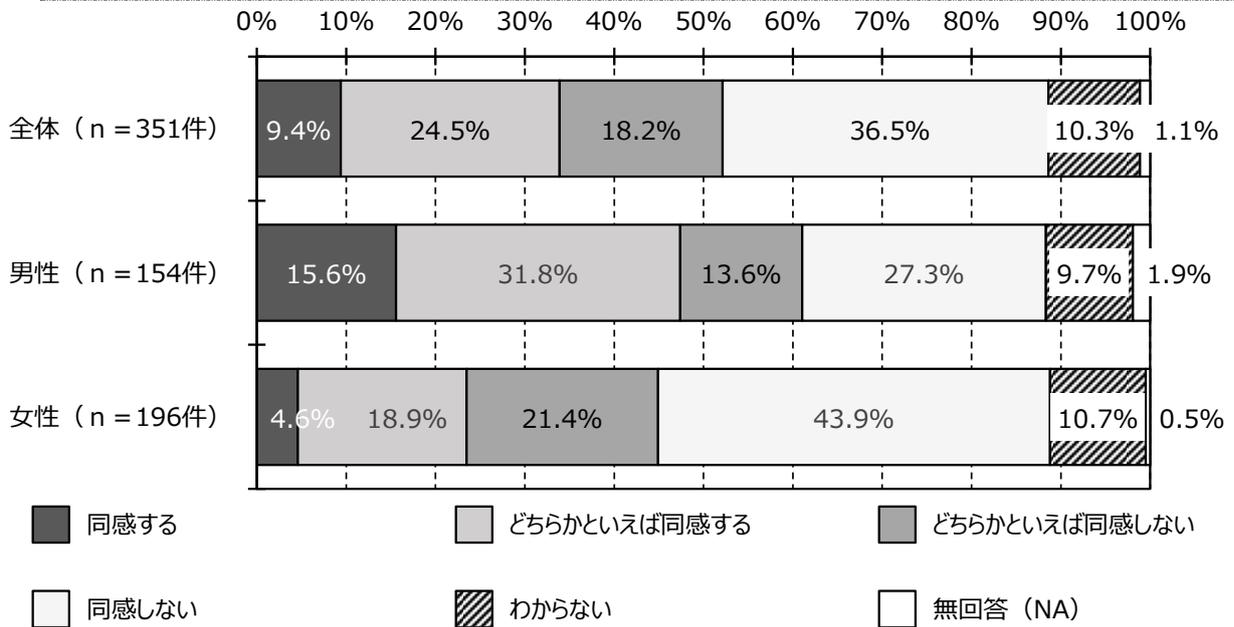
		n	"同感する"	"同感しない"	わからない	無回答 (NA)
<b>■ 男性</b>		<b>100.0%</b>	<b>22.7%</b>	<b>66.9%</b>	<b>8.4%</b>	<b>1.9%</b>
		154件	35件	103件	13件	3件
年齢	10・20歳代	100.0%	0.0%	37.5%	50.0%	12.5%
		8件	0件	3件	4件	1件
	30歳代	100.0%	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%
		15件	3件	11件	1件	0件
	40歳代	100.0%	14.8%	77.8%	7.4%	0.0%
		27件	4件	21件	2件	0件
	50歳代	100.0%	3.6%	92.9%	0.0%	3.6%
	28件	1件	26件	0件	1件	
60歳代	100.0%	29.4%	62.7%	7.8%	0.0%	
	51件	15件	32件	4件	0件	
70歳以上	100.0%	48.0%	40.0%	8.0%	4.0%	
	25件	12件	10件	2件	1件	
<b>■ 女性</b>		<b>100.0%</b>	<b>14.8%</b>	<b>75.5%</b>	<b>9.2%</b>	<b>0.5%</b>
		196件	29件	148件	18件	1件
年齢	10・20歳代	100.0%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%
		8件	1件	6件	1件	0件
	30歳代	100.0%	20.0%	76.0%	4.0%	0.0%
		25件	5件	19件	1件	0件
	40歳代	100.0%	18.5%	55.6%	25.9%	0.0%
		27件	5件	15件	7件	0件
	50歳代	100.0%	4.9%	85.4%	9.8%	0.0%
	41件	2件	35件	4件	0件	
60歳代	100.0%	13.8%	79.3%	5.2%	1.7%	
	58件	8件	46件	3件	1件	
70歳以上	100.0%	21.6%	73.0%	5.4%	0.0%	
	37件	8件	27件	2件	0件	

年齢別にみると、70歳以上では“同感する”という回答が32.3%で他の年齢層よりも割合が高くなっています。

性別に年齢別の内訳をみると、男性の70歳以上で“同感する”という回答の割合がとくに高くなっています。

### 3) 性別による子どもの育て方

問 14：「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」という性別による子どもの育て方について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)



「男の子は男らしく」「女の子は女らしく」という性別による子どもの育て方について、全体では36.5%が「同意しない」としています。

「同意する」、「どちらかといえば同意する」を「同意する」、「どちらかといえば同意しない」、「同意しない」を「同意しない」として整理すると、男性では「同意する」が47.4%と女性の23.5%よりも割合が高く、「同意しない」については女性が65.3%で男性の40.9%よりも割合が高くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	"同感する"	"同感しない"	わからない	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>33.9%</b>	<b>54.7%</b>	<b>10.3%</b>	<b>1.1%</b>
		351件	119件	192件	36件	4件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	43.8%	25.0%	6.3%
		16件	4件	7件	4件	1件
	30歳代	100.0%	27.5%	62.5%	10.0%	0.0%
		40件	11件	25件	4件	0件
	40歳代	100.0%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%
		54件	18件	30件	6件	0件
	50歳代	100.0%	25.7%	61.4%	11.4%	1.4%
	70件	18件	43件	8件	1件	
60歳代	100.0%	37.6%	55.0%	6.4%	0.9%	
	109件	41件	60件	7件	1件	
70歳以上	100.0%	43.5%	43.5%	11.3%	1.6%	
	62件	27件	27件	7件	1件	

<性別>

		n	"同感する"	"同感しない"	わからない	無回答 (NA)
<b>■ 男性</b>		<b>100.0%</b>	<b>47.4%</b>	<b>40.9%</b>	<b>9.7%</b>	<b>1.9%</b>
		154件	73件	63件	15件	3件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	25.0%	37.5%	12.5%
		8件	2件	2件	3件	1件
	30歳代	100.0%	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%
		15件	7件	7件	1件	0件
	40歳代	100.0%	37.0%	51.9%	11.1%	0.0%
		27件	10件	14件	3件	0件
	50歳代	100.0%	46.4%	42.9%	7.1%	3.6%
	28件	13件	12件	2件	1件	
60歳代	100.0%	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	
	51件	27件	21件	3件	0件	
70歳以上	100.0%	56.0%	28.0%	12.0%	4.0%	
	25件	14件	7件	3件	1件	

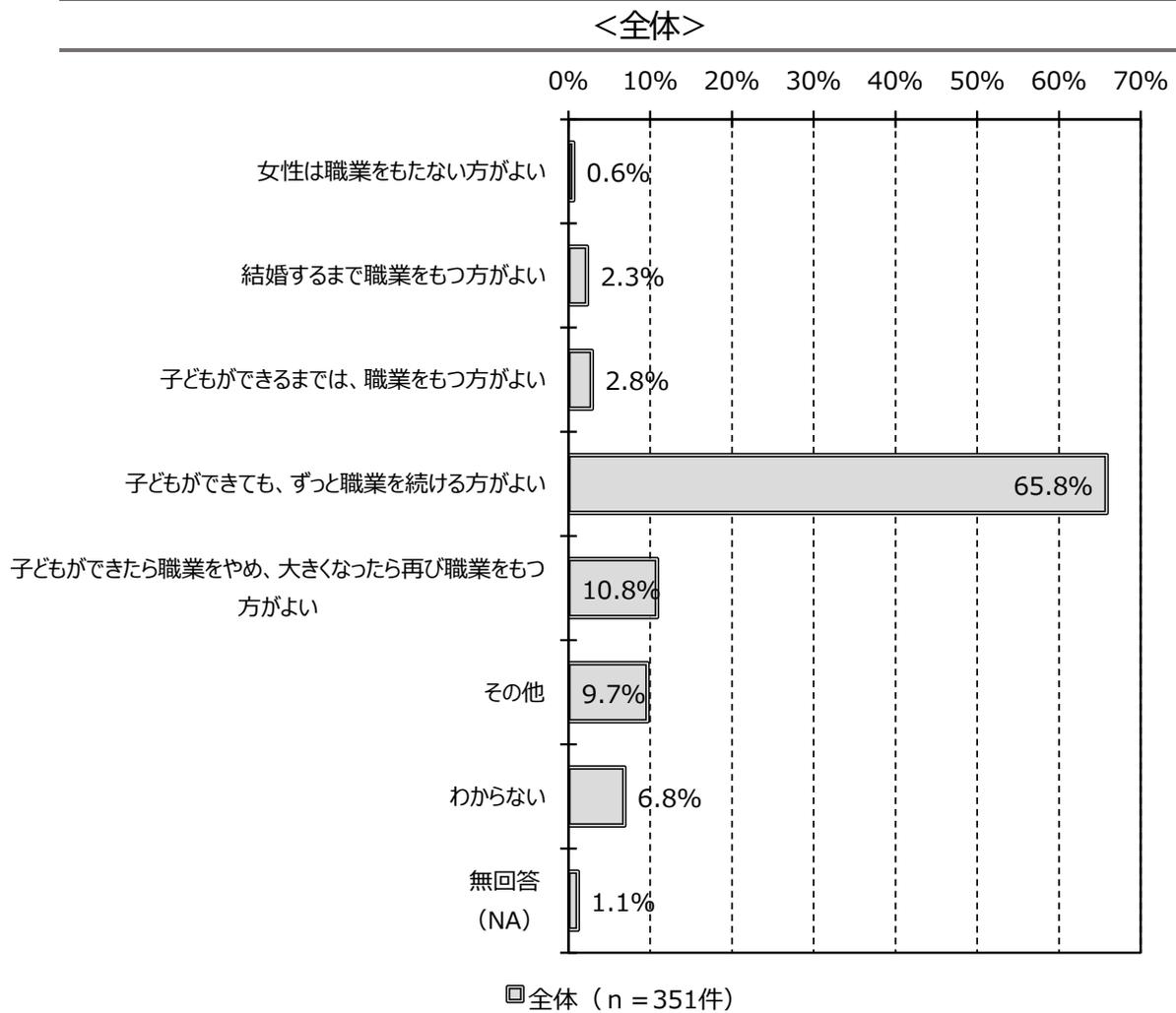
		n	"同感する"	"同感しない"	わからない	無回答 (NA)
<b>■ 女性</b>		<b>100.0%</b>	<b>23.5%</b>	<b>65.3%</b>	<b>10.7%</b>	<b>0.5%</b>
		196件	46件	128件	21件	1件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
		8件	2件	5件	1件	0件
	30歳代	100.0%	16.0%	72.0%	12.0%	0.0%
		25件	4件	18件	3件	0件
	40歳代	100.0%	29.6%	59.3%	11.1%	0.0%
		27件	8件	16件	3件	0件
	50歳代	100.0%	12.2%	73.2%	14.6%	0.0%
	41件	5件	30件	6件	0件	
60歳代	100.0%	24.1%	67.2%	6.9%	1.7%	
	58件	14件	39件	4件	1件	
70歳以上	100.0%	35.1%	54.1%	10.8%	0.0%	
	37件	13件	20件	4件	0件	

年齢別にみると、70歳以上では“同感する”という回答が43.5%で他の年齢層よりも割合が高くなっています。

性別に年齢別の内訳をみると、男性の60歳以上で“同感する”という回答が半数を超えてとくに多くなっています。

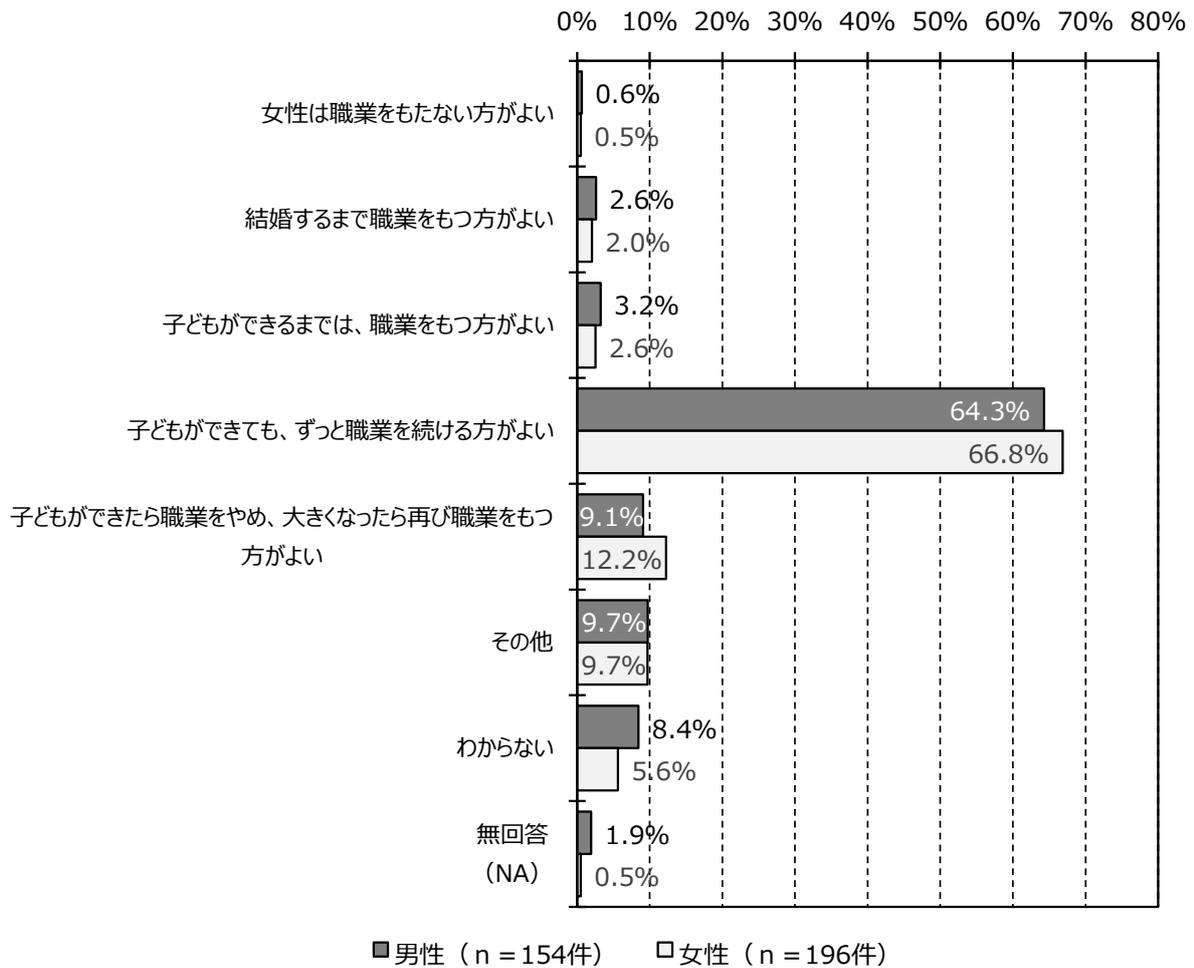
## 4) 女性が職業をもつこと

問 15：一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)



女性が職業をもつことについて、全体では「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が65.8%でもっとも多くなっています。

<性別>

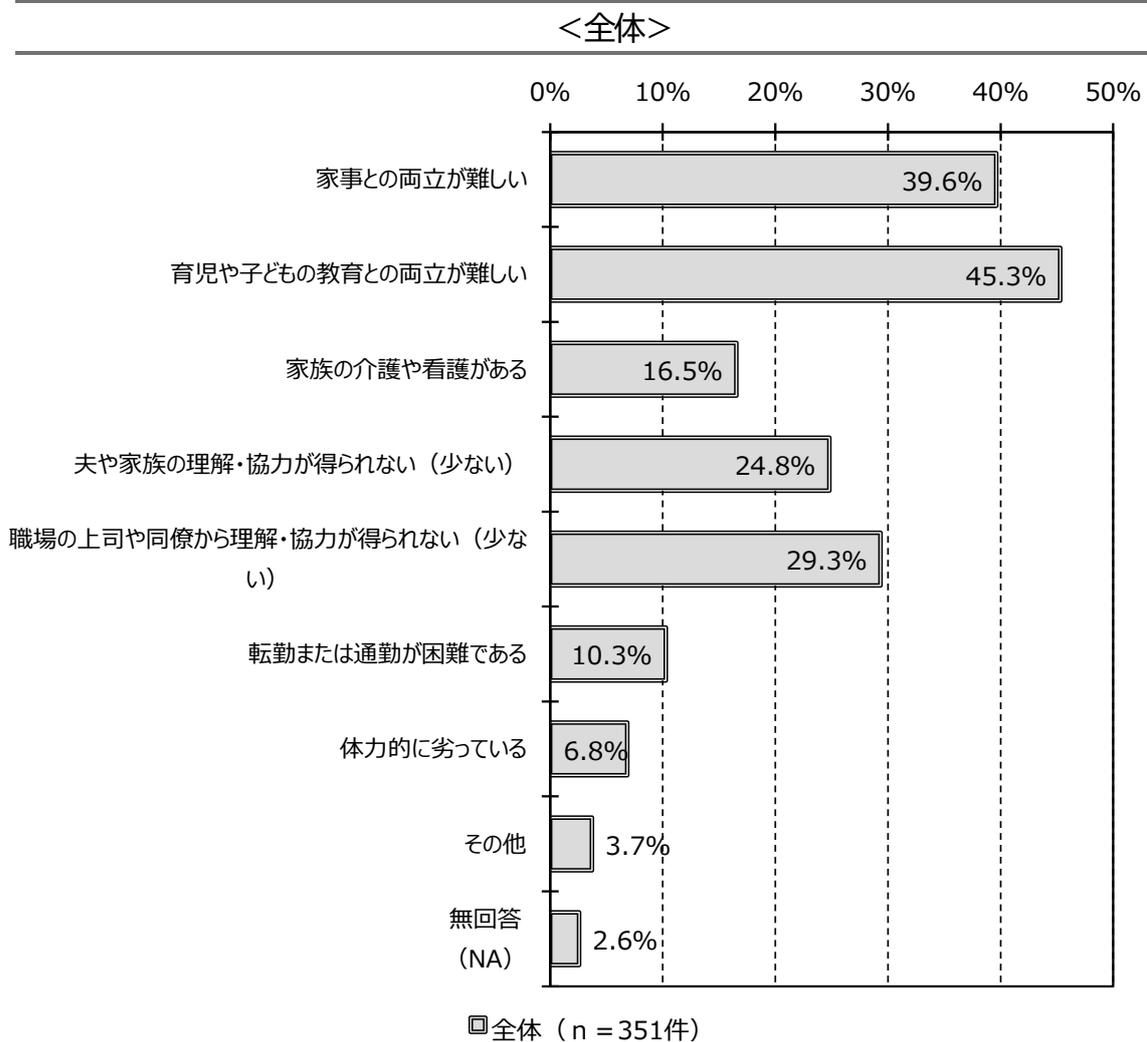


性別にみても、男女とも「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」への回答が6割以上を占めてもっとも多くなっています。

また、女性では「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」への回答が12.2%と1割以上を占めています。

## 5) 女性が働き続けることを阻害する要因

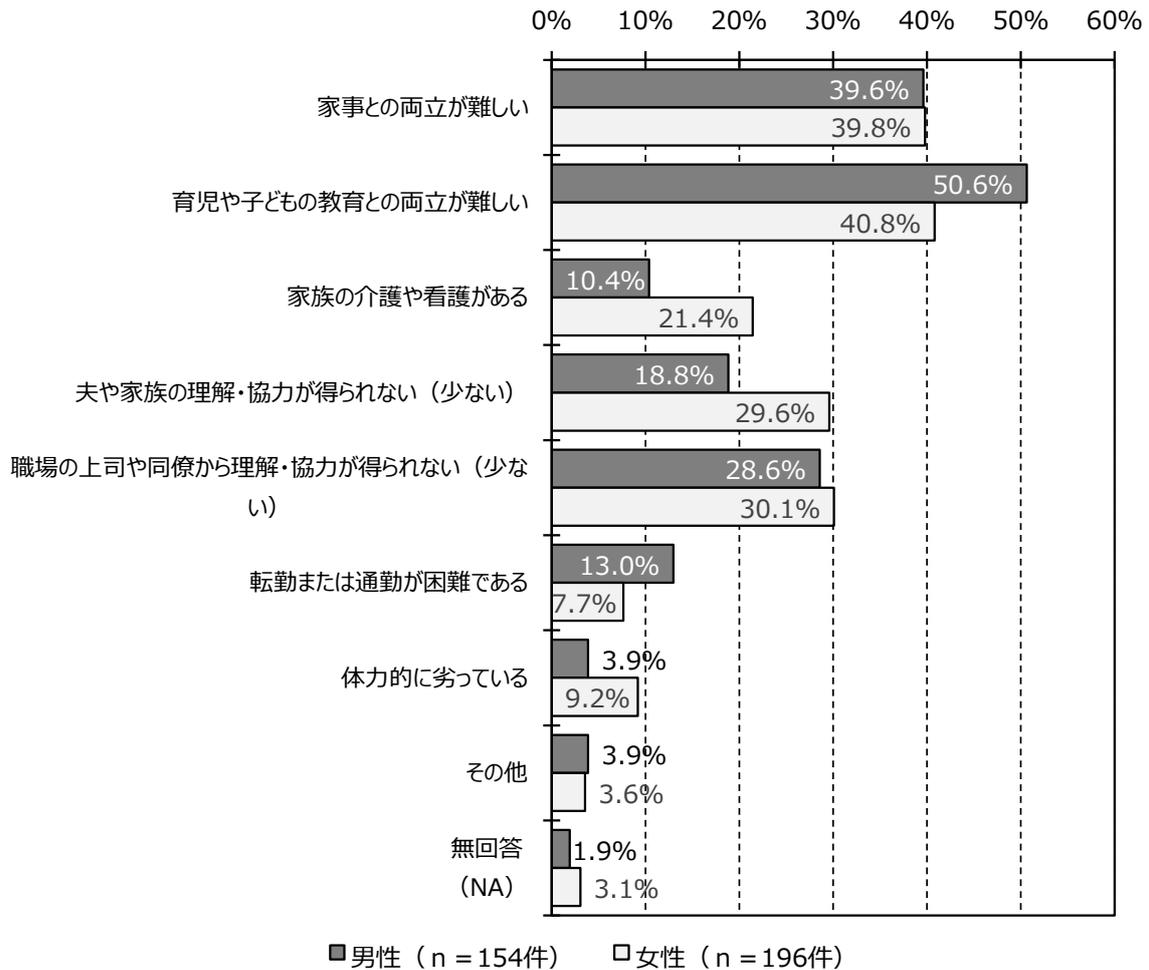
問 16：あなたは、女性が働き続けることを妨げる問題点は何だと思いますか。(〇は2つまで)



女性が働き続けることを妨げる問題点として、全体では「育児や子どもの教育との両立が難しい」が45.3%でもっとも多く、ついで「家事との両立が難しい」が39.6%となっています。

その他に「職場の上司や同僚から理解・協力が得られない (少ない)」(29.3%) や、「夫や家族の理解・協力が得られない (少ない)」(24.8%) などへの回答も2割を超えています。

<性別>



性別にみても、男女とも「育児や子どもの教育との両立が難しい」への回答がもっとも多くなっていますが、男性が50.6%であるのに対して女性は40.8%で、男性の方が回答の割合は高くなっています。ついで男女とも「家事との両立が難しい」への回答が多く、男女ともほぼ同じ割合を占めています。

その他に、「家族の介護や看護がある」、「夫や家族の理解・協力が得られない (少ない)」などについては、男性よりも女性において回答の割合が高くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

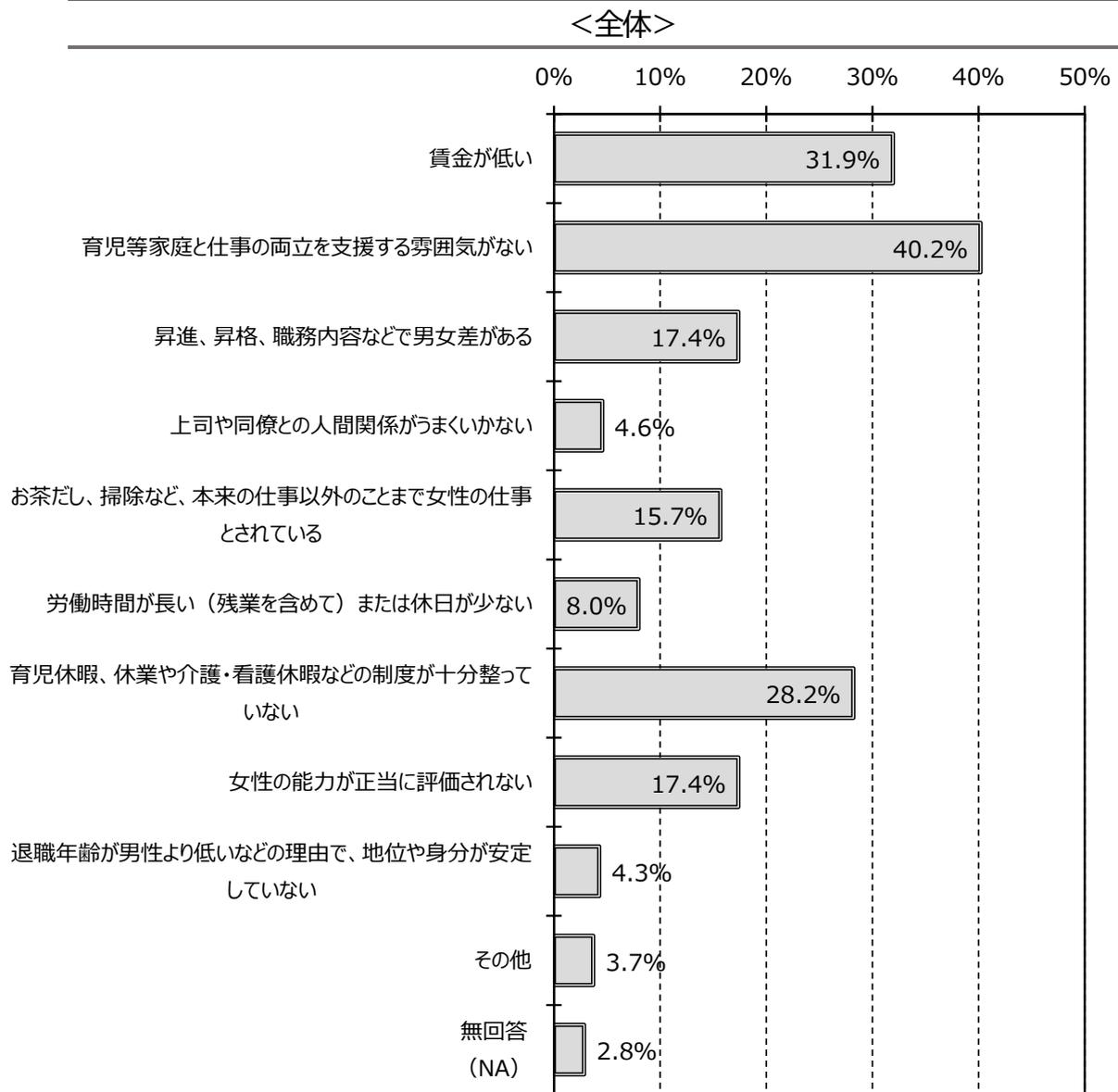
		n	家事との両立が難しい	育児や子どもの教育との両立が難しい	家族の介護や看護がある	夫や家族の理解・協力が得られない(少ない)	職場の上司や同僚から理解・協力が得られない(少ない)	転職または通勤が困難である
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>39.6%</b> 139件	<b>45.3%</b> 159件	<b>16.5%</b> 58件	<b>24.8%</b> 87件	<b>29.3%</b> 103件	<b>10.3%</b> 36件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	37.5% 6件	43.8% 7件	6.3% 1件	18.8% 3件	37.5% 6件	0.0% 0件
	30歳代	100.0% 40件	40.0% 16件	57.5% 23件	7.5% 3件	15.0% 6件	42.5% 17件	7.5% 3件
	40歳代	100.0% 54件	42.6% 23件	55.6% 30件	9.3% 5件	22.2% 12件	29.6% 16件	11.1% 6件
	50歳代	100.0% 70件	35.7% 25件	48.6% 34件	17.1% 12件	30.0% 21件	32.9% 23件	7.1% 5件
	60歳代	100.0% 109件	44.0% 48件	40.4% 44件	22.9% 25件	24.8% 27件	22.0% 24件	11.9% 13件
	70歳以上	100.0% 62件	33.9% 21件	33.9% 21件	19.4% 13件	29.0% 18件	27.4% 17件	14.5% 9件
			n	体力的に劣っている	その他	無回答(NA)		
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>6.8%</b> 24件	<b>3.7%</b> 13件	<b>2.6%</b> 9件			
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	12.5% 2件	6.3% 1件	6.3% 1件			
	30歳代	100.0% 40件	7.5% 3件	10.0% 4件	0.0% 0件			
	40歳代	100.0% 54件	11.1% 6件	5.6% 3件	0.0% 0件			
	50歳代	100.0% 70件	5.7% 4件	2.9% 2件	1.4% 1件			
	60歳代	100.0% 109件	5.5% 6件	0.9% 1件	2.8% 3件			
	70歳以上	100.0% 62件	4.8% 3件	3.2% 2件	6.5% 4件			

年齢別にみると、30歳代、40歳代では「育児や子どもの教育との両立が難しい」への回答が半数を超えており、他の年齢層よりも回答割合が高くなっています。

また60歳以上では「家族の介護や看護がある」への回答割合が他の年齢層よりも高くなっています。

## 6) 働く女性の職場における問題点

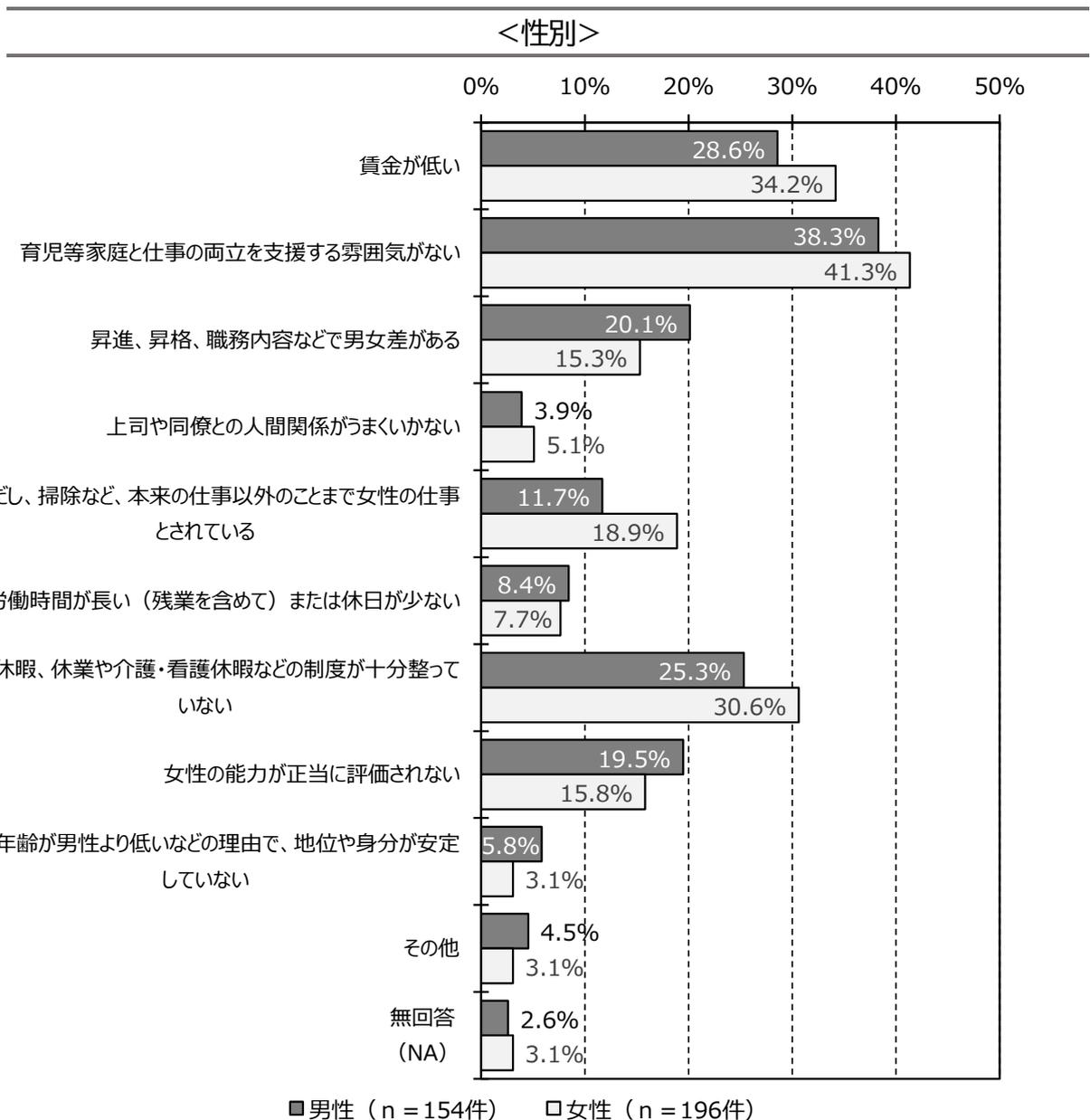
問 17：あなたは、働く女性の職場における問題点は何だと思えますか。(〇は2つまで)



□全体 (n = 351件)

働く女性の職場における問題点として、全体では「育児等家庭と仕事の両立を支援する雰囲気がない」が40.2%でもっとも多く、ついで「賃金が低い」が31.9%となっています。

その他に「育児休暇、休業や介護・看護休暇などの制度が十分整っていない」(28.2%)、への回答も3割近くを占めています。



性別にみても、男女とも「育児等家庭と仕事の両立を支援する雰囲気がない」、「賃金が低い」、「育児休暇、休業や介護・看護休暇などの制度が十分整っていない」への回答が上位を占めていますが、男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

その他に「お茶だし、掃除など、本来の仕事以外のことまで女性の仕事とされている」などへの回答も男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

反対に、女性よりも男性の方が回答割合が高いものは、「昇進、昇格、職務内容などで男女差がある」や「女性の能力が正当に評価されない」などとなっています。

[属性別にみた回答傾向]

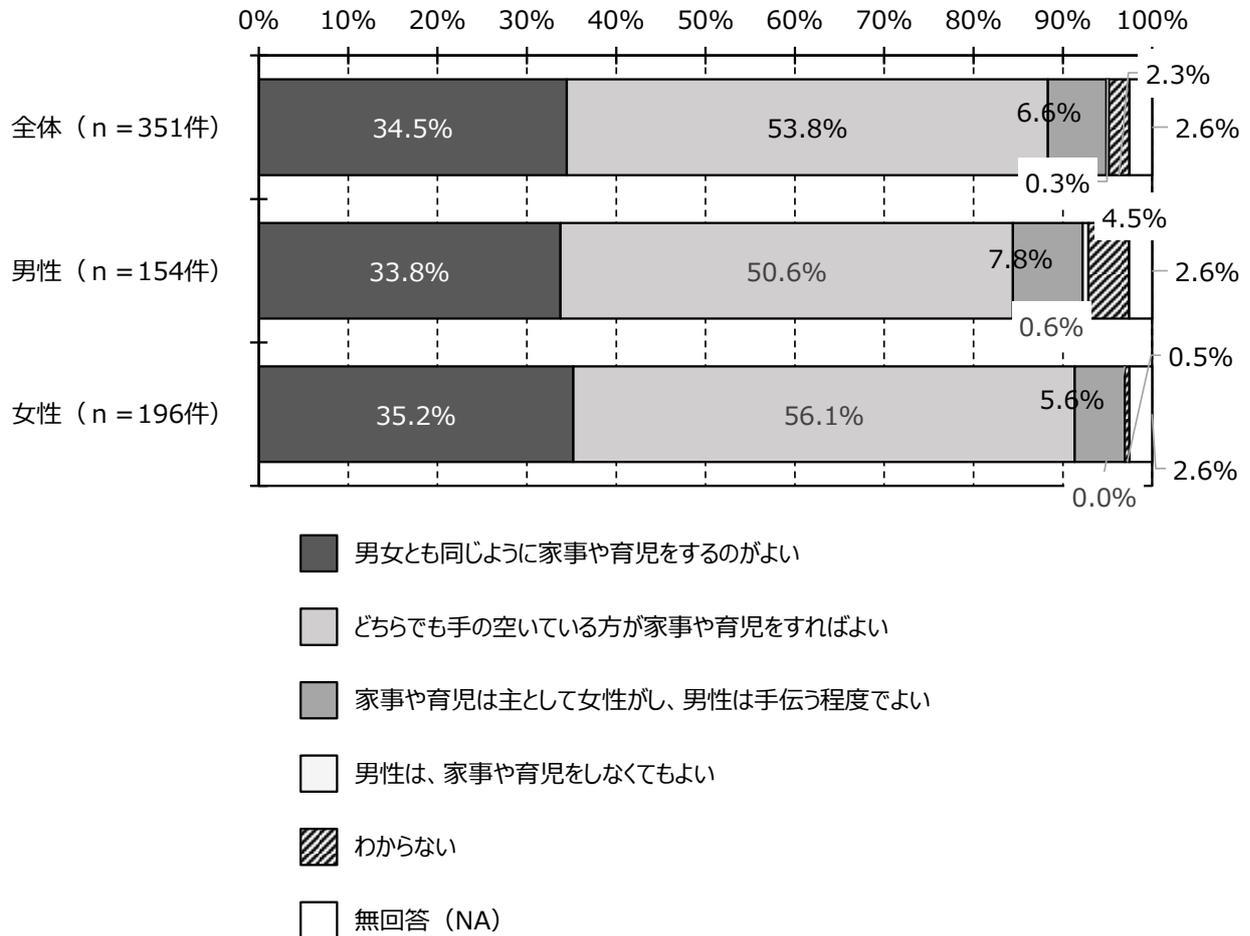
<全体>

		n	賃金が低い	育児等家庭と仕事の両立を支援する雰囲気がない	昇進、昇格、職務内容などで男女差がある	上司や同僚との人間関係がうまくいかない	お茶だし、掃除など、本来の仕事以外のことで女性の仕事とされている	労働時間が長い(残業を含めて)または休日が少ない
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 232件	<b>31.9%</b> 74件	<b>44.4%</b> 103件	<b>16.4%</b> 38件	<b>3.4%</b> 8件	<b>15.1%</b> 35件	<b>9.9%</b> 23件
共働きの状況	共働きである	100.0% 133件	34.6% 46件	45.1% 60件	15.0% 20件	3.0% 4件	13.5% 18件	12.0% 16件
	自分だけ働いている	100.0% 30件	33.3% 10件	53.3% 16件	16.7% 5件	3.3% 1件	23.3% 7件	10.0% 3件
	配偶者だけ働いている	100.0% 32件	28.1% 9件	31.3% 10件	18.8% 6件	9.4% 3件	6.3% 2件	6.3% 2件
	どちらも働いていない	100.0% 37件	24.3% 9件	45.9% 17件	18.9% 7件	0.0% 0件	21.6% 8件	5.4% 2件
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 232件	<b>28.4%</b> 66件	<b>17.2%</b> 40件	<b>3.9%</b> 9件	<b>3.0%</b> 7件	<b>2.2%</b> 5件	
共働きの状況	共働きである	100.0% 133件	27.1% 36件	15.8% 21件	3.0% 4件	3.0% 4件	2.3% 3件	
	自分だけ働いている	100.0% 30件	23.3% 7件	10.0% 3件	3.3% 1件	3.3% 1件	3.3% 1件	
	配偶者だけ働いている	100.0% 32件	37.5% 12件	31.3% 10件	9.4% 3件	3.1% 1件	0.0% 0件	
	どちらも働いていない	100.0% 37件	29.7% 11件	16.2% 6件	2.7% 1件	2.7% 1件	2.7% 1件	

既婚者の共働きの状況別にみると、「育児等家庭と仕事の両立を支援する雰囲気がない」への回答は自分だけ働いている層では 53.3%と半数を超えており、他の層よりも回答割合が高くなっています。

## 7) 家庭での役割分担

問 18：あなたは家庭での家事や育児の役割分担は、一般にどうあるべきだと考えていますか。(〇は1つ)



家庭での家事や育児の役割分担について、全体では「どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればよい」への回答が53.8%と半数以上を占めてもっとも多くなっています。ついで「男女とも同じように家事や育児をするのがよい」が34.5%となっています。

性別にみても、男女とも「どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればよい」への回答が半数以上を占めてもっとも多くなっています。

## [属性別にみた回答傾向]

### <全体>

		n	男女とも同じように家事や育児をするのがよい	どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればよい	家事や育児は主として女性がし、男性は手伝う程度でよい	男性は、家事や育児をしなくてもよい	わからない	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>34.5%</b> 121件	<b>53.8%</b> 189件	<b>6.6%</b> 23件	<b>0.3%</b> 1件	<b>2.3%</b> 8件	<b>2.6%</b> 9件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	50.0% 8件	25.0% 4件	6.3% 1件	0.0% 0件	6.3% 1件	12.5% 2件
	30歳代	100.0% 40件	37.5% 15件	60.0% 24件	0.0% 0件	0.0% 0件	2.5% 1件	0.0% 0件
	40歳代	100.0% 54件	29.6% 16件	57.4% 31件	7.4% 4件	0.0% 0件	1.9% 1件	3.7% 2件
	50歳代	100.0% 70件	41.4% 29件	51.4% 36件	4.3% 3件	0.0% 0件	1.4% 1件	1.4% 1件
	60歳代	100.0% 109件	30.3% 33件	56.9% 62件	8.3% 9件	0.0% 0件	2.8% 3件	1.8% 2件
	70歳以上	100.0% 62件	32.3% 20件	51.6% 32件	9.7% 6件	1.6% 1件	1.6% 1件	3.2% 2件

年齢別にみると、10・20歳代では「男女とも同じように家事や育児をするのがよい」への回答が半数を占めており、他の年齢層よりも高い割合となっています。

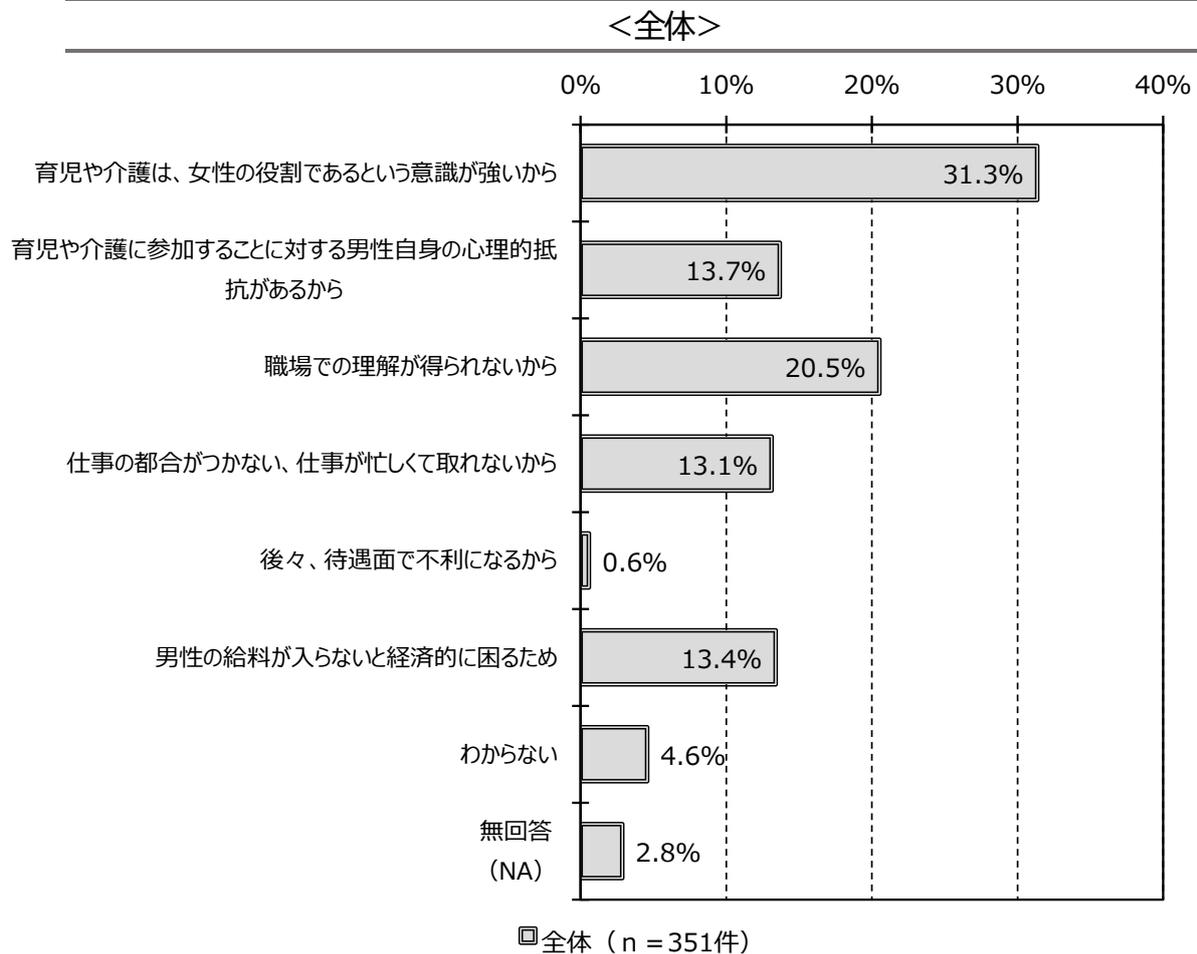
		n	男女とも同じように家事や育児をするのがよい	どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればよい	家事や育児は主として女性がし、男性は手伝う程度でよい	男性は、家事や育児をしなくてもよい	わからない	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>34.5%</b> 121件	<b>53.8%</b> 189件	<b>6.6%</b> 23件	<b>0.3%</b> 1件	<b>2.3%</b> 8件	<b>2.6%</b> 9件
婚姻状況	既婚	100.0% 232件	34.5% 80件	54.7% 127件	6.9% 16件	0.4% 1件	1.7% 4件	1.7% 4件
	死別・離別	100.0% 51件	23.5% 12件	62.7% 32件	5.9% 3件	0.0% 0件	2.0% 1件	5.9% 3件
	未婚	100.0% 59件	42.4% 25件	45.8% 27件	5.1% 3件	0.0% 0件	3.4% 2件	3.4% 2件

婚姻状況別にみると、既婚者に比べて未婚の回答者の方が「男女とも同じように家事や育児をするのがよい」への回答割合が高くなっています。

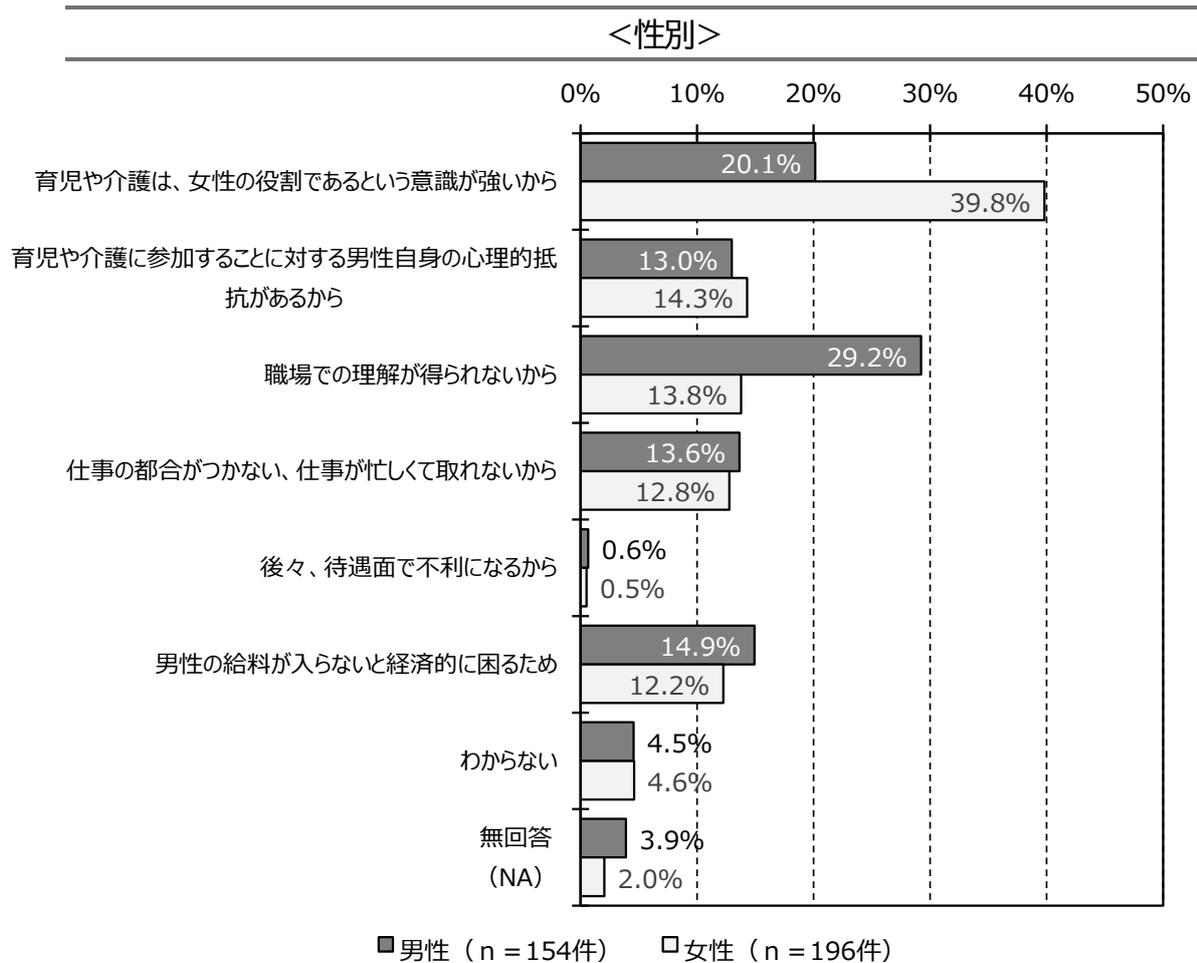
反対に「どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればよい」への回答は未婚者よりも既婚者で回答割合が高くなっています。

## 8) 男性の育児・介護休業取得率が低い理由

問 19：あなたは育児・介護休業制度の利用者に男性が少ないのはどのような理由からだと思えますか。(〇は1つ)



男性の育児・介護休業取得率が低い理由について、全体では「育児や介護は、女性の役割であるという意識が強いから」への回答が31.3%でもっとも多く、ついで「職場での理解が得られないから」が20.5%となっています。

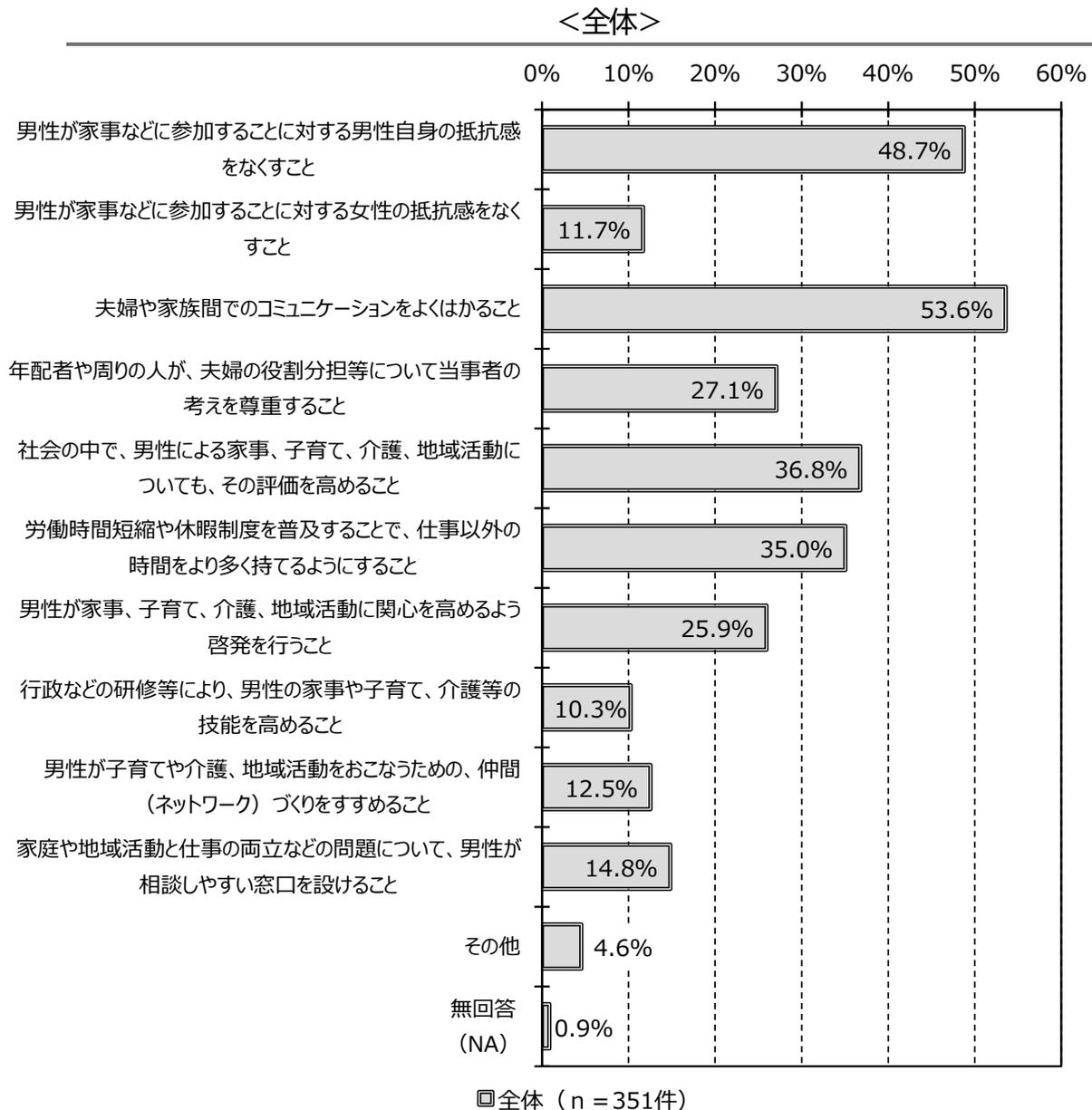


性別にみると、「育児や介護は、女性の役割であるという意識が強いから」への回答は男性よりも女性の方が割合が高く、女性の39.8%が挙げています。

反対に「職場での理解が得られないから」については女性よりも男性の方が回答の割合が高く、男性の29.2%が理由として挙げています。

## 9) 男性の家事への参加促進のために必要なこと

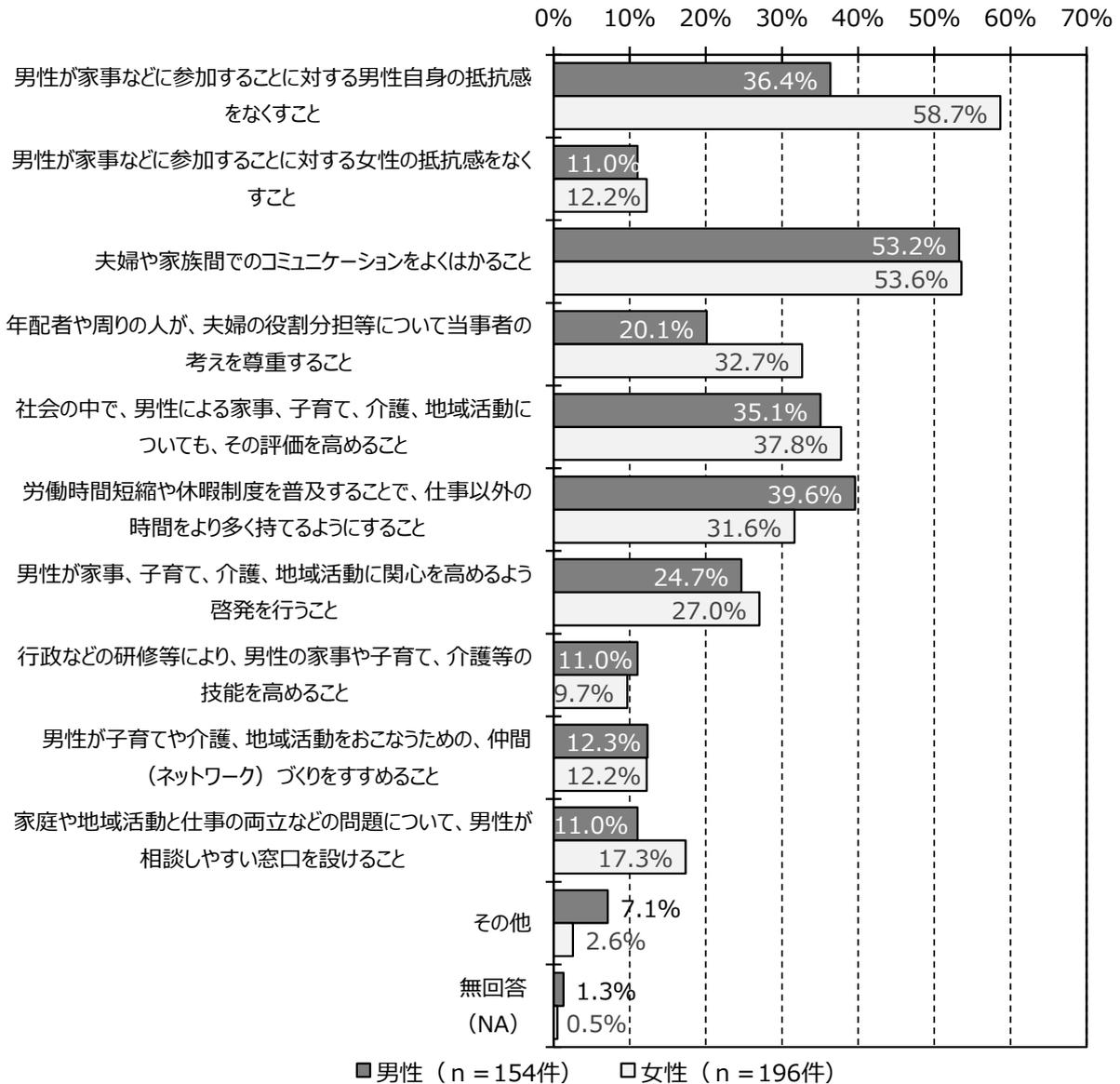
問 20：今後、男性の家事等への参加を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



男性の家事等への参加を進めていくために必要なこととして、全体では「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が53.6%でもっとも多く、ついで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が48.7%となっています。

その他に「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」(36.8%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(35.0%)への回答が3割を超えています。

<性別>



性別にみると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」への回答は男性に比べると女性で回答の割合がとくに高く、女性の 58.7%が必要なこととして挙げています。

その他に、「年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考えを尊重すること」などについても男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考えを尊重すること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
全体		100.0%	48.7%	11.7%	53.6%	27.1%	36.8%	35.0%
		351件	171件	41件	188件	95件	129件	123件
年齢	10・20歳代	100.0%	31.3%	0.0%	43.8%	18.8%	18.8%	43.8%
		16件	5件	0件	7件	3件	3件	7件
	30歳代	100.0%	35.0%	20.0%	52.5%	40.0%	40.0%	52.5%
		40件	14件	8件	21件	16件	16件	21件
	40歳代	100.0%	50.0%	13.0%	46.3%	20.4%	38.9%	31.5%
		54件	27件	7件	25件	11件	21件	17件
	50歳代	100.0%	54.3%	2.9%	51.4%	24.3%	34.3%	38.6%
	70件	38件	2件	36件	17件	24件	27件	
60歳代	100.0%	50.5%	13.8%	58.7%	29.4%	42.2%	32.1%	
	109件	55件	15件	64件	32件	46件	35件	
70歳以上	100.0%	51.6%	14.5%	56.5%	25.8%	30.6%	25.8%	
	62件	32件	9件	35件	16件	19件	16件	
		n	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発を行うこと	行政などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	男性が子育てや介護、地域活動をおこなうための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること	家庭や地域活動と仕事の両立などについて、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	無回答 (NA)
全体		100.0%	25.9%	10.3%	12.5%	14.8%	4.6%	0.9%
		351件	91件	36件	44件	52件	16件	3件
年齢	10・20歳代	100.0%	12.5%	18.8%	31.3%	18.8%	12.5%	6.3%
		16件	2件	3件	5件	3件	2件	1件
	30歳代	100.0%	22.5%	15.0%	20.0%	17.5%	5.0%	0.0%
		40件	9件	6件	8件	7件	2件	0件
	40歳代	100.0%	18.5%	7.4%	16.7%	20.4%	11.1%	0.0%
		54件	10件	4件	9件	11件	6件	0件
	50歳代	100.0%	21.4%	2.9%	11.4%	11.4%	4.3%	1.4%
	70件	15件	2件	8件	8件	3件	1件	
60歳代	100.0%	32.1%	11.9%	9.2%	11.0%	0.0%	0.0%	
	109件	35件	13件	10件	12件	0件	0件	
70歳以上	100.0%	32.3%	12.9%	6.5%	17.7%	4.8%	1.6%	
	62件	20件	8件	4件	11件	3件	1件	

年齢別にみると、40歳以上では「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」への回答が5割を超えており、40歳未満よりも回答割合が高くなっています。

反対に、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」への回答は40歳以上よりも40歳未満の回答者で回答の割合が高くなっています。

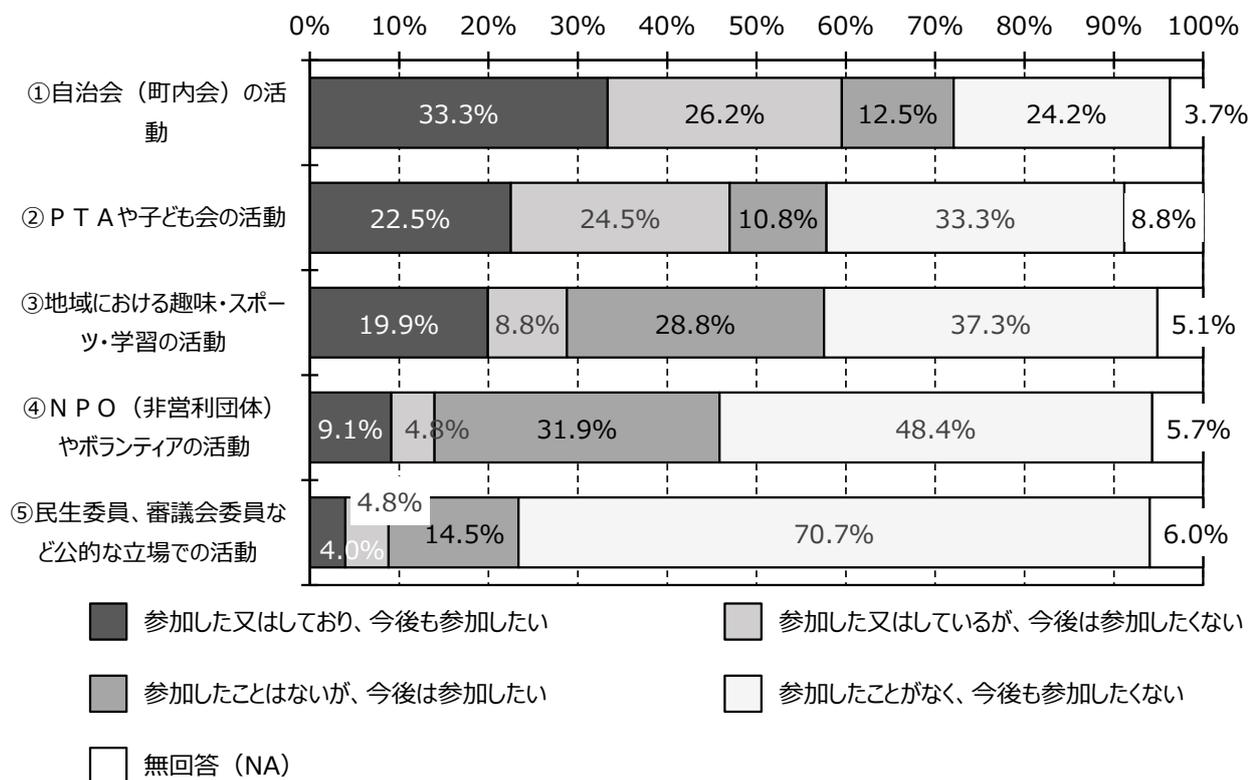
また「年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考えを尊重すること」への回答も30歳代で40.0%と高い割合を占めています。

## 10) 各種活動への参加状況

問 21：各種の活動におけるあなたの参加状況にもっとも近いものはどれですか。(①～⑤の各項目についてそれぞれ〇は1つ)

<全体>

全体 (n=351件)

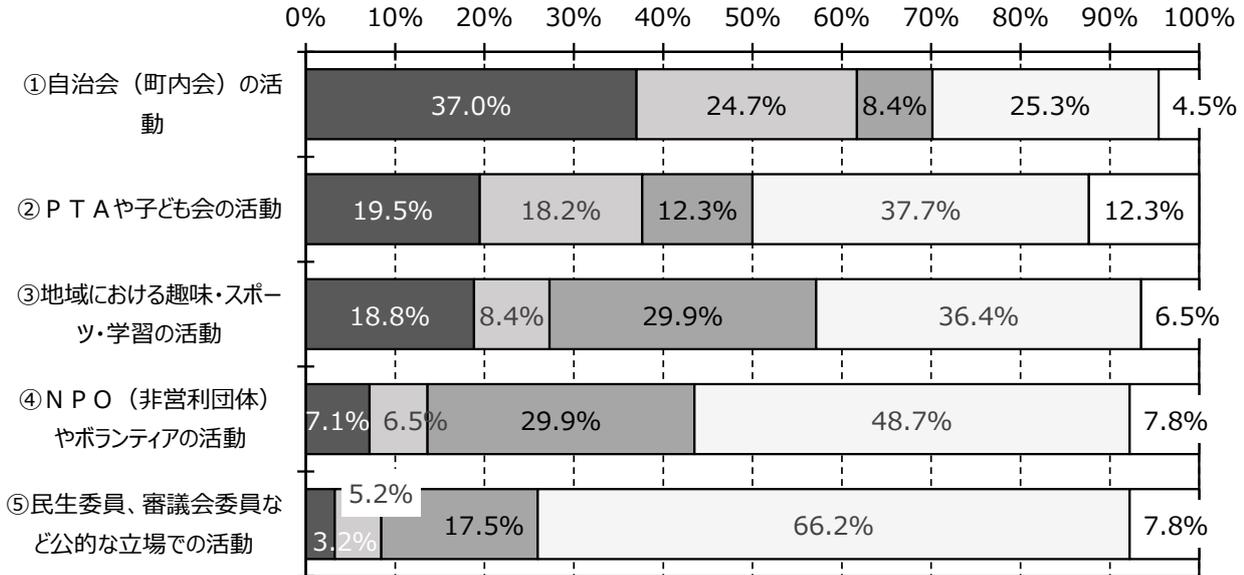


各種活動への参加状況を見ると、全体では「参加した又はしており、今後も参加したい」という回答は①自治会 (町内会) の活動 (33.3%) がもっとも多くなっています。

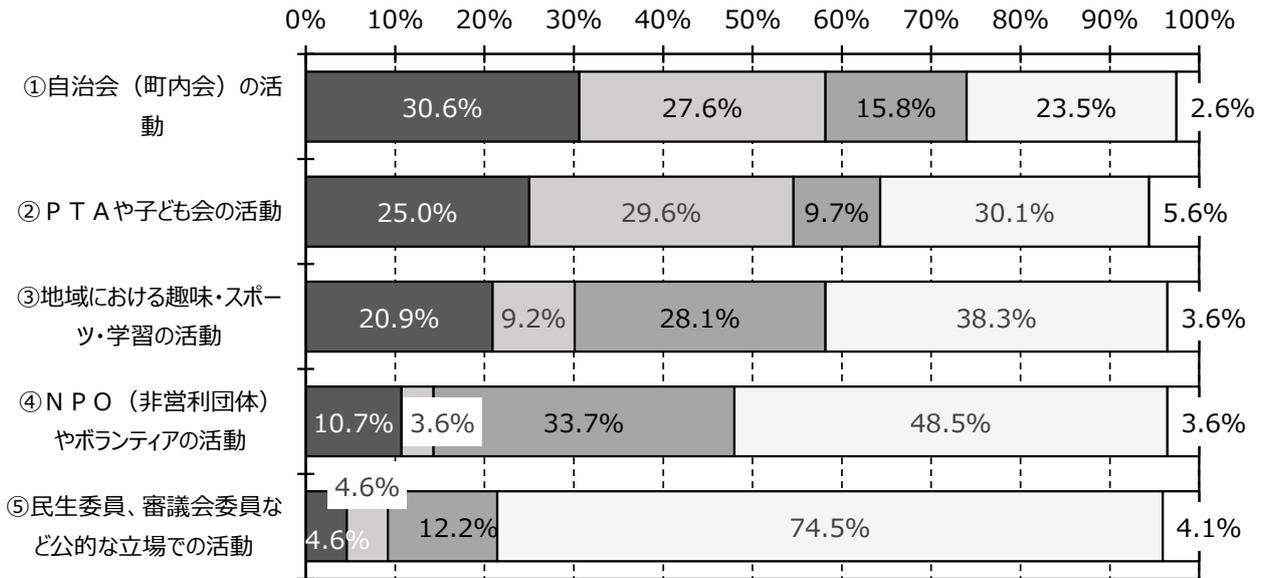
反対に「参加したことがなく、今後も参加したくない」という回答は⑤民生委員、審議会委員など公的な立場での活動 (70.7%) でもっとも多くなっています。

<性別>

男性 (n=154件)



女性 (n=196件)



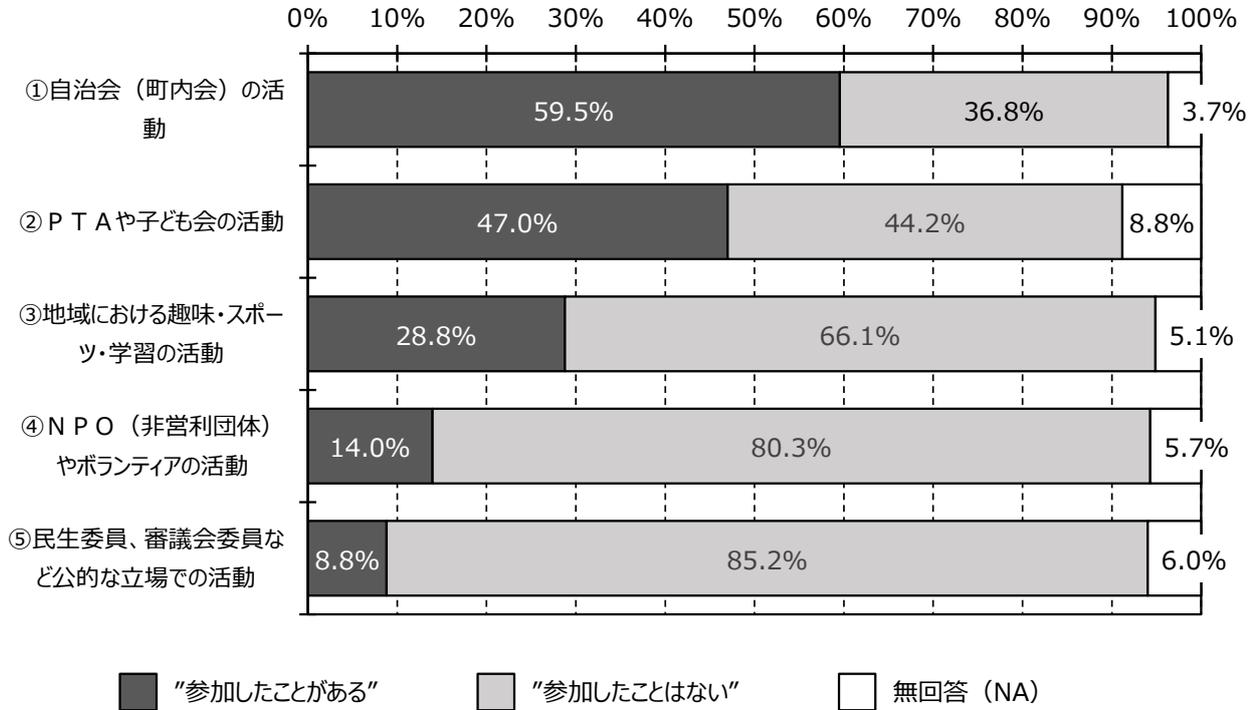
- 参加した又はしており、今後も参加したい
- 参加した又はしているが、今後は参加したくない
- 参加したことはないが、今後は参加したい
- 参加したことがなく、今後も参加したくない
- 無回答 (NA)

性別にみても、男女とも「参加した又はしており、今後も参加したい」という回答は①自治会 (町内会) の活動がもっとも多く、「参加したことがなく、今後も参加したくない」という回答は⑤民生委員、審議会委員など公的な立場での活動でもっとも多くなっています。

# ①参加状況

<全体>

全体 (n=351件)

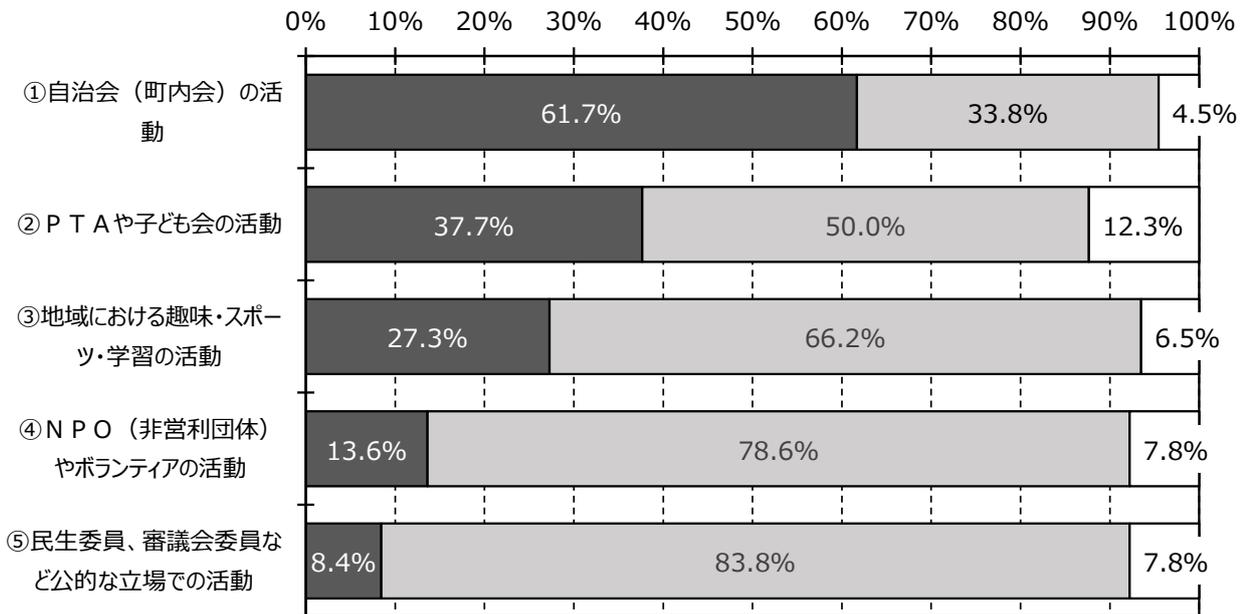


「参加した又はしており、今後も参加したい」、「参加した又はしているが、今後は参加したくない」を「参加したことがある」、「参加したことはないが、今後は参加したい」、「参加したことがなく、今後も参加したくない」を「参加したことがない」として整理すると、全体では①自治会 (町内会) の活動は「参加したことがある」という回答が59.5%で参加率が最も高い活動となっています。ついで②PTAや子ども会の活動の参加率が47.0%となっています。

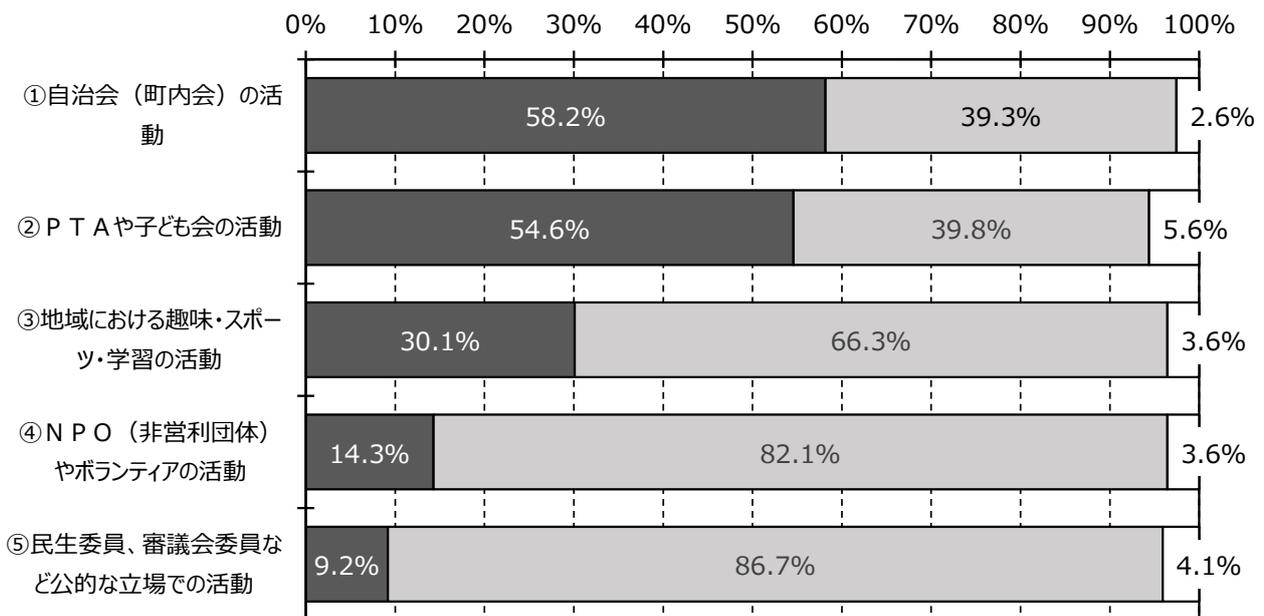
反対に、④NPO (非営利団体) やボランティアの活動と⑤民生委員、審議会委員など公的な立場での活動では「参加したことがない」という回答が8割を超えています。

<性別>

男性 (n = 154件)



女性 (n = 196件)



■ “参加したことがある”    □ “参加したことはない”    □ 無回答 (NA)

性別にみても、男女とも“参加したことがある”という回答は①自治会 (町内会) の活動がもっとも多くなっています。

②PTAや子ども会の活動については、男性では“参加したことがある”という回答は37.7%ですが、女性では54.6%と、女性の参加率が高くなっています。

男女とも④NPO (非営利団体) やボランティアの活動と⑤民生委員、審議会委員など公的な立場での活動では“参加したことがない”という回答が8割前後を超えています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>59.5%</b> 209件	<b>47.0%</b> 165件	<b>28.8%</b> 101件	<b>14.0%</b> 49件	<b>8.8%</b> 31件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	18.8% 3件	25.0% 4件	12.5% 2件	12.5% 2件	6.3% 1件
	30歳代	100.0% 40件	35.0% 14件	27.5% 11件	7.5% 3件	2.5% 1件	0.0% 0件
	40歳代	100.0% 54件	59.3% 32件	50.0% 27件	25.9% 14件	11.1% 6件	3.7% 2件
	50歳代	100.0% 70件	60.0% 42件	58.6% 41件	24.3% 17件	12.9% 9件	5.7% 4件
	60歳代	100.0% 109件	70.6% 77件	52.3% 57件	33.9% 37件	21.1% 23件	13.8% 15件
	70歳以上	100.0% 62件	66.1% 41件	40.3% 25件	45.2% 28件	12.9% 8件	14.5% 9件

<性別>

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>■男性</b>		<b>100.0%</b> 154件	<b>61.7%</b> 95件	<b>37.7%</b> 58件	<b>27.3%</b> 42件	<b>13.6%</b> 21件	<b>8.4%</b> 13件
年齢	10・20歳代	100.0% 8件	37.5% 3件	25.0% 2件	25.0% 2件	25.0% 2件	12.5% 1件
	30歳代	100.0% 15件	40.0% 6件	13.3% 2件	13.3% 2件	0.0% 0件	0.0% 0件
	40歳代	100.0% 27件	51.9% 14件	40.7% 11件	18.5% 5件	7.4% 2件	3.7% 1件
	50歳代	100.0% 28件	57.1% 16件	50.0% 14件	17.9% 5件	17.9% 5件	7.1% 2件
	60歳代	100.0% 51件	74.5% 38件	43.1% 22件	33.3% 17件	17.6% 9件	11.8% 6件
	70歳以上	100.0% 25件	72.0% 18件	28.0% 7件	44.0% 11件	12.0% 3件	12.0% 3件

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>■女性</b>		<b>100.0%</b> 196件	<b>58.2%</b> 114件	<b>54.6%</b> 107件	<b>30.1%</b> 59件	<b>14.3%</b> 28件	<b>9.2%</b> 18件
年齢	10・20歳代	100.0% 8件	0.0% 0件	25.0% 2件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	30歳代	100.0% 25件	32.0% 8件	36.0% 9件	4.0% 1件	4.0% 1件	0.0% 0件
	40歳代	100.0% 27件	66.7% 18件	59.3% 16件	33.3% 9件	14.8% 4件	3.7% 1件
	50歳代	100.0% 41件	63.4% 26件	65.9% 27件	29.3% 12件	9.8% 4件	4.9% 2件
	60歳代	100.0% 58件	67.2% 39件	60.3% 35件	34.5% 20件	24.1% 14件	15.5% 9件
	70歳以上	100.0% 37件	62.2% 23件	48.6% 18件	45.9% 17件	13.5% 5件	16.2% 6件

“参加したことがある”という回答について年齢別にみると、①自治会（町内会）の活動は40歳以上で“参加したことがある”という回答の割合が高くなっています。

②PTAや子ども会の活動については、40～60歳代で参加率が高く、③地域における趣味・スポーツ・学習の活動は60歳以上で参加率が高くなっています。

60歳代はいずれの活動においても参加率が高くなっています。

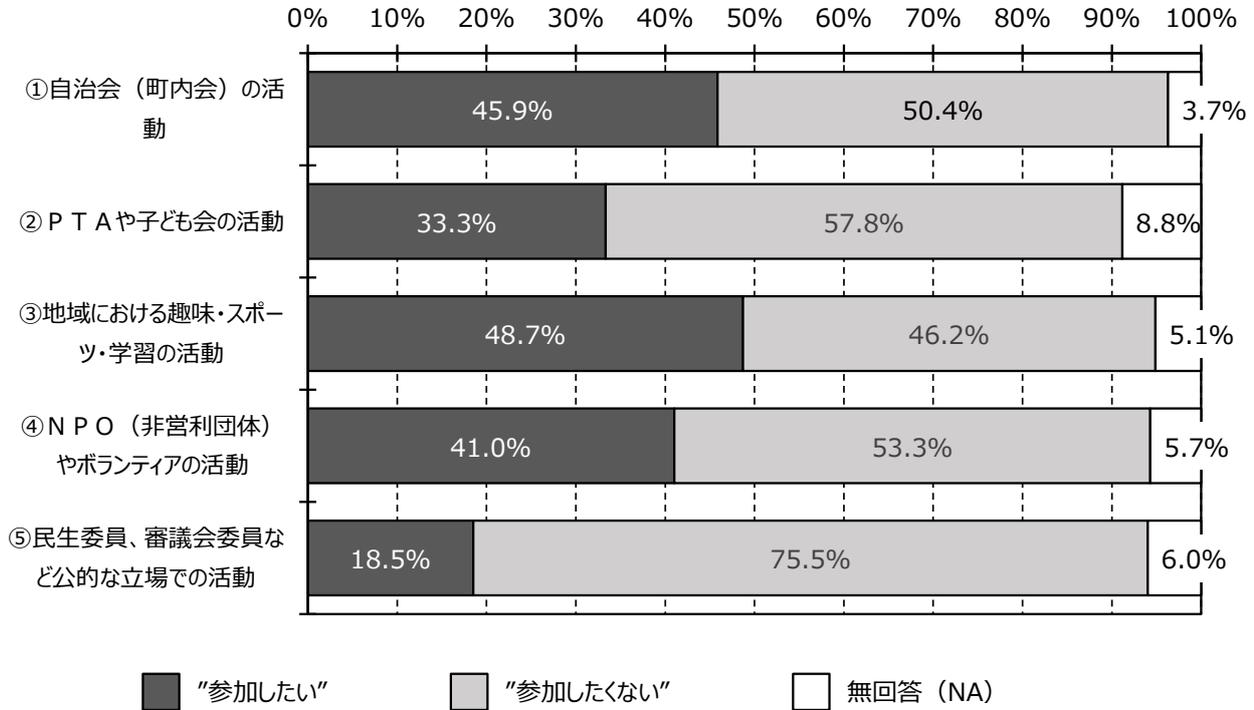
性別に“参加したことがある”という回答について年齢別の内訳をみると、男性では①自治会（町内会）の活動への参加率は60歳以上で7割を超えています。女性では40歳以上で参加率は6割を超えていますが、7割を超える年齢層はありません。

②PTAや子ども会の活動への参加率は男女とも40～60歳代で高くなっていますが、男性よりも女性の方が参加率は高く、女性の50歳代と60歳代では6割を超えています。

## ②参加意向

<全体>

全体 (n=351件)

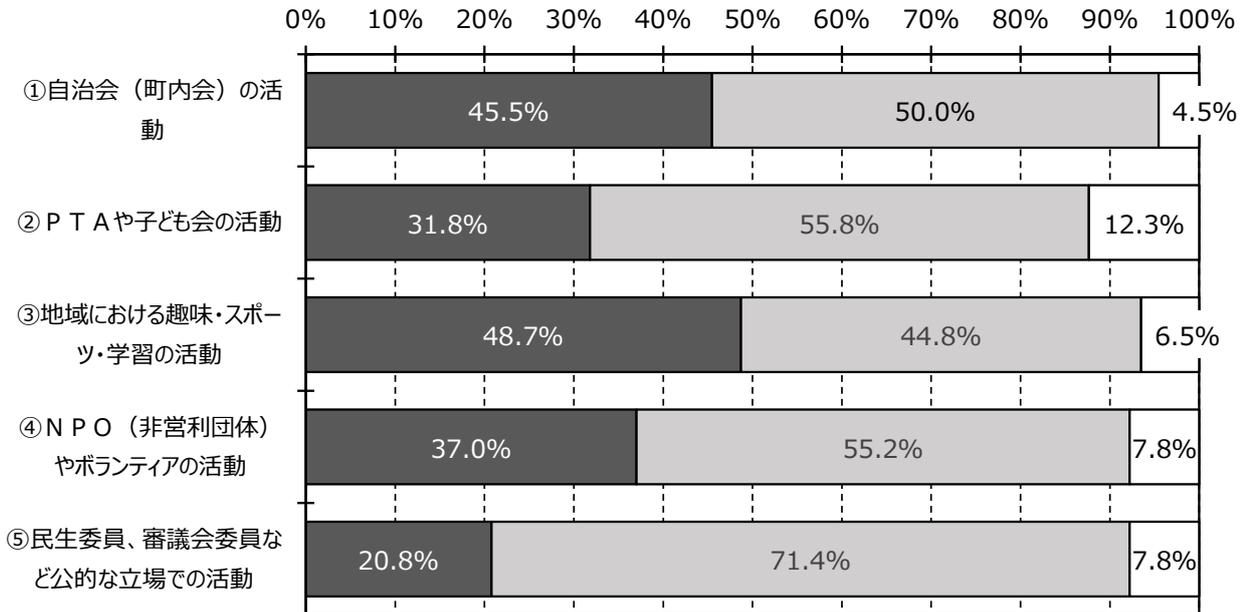


「参加した又はしており、今後も参加したい」と「参加したことはないが、今後は参加したい」を「参加したい」、「参加した又はしているが、今後は参加したくない」と「参加したことがなく、今後も参加したくない」を「参加したくない」として整理すると、全体では①自治会 (町内会) の活動、③地域における趣味・スポーツ・学習の活動、④NPO (非営利団体) やボランティアの活動については、「参加したい」という回答が4割を超えています。

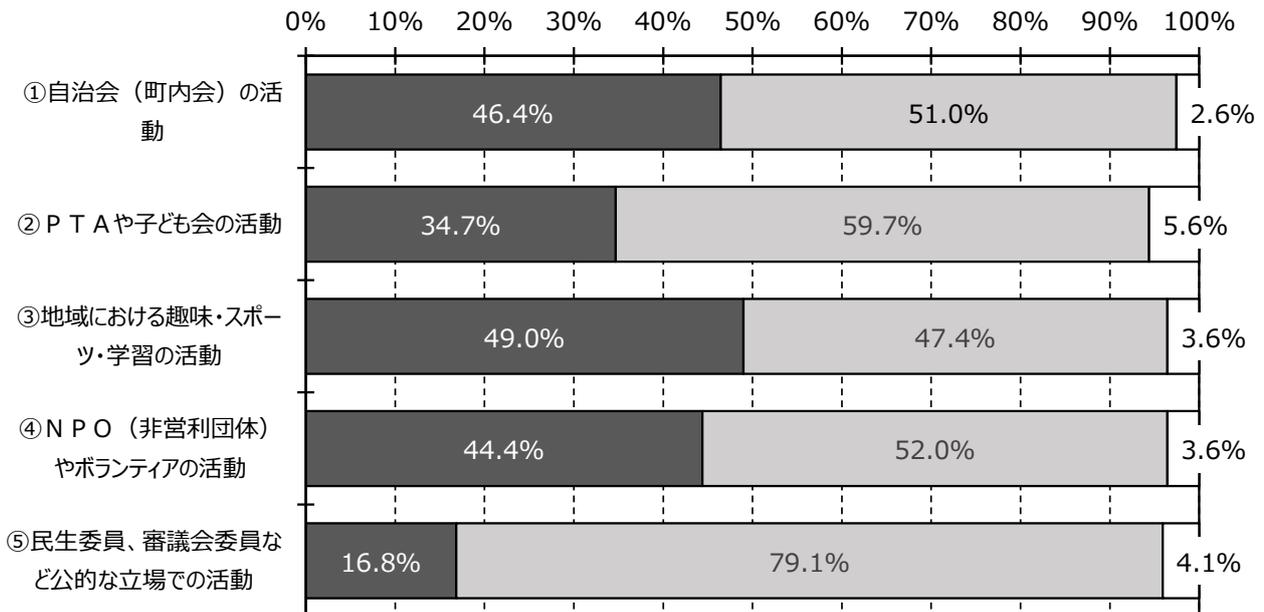
反対に、⑤民生委員、審議会委員など公的な立場での活動については「参加したくない」という回答が7割を超えています。

<性別>

男性 (n = 154件)



女性 (n = 196件)



■ “参加したい”      ■ “参加したくない”      □ 無回答 (NA)

性別にみても、男女とも①自治会 (町内会) の活動、③地域における趣味・スポーツ・学習の活動については “参加したい” という回答が4割を超えています。

④NPO (非営利団体) やボランティアの活動については、男性よりも女性の方が “参加したい” という回答がやや高く、女性の4割以上が参加したいとしています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>45.9%</b>	<b>33.3%</b>	<b>48.7%</b>	<b>41.0%</b>	<b>18.5%</b>
		351件	161件	117件	171件	144件	65件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	43.8%	37.5%	37.5%	18.8%
		16件	4件	7件	6件	6件	3件
	30歳代	100.0%	42.5%	40.0%	55.0%	35.0%	15.0%
		40件	17件	16件	22件	14件	6件
	40歳代	100.0%	37.0%	37.0%	33.3%	31.5%	16.7%
		54件	20件	20件	18件	17件	9件
	50歳代	100.0%	37.1%	27.1%	51.4%	47.1%	17.1%
	70件	26件	19件	36件	33件	12件	
60歳代	100.0%	56.0%	40.4%	52.3%	51.4%	24.8%	
	109件	61件	44件	57件	56件	27件	
70歳以上	100.0%	53.2%	17.7%	51.6%	29.0%	12.9%	
	48件	26件	11件	32件	18件	8件	

<性別>

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>■男性</b>		<b>100.0%</b>	<b>45.5%</b>	<b>31.8%</b>	<b>48.7%</b>	<b>37.0%</b>	<b>20.8%</b>
		154件	70件	49件	75件	57件	32件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	25.0%	37.5%	37.5%	25.0%
		8件	2件	2件	3件	3件	2件
	30歳代	100.0%	53.3%	40.0%	60.0%	33.3%	20.0%
		15件	8件	6件	9件	5件	3件
	40歳代	100.0%	33.3%	33.3%	25.9%	14.8%	22.2%
		27件	9件	9件	7件	4件	6件
	50歳代	100.0%	39.3%	39.3%	53.6%	50.0%	25.0%
	28件	11件	11件	15件	14件	7件	
60歳代	100.0%	52.9%	39.2%	49.0%	49.0%	21.6%	
	51件	27件	20件	25件	25件	11件	
70歳以上	100.0%	52.0%	4.0%	64.0%	24.0%	12.0%	
	48件	26件	1件	16件	6件	3件	

		n	①自治会 (町内会) の活動	②PTAや 子ども会の 活動	③地域にお ける趣味・ スポーツ・ 学習の活動	④NPO (非営利団 体)やボラ ンティアの 活動	⑤民生委 員、審議会 委員など公 的な立場で の活動
<b>■女性</b>		<b>100.0%</b>	<b>46.4%</b>	<b>34.7%</b>	<b>49.0%</b>	<b>44.4%</b>	<b>16.8%</b>
		196件	91件	68件	96件	87件	33件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	62.5%	37.5%	37.5%	12.5%
		8件	2件	5件	3件	3件	1件
	30歳代	100.0%	36.0%	40.0%	52.0%	36.0%	12.0%
		25件	9件	10件	13件	9件	3件
	40歳代	100.0%	40.7%	40.7%	40.7%	48.1%	11.1%
		27件	11件	11件	11件	13件	3件
	50歳代	100.0%	36.6%	19.5%	51.2%	46.3%	12.2%
	41件	15件	8件	21件	19件	5件	
60歳代	100.0%	58.6%	41.4%	55.2%	53.4%	27.6%	
	58件	34件	24件	32件	31件	16件	
70歳以上	100.0%	54.1%	27.0%	43.2%	32.4%	13.5%	
	48件	26件	10件	16件	12件	5件	

“参加したい”という回答について年齢別にみると、①自治会（町内会）の活動は60歳以上で“参加したい”という回答の割合が高くなっています。

②PTAや子ども会の活動については、10・20歳代、30歳代、60歳代で参加希望が4割を超え、

③地域における趣味・スポーツ・学習の活動は30歳代と50歳以上で参加希望が5割を超えています。また④NPO（非営利団体）やボランティアの活動は60歳代で参加希望が5割を超えています。

性別に“参加したい”という回答について年齢別の内訳をみると、男性では①自治会（町内会）の活動への参加希望は、30歳代と60歳以上で5割を超えており、女性では60歳以上で参加希望が5割を超えています。

②PTAや子ども会の活動への参加希望は女性の10・20歳代で6割を超えています。

④NPO（非営利団体）やボランティアの活動については、男性では50歳代と60歳代で、女性では40～60歳代で参加希望が高くなっています。

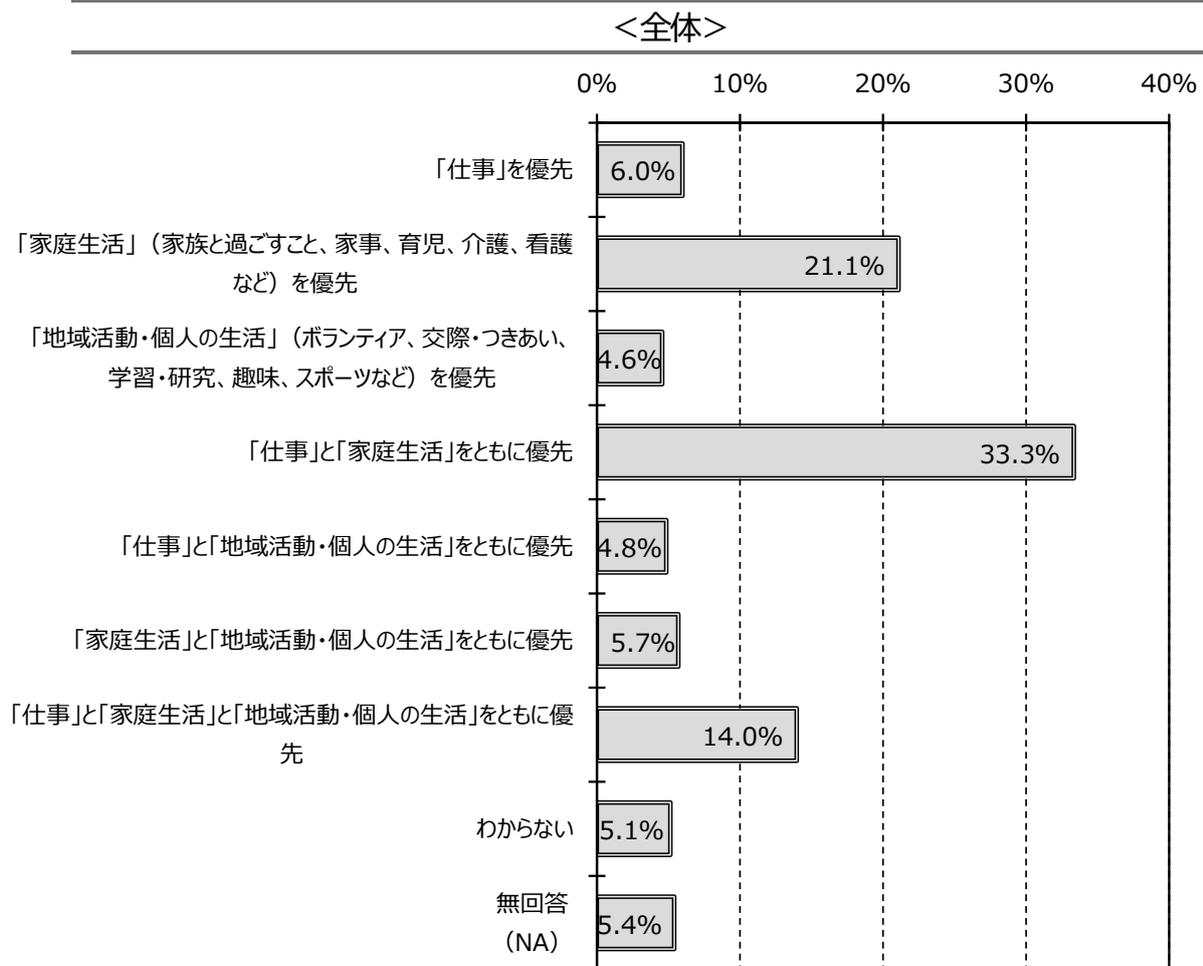
女性の60歳代は多くの活動に対して参加希望が高くなっています。

## 11) 仕事や家庭の優先度

問 22：生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の生活」の優先度について、①あなたの理想にもっとも近いもの、②あなたの現状にもっとも近いものを、それぞれ1つずつ選び、回答欄に選択肢の番号を記入してください。

※現在、仕事をしていない方は、仕事をしていたときまたは今後する場合の状況でお答えください。

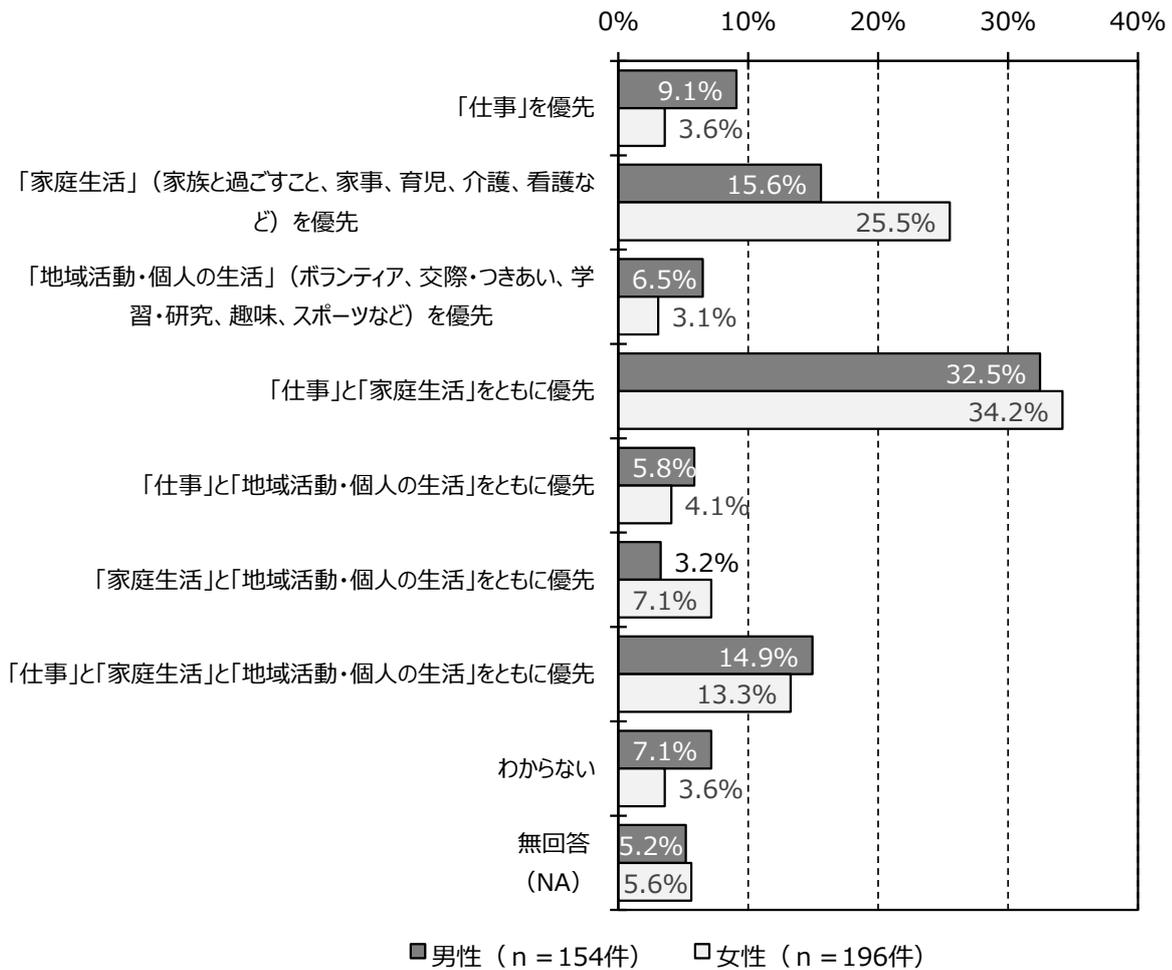
### ①あなたの理想にもっとも近いもの



□全体 (n = 351件)

「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の生活」の優先度についての理想について聞くと、全体では「仕事」と「家庭生活」をともに優先が33.3%でもっとも多く、ついで「家庭生活」（家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など）を優先が21.1%となっています。

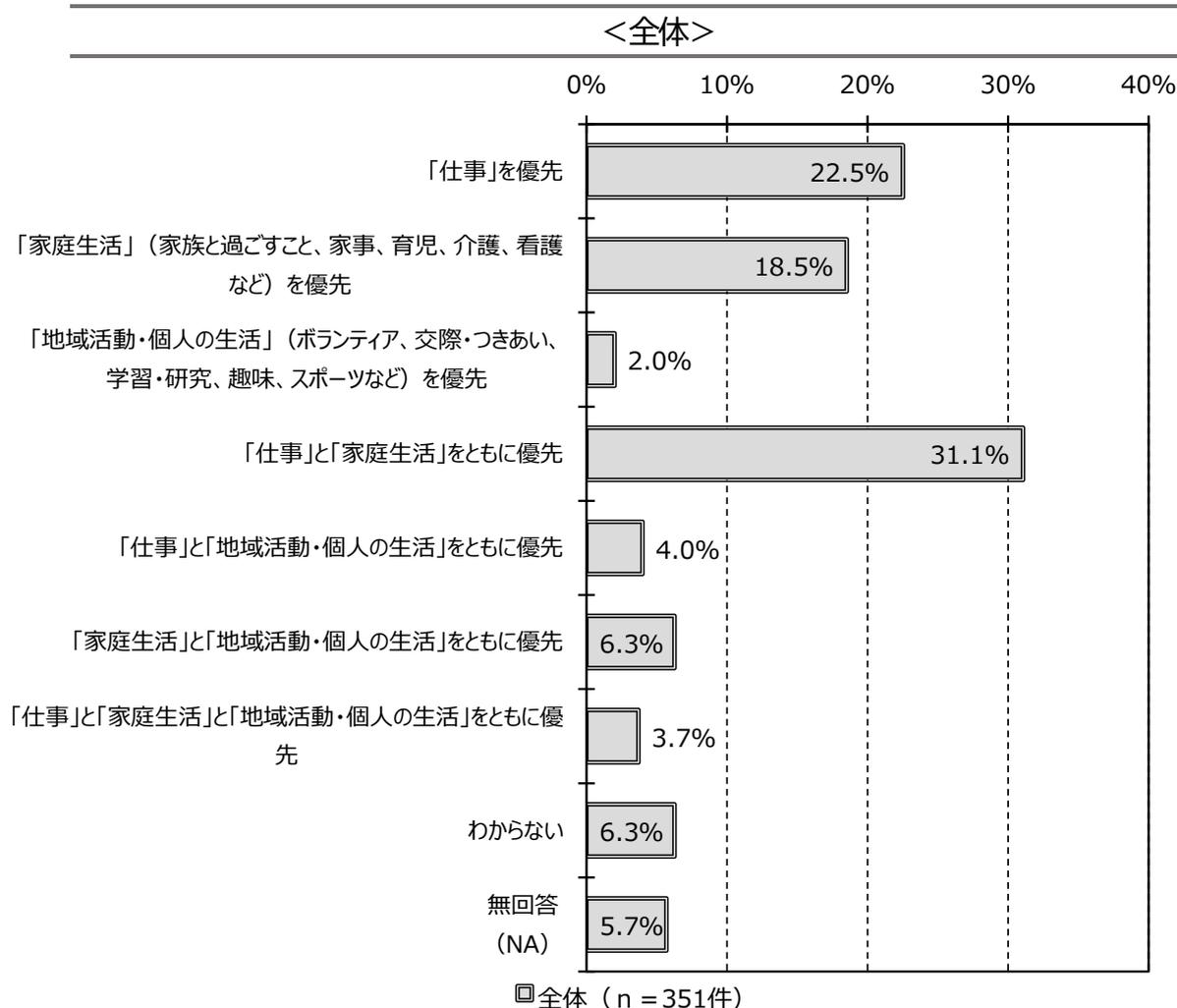
<性別>



性別にみても、男女とも理想としては「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」への回答がもっとも多くなっています。

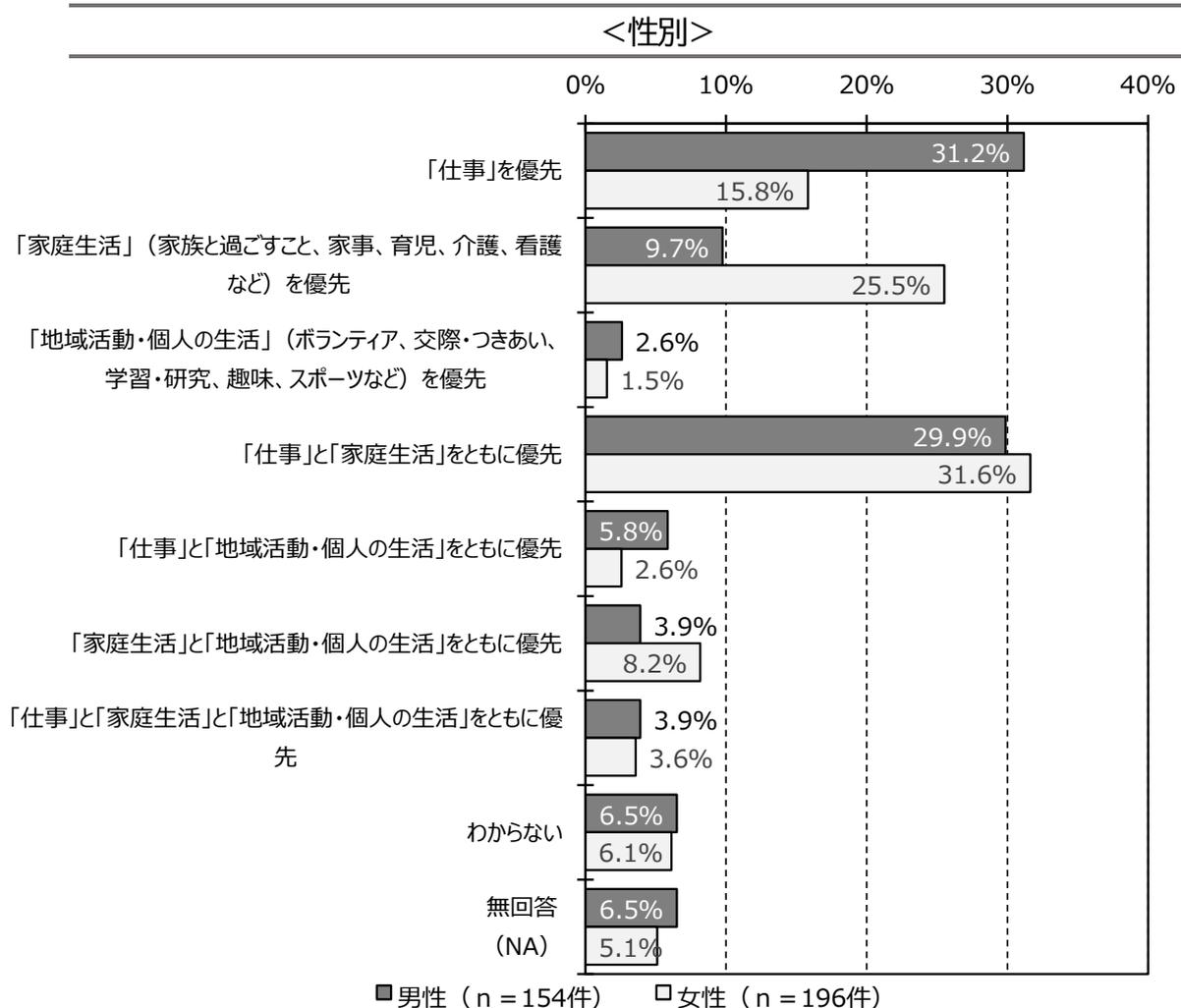
「「家庭生活」(家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など)を優先」については、男性では15.6%であるのに対して、女性では25.5%と、男性よりも女性で回答割合が高くなっています。

## ②あなたの現状にもっとも近いもの



「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の生活」の優先度についての現状について聞くと、全体では「仕事」と「家庭生活」ともに優先」が31.1%でもっとも多く、ついで「仕事」を優先」が22.5%となっています。

「仕事」と「家庭生活」ともに優先」については理想と変わらずもっとも回答が多くなっていますが、理想に比べると、現状では「仕事」を優先」への回答割合が高くなっています。



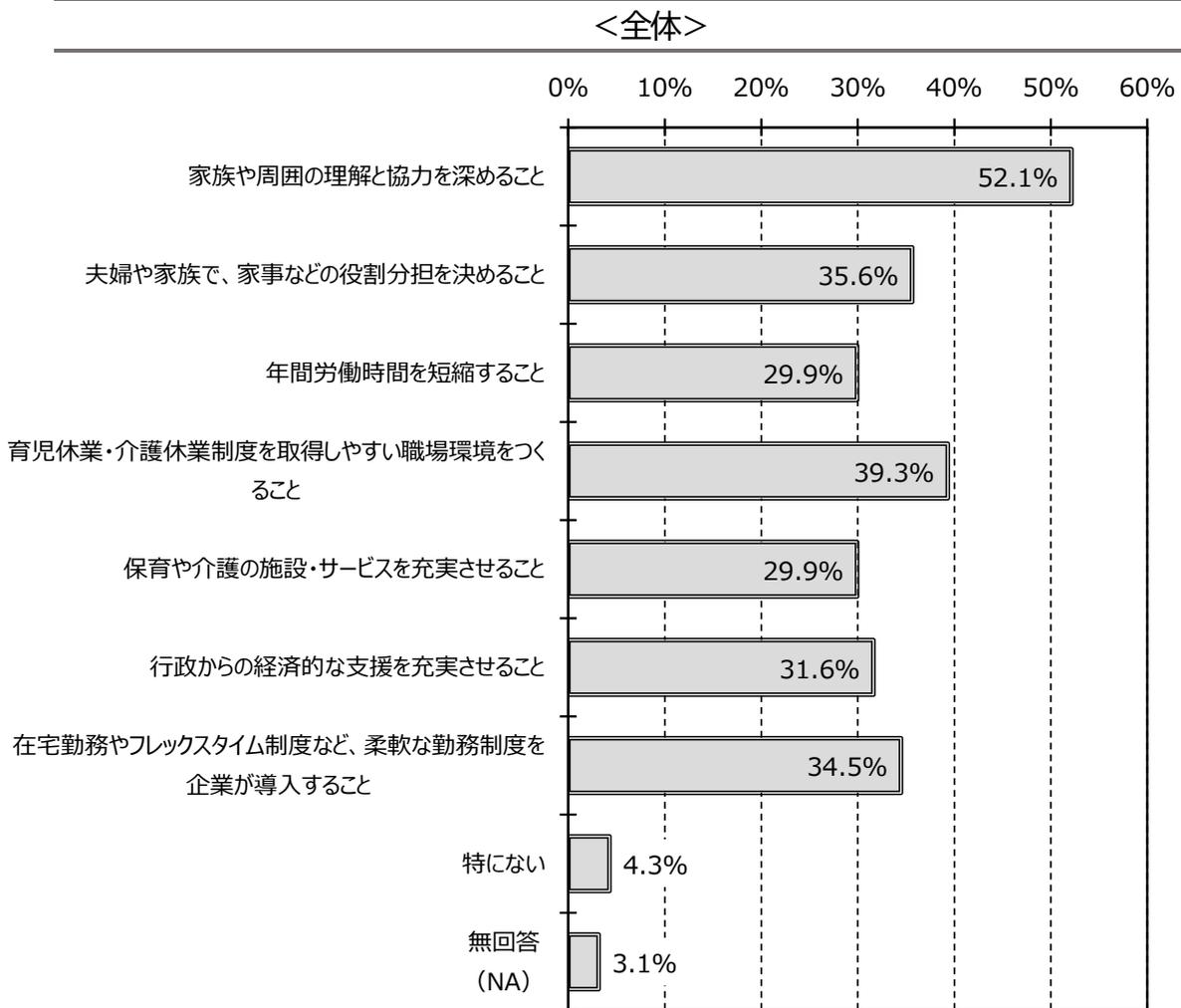
性別にみると、男女とも理想と同じく、現状においても3割程度が「仕事」と「家庭生活」をともに優先」と回答しています。

男性の場合、「仕事」を優先への回答が31.2%と、女性の15.8%を大きく上回り、理想（男性：9.1%）と比べても高い割合を占めています。

女性の場合、男性よりも「家庭生活」(家族と過ごすこと、家事、育児、介護、看護など)を優先への回答割合が高くなっています。(女性の場合、理想と現状に大きな差はありません。)

## 12) ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なこと

問 23：仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

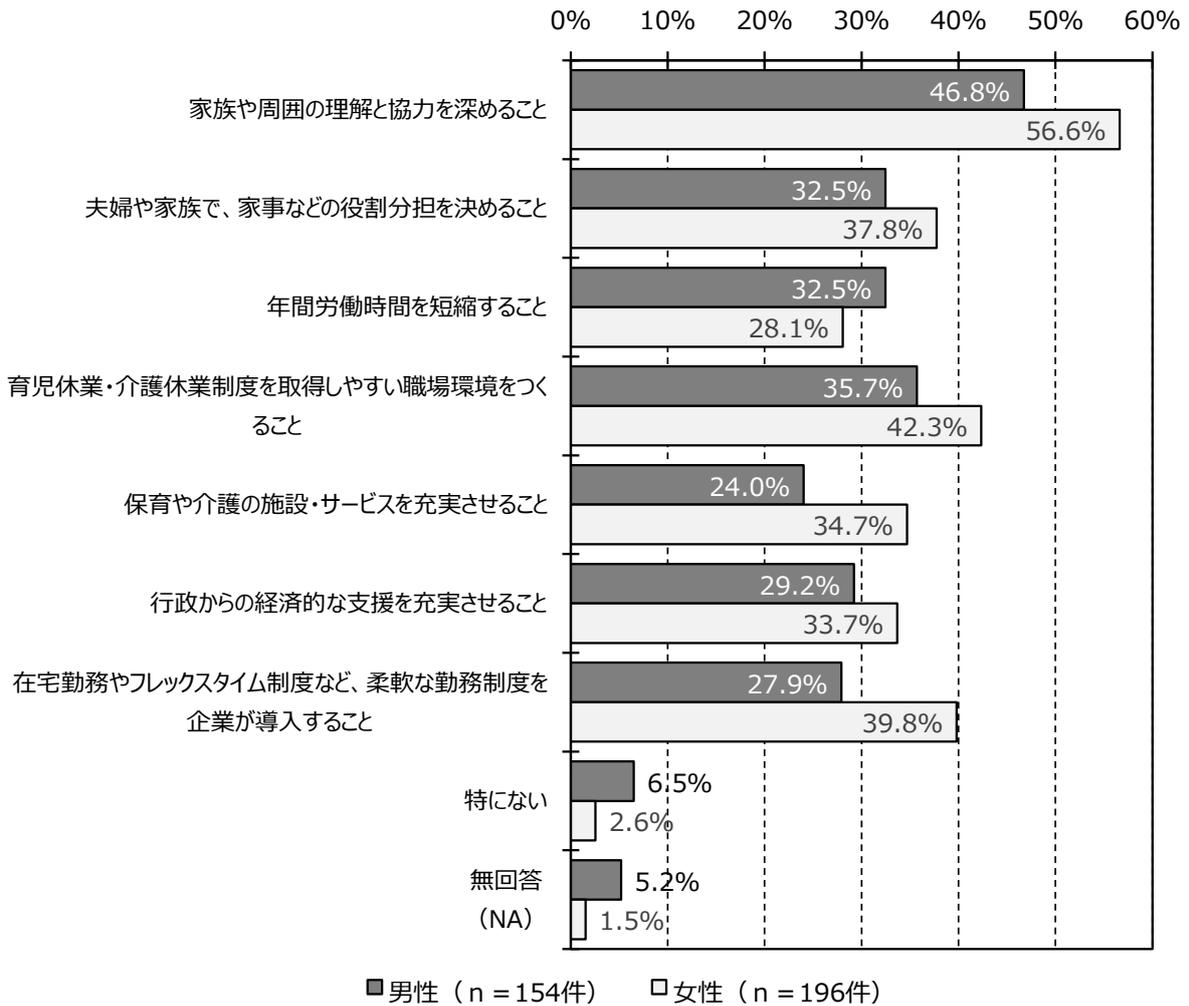


□全体（n = 351件）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現するために必要なことについてみると、全体では「家族や周囲の理解と協力を深めること」への回答がもっとも多くなっています。

ついで「育児休業・介護休業制度を取得しやすい職場環境をつくること」への回答が39.3%となっているものの、その他の項目への回答も3割前後を占めており、様々な項目に対して同程度に必要なという回答がされています。

<性別>



性別にみても、男女とも「家族や周囲の理解と協力を深めること」への回答がもっとも多くなっています。

すべての項目において、男性よりも女性の方が回答の割合が高く、3割を下回る項目はありませんでした。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	家族や周囲の理解と協力を深めること	夫婦や家族で、家事などの役割分担を決めること	年間労働時間を短縮すること	育児休業・介護休業制度を取得しやすい職場環境をつくること	保育や介護の施設・サービスを充実させること	行政からの経済的な支援を充実させること
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>52.1%</b> 183件	<b>35.6%</b> 125件	<b>29.9%</b> 105件	<b>39.3%</b> 138件	<b>29.9%</b> 105件	<b>31.6%</b> 111件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	37.5% 6件	43.8% 7件	43.8% 7件	50.0% 8件	37.5% 6件	43.8% 7件
	30歳代	100.0% 40件	37.5% 15件	22.5% 9件	50.0% 20件	60.0% 24件	47.5% 19件	37.5% 15件
	40歳代	100.0% 54件	48.1% 26件	25.9% 14件	38.9% 21件	35.2% 19件	24.1% 13件	46.3% 25件
	50歳代	100.0% 70件	60.0% 42件	40.0% 28件	32.9% 23件	31.4% 22件	27.1% 19件	27.1% 19件
	60歳代	100.0% 109件	58.7% 64件	43.1% 47件	25.7% 28件	39.4% 43件	30.3% 33件	34.9% 38件
	70歳以上	100.0% 62件	48.4% 30件	32.3% 20件	9.7% 6件	35.5% 22件	24.2% 15件	11.3% 7件
	<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>34.5%</b> 121件	<b>4.3%</b> 15件	<b>3.1%</b> 11件		
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	56.3% 9件	6.3% 1件	18.8% 3件			
	30歳代	100.0% 40件	55.0% 22件	2.5% 1件	0.0% 0件			
	40歳代	100.0% 54件	27.8% 15件	3.7% 2件	3.7% 2件			
	50歳代	100.0% 70件	31.4% 22件	4.3% 3件	2.9% 2件			
	60歳代	100.0% 109件	33.0% 36件	1.8% 2件	0.0% 0件			
	70歳以上	100.0% 62件	27.4% 17件	9.7% 6件	6.5% 4件			

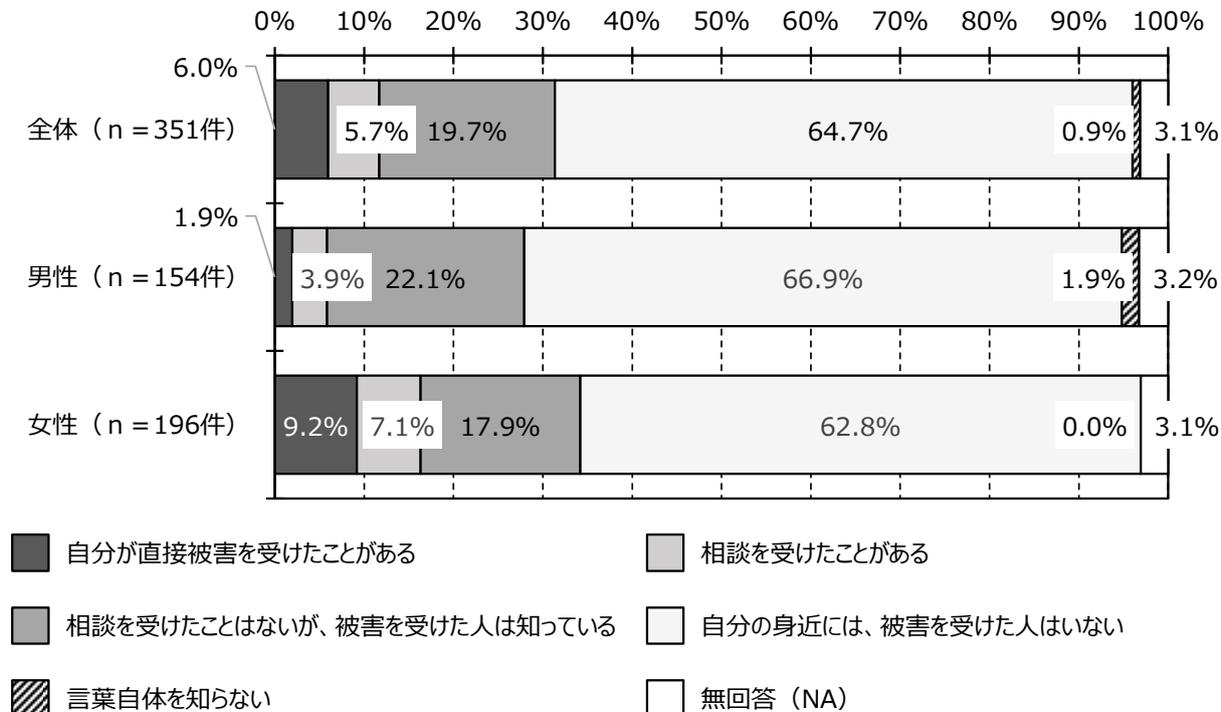
年齢別にみると、「家族や周囲の理解と協力を深めること」への回答は50歳代と60歳代で約6割と回答割合が高くなっています。

一方、10・20歳代や30歳代では「育児休業・介護休業制度を取得しやすい職場環境をつくること」、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を企業が導入すること」、「年間労働時間を短縮すること」など、より具体的な就労環境に関する項目に対する回答割合が高くなっています。

## (4) DV・ハラスメントについて

### 1) DVについて身近で見聞きした経験

問 24：DVについて身近で見聞きした経験はありますか。(〇は1つ)



DVについて身近で見聞きした経験について聞くと、全体では「自分の身近には、被害を受けた人はいない」が64.7%でもっとも多く、性別にみても男女とも「自分の身近には、被害を受けた人はいない」への回答が6割以上を占めています。

「自分が直接被害を受けたことがある」については、女性では9.2%と1割近くを占めていますが、男性では1.9%となっています。

「自分が直接被害を受けたことがある」、「相談を受けたことがある」、「相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている」という自身を含めて身近にハラスメントの該当者がいるという回答は女性の方が回答割合はやや高いものの、男女とも3割前後を占めています。

#### [属性別にみた回答傾向]

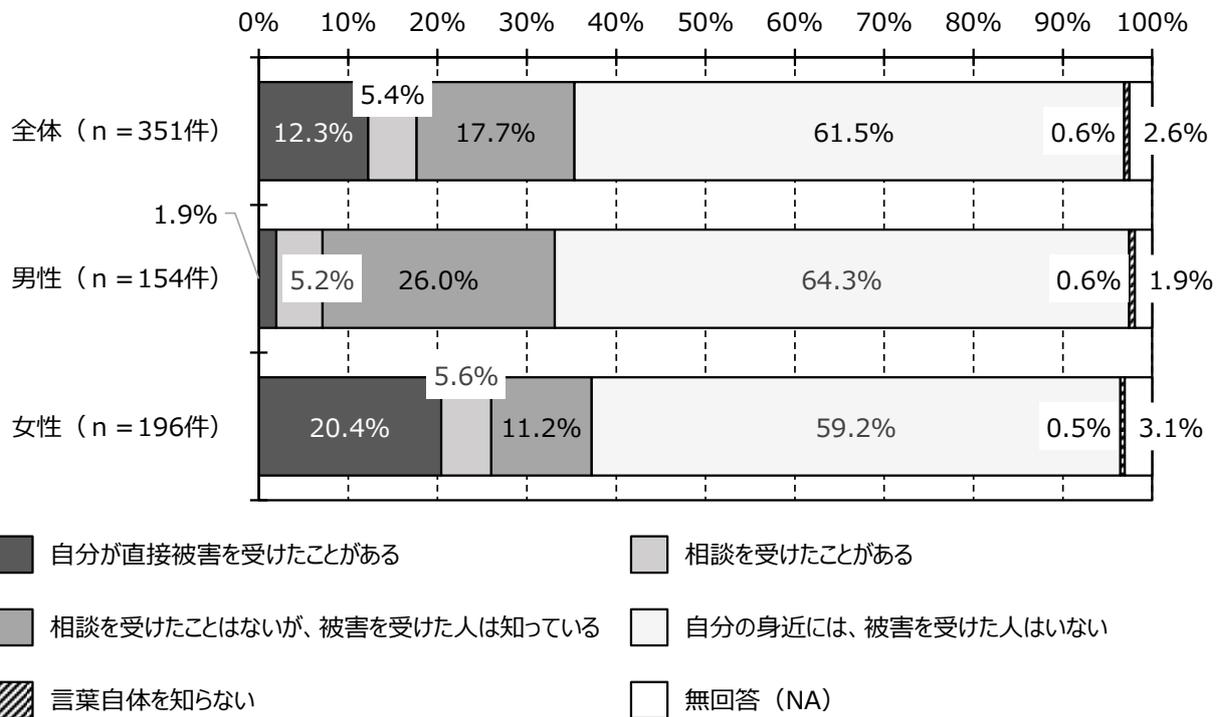
##### <全体>

		n	自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている	自分の身近には、被害を受けた人はいない	言葉自体を知らない	無回答 (NA)
全体		100.0%	6.0%	5.7%	19.7%	64.7%	0.9%	3.1%
		351件	21件	20件	69件	227件	3件	11件
居住地区	天王地区	100.0%	5.9%	5.4%	23.4%	61.3%	0.9%	3.2%
		222件	13件	12件	52件	136件	2件	7件
	昭和地区	100.0%	6.8%	5.4%	10.8%	73.0%	1.4%	2.7%
		74件	5件	4件	8件	54件	1件	2件
	飯田川地区	100.0%	6.0%	6.0%	14.0%	70.0%	0.0%	4.0%
		50件	3件	3件	7件	35件	0件	2件

居住地区別にみると、天王地区では「相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている」という回答が23.4%で他の地区よりも割合が高くなっています。

## 2) セクハラについて身近で見聞きした経験

問 25：セクハラについて身近で見聞きした経験はありますか。(〇は1つ)



セクハラについて身近で見聞きした経験について聞くと、全体では「自分の身近には、被害を受けた人はいない」が61.5%でもっとも多く、性別にみても男女とも「自分の身近には、被害を受けた人はいない」への回答が6割程度を占めています。

「自分が直接被害を受けたことがある」については、女性では20.4%と2割を占めています。男性では「相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている」への回答が26.0%と女性よりも高い割合を占めています。

「自分が直接被害を受けたことがある」、「相談を受けたことがある」、「相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている」という自身を含めて身近にハラスメントの該当者がいるという回答は女性の方が回答割合はやや高いものの、男女とも3割以上を占めています。

### [属性別にみた回答傾向]

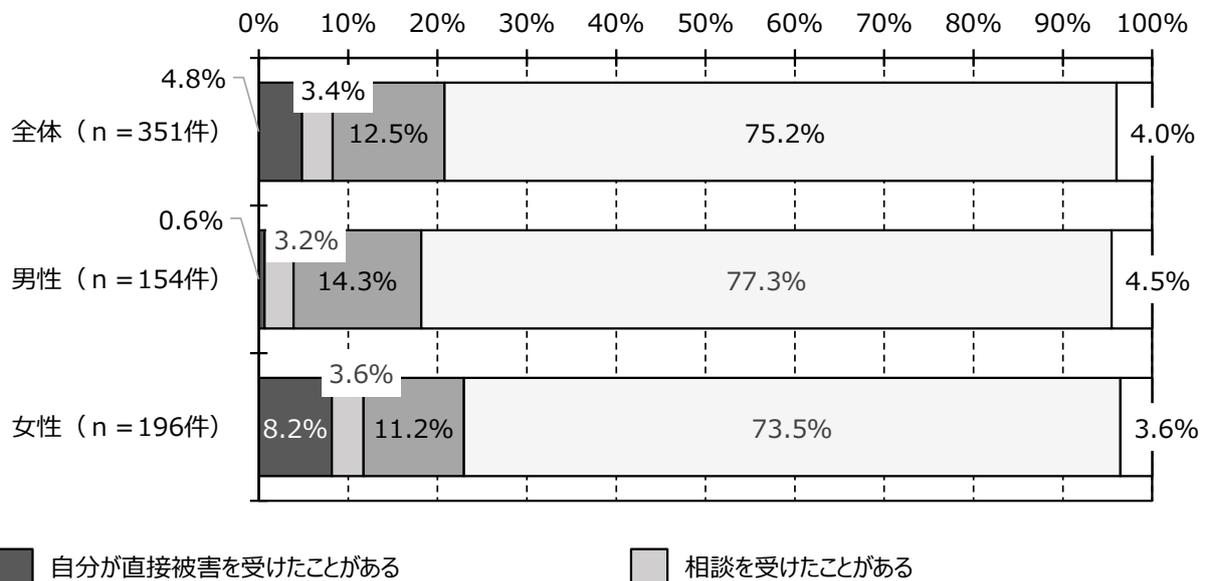
#### <全体>

		n	自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている	自分の身近には、被害を受けた人はいない	言葉自体を知らない	無回答 (NA)
全体		100.0%	12.3%	5.4%	17.7%	61.5%	0.6%	2.6%
		351件	43件	19件	62件	216件	2件	9件
居住地区	天王地区	100.0%	12.2%	6.3%	19.8%	58.6%	0.5%	2.7%
		222件	27件	14件	44件	130件	1件	6件
	昭和地区	100.0%	14.9%	5.4%	9.5%	68.9%	0.0%	1.4%
	74件	11件	4件	7件	51件	0件	1件	
	飯田川地区	100.0%	8.0%	0.0%	20.0%	68.0%	0.0%	4.0%
	50件	4件	0件	10件	34件	0件	2件	

居住地区別にみると、天王地区と昭和地区では「自分が直接被害を受けたことがある」という回答がともに1割を超えています。

### 3) マタハラについて身近で見聞きした経験

問 26：妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントを身近で見聞きした経験はありますか。(〇は1つ)



- 自分が直接被害を受けたことがある
- 相談を受けたことがある
- 相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている
- 自分の身近には、被害を受けた人はいない
- 無回答 (NA)

妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントについて身近で見聞きした経験について聞くと、全体では「自分の身近には、被害を受けた人はいない」が75.2%でもっとも多く、性別にみても男女とも「自分の身近には、被害を受けた人はいない」への回答が7割以上を占めています。

「自分が直接被害を受けたことがある」については、女性では8.2%となっています。

「自分が直接被害を受けたことがある」、「相談を受けたことがある」、「相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている」という自身を含めて身近にハラスメントの該当者がいるという回答は女性の方が回答割合はやや高いものの、男女とも2割前後を占めています。

#### [属性別にみた回答傾向]

##### <全体>

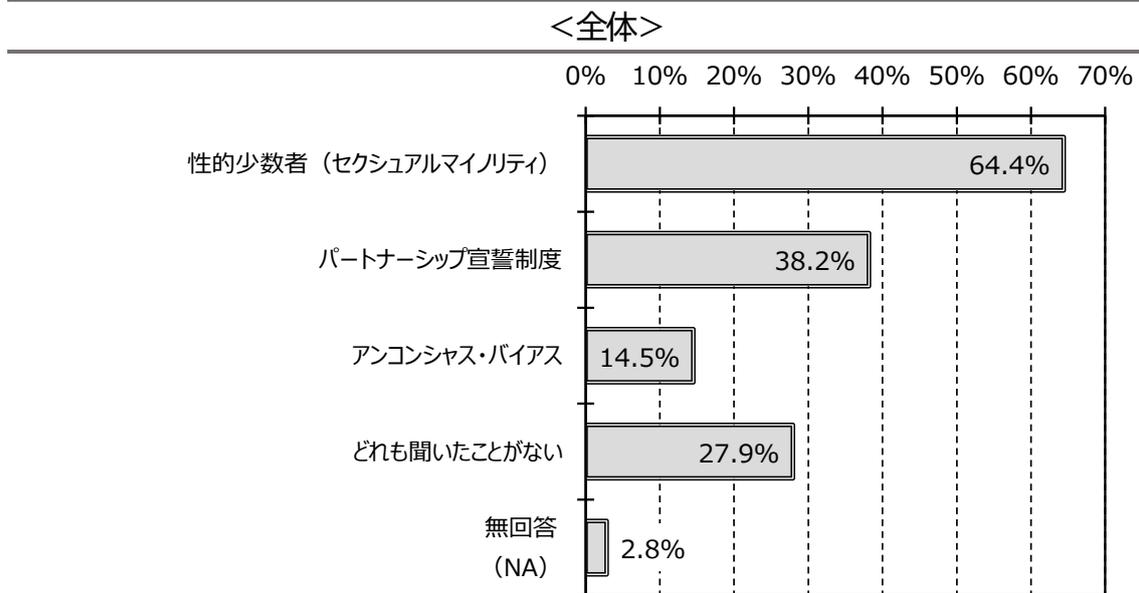
		n	自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	相談を受けたことはないが、被害を受けた人は知っている	自分の身近には、被害を受けた人はいない	無回答 (NA)
全体		100.0%	4.8%	3.4%	12.5%	75.2%	4.0%
		351件	17件	12件	44件	264件	14件
居住地区	天王地区	100.0%	4.5%	3.2%	12.6%	75.2%	4.5%
		222件	10件	7件	28件	167件	10件
	昭和地区	100.0%	5.4%	4.1%	10.8%	77.0%	2.7%
		74件	4件	3件	8件	57件	2件
	飯田川地区	100.0%	4.0%	2.0%	16.0%	74.0%	4.0%
		50件	2件	1件	8件	37件	2件

居住地区別にみると、各地区の間に回答傾向の大きな違いはみられませんでした。

## (5) 性の多様性について

### 1) 多様性のある社会に関する用語の認知状況

問27：多様性のある社会について、あなたがこれまで見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

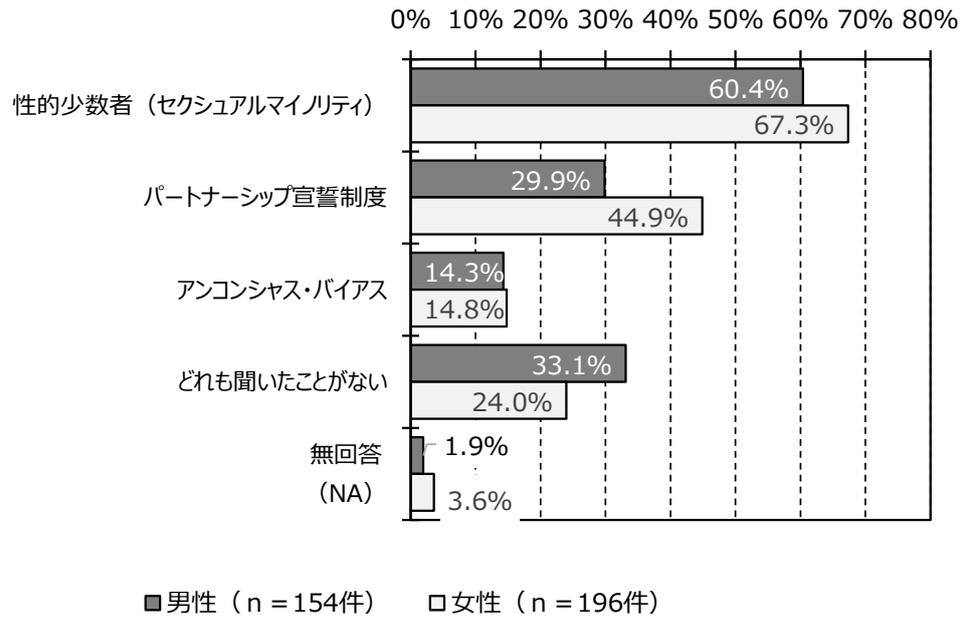


□全体 (n = 351件)

多様性のある社会に関する用語（「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」、「パートナーシップ宣誓制度」、「アンコンシャス・バイアス」）の認知状況についてみると、全体では「どれも聞いたことがない」という回答は27.9%となっています。

知っている用語としては「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」が64.4%でもっとも多く、ついで「パートナーシップ宣誓制度」が38.2%、「アンコンシャス・バイアス」が14.5%となっています。

<性別>



性別にみると、「どれも聞いたことがない」という回答は男性では 33.1%と男性の1/3程度を占めています。

男女とも「性的少数者 (セクシュアルマイノリティ)」については6割以上が知っているとしていますが、「パートナーシップ宣誓制度」については男性が 29.9%であるのに対して女性では 44.9%が知っているとしており、男性の認知度の方が低くなっています。

「アンコンシャス・バイアス」については男女とも認知度は 14%程度となっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	性的少数者 (セクシュアルマイノリティ)	パートナー シップ宣誓 制度	アンコン シャス・バ イアス	どれも聞い たことがな い	無回答 (NA)
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>64.4%</b>	<b>38.2%</b>	<b>14.5%</b>	<b>27.9%</b>	<b>2.8%</b>
		351件	226件	134件	51件	98件	10件
年齢	10・20歳代	100.0%	56.3%	31.3%	6.3%	31.3%	6.3%
		16件	9件	5件	1件	5件	1件
	30歳代	100.0%	77.5%	50.0%	20.0%	20.0%	0.0%
		40件	31件	20件	8件	8件	0件
	40歳代	100.0%	74.1%	46.3%	16.7%	16.7%	3.7%
		54件	40件	25件	9件	9件	2件
	50歳代	100.0%	67.1%	41.4%	17.1%	27.1%	1.4%
	70件	47件	29件	12件	19件	1件	
60歳代	100.0%	62.4%	39.4%	12.8%	30.3%	3.7%	
	109件	68件	43件	14件	33件	4件	
70歳以上	100.0%	50.0%	19.4%	11.3%	38.7%	3.2%	
	62件	31件	12件	7件	24件	2件	

年齢別にみると、「性的少数者（セクシュアルマイノリティ）」についてはすべての年齢層において半数以上が認知しており、とくに30歳代と40歳代では7割以上が認知しています。

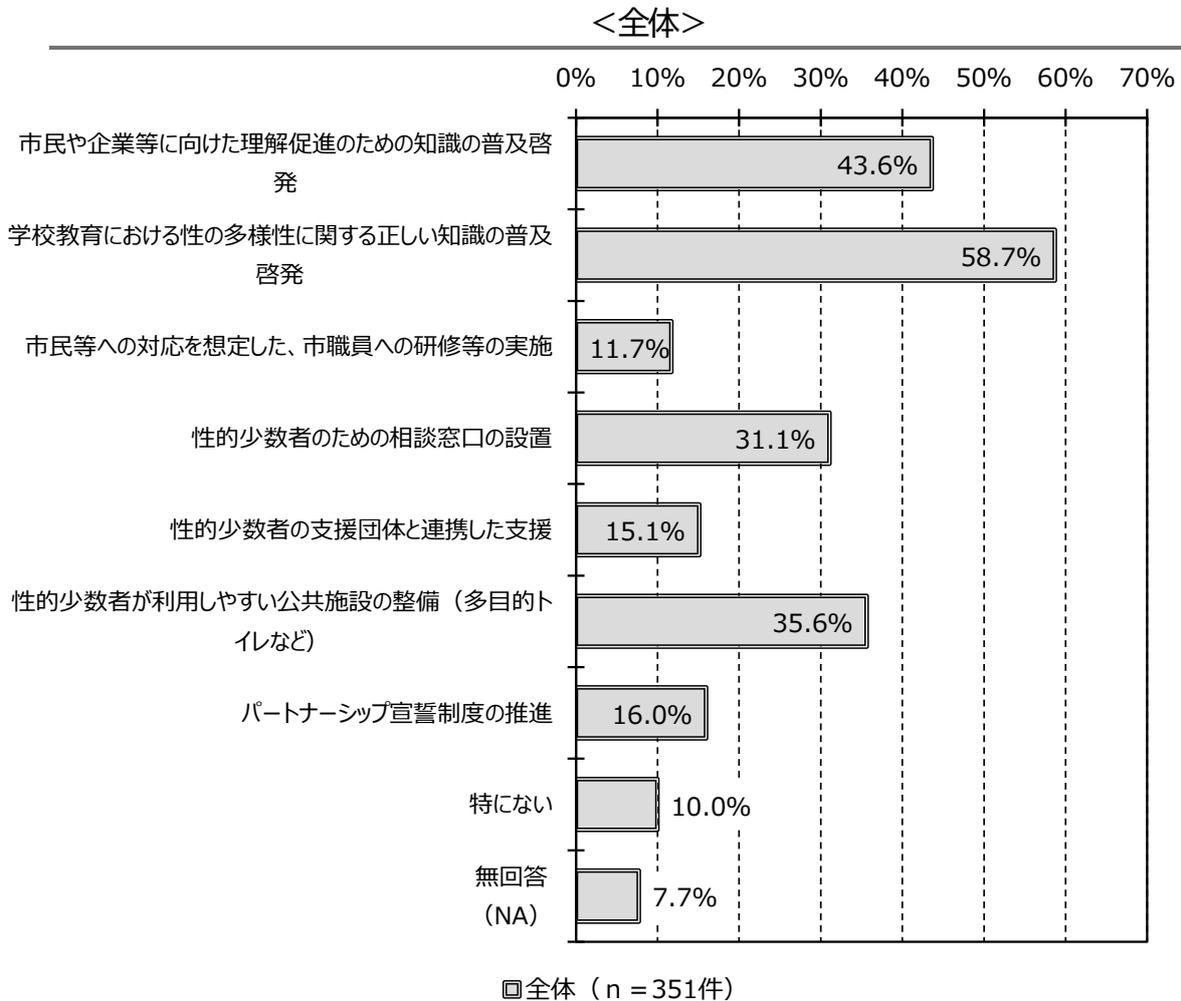
「パートナーシップ宣誓制度」については30歳代で半数が認知しており、他の年齢層において3～4割の認知度となっていますが、70歳以上だけは2割程度の認知度にとどまっています。

「アンコンシャス・バイアス」については全般的に認知度が低くなっています。

「どれも聞いたことがない」については、10、20歳代と60歳以上では回答が3割を超えており、若い世代と高齢の世代で用語の認知が不十分となっています。

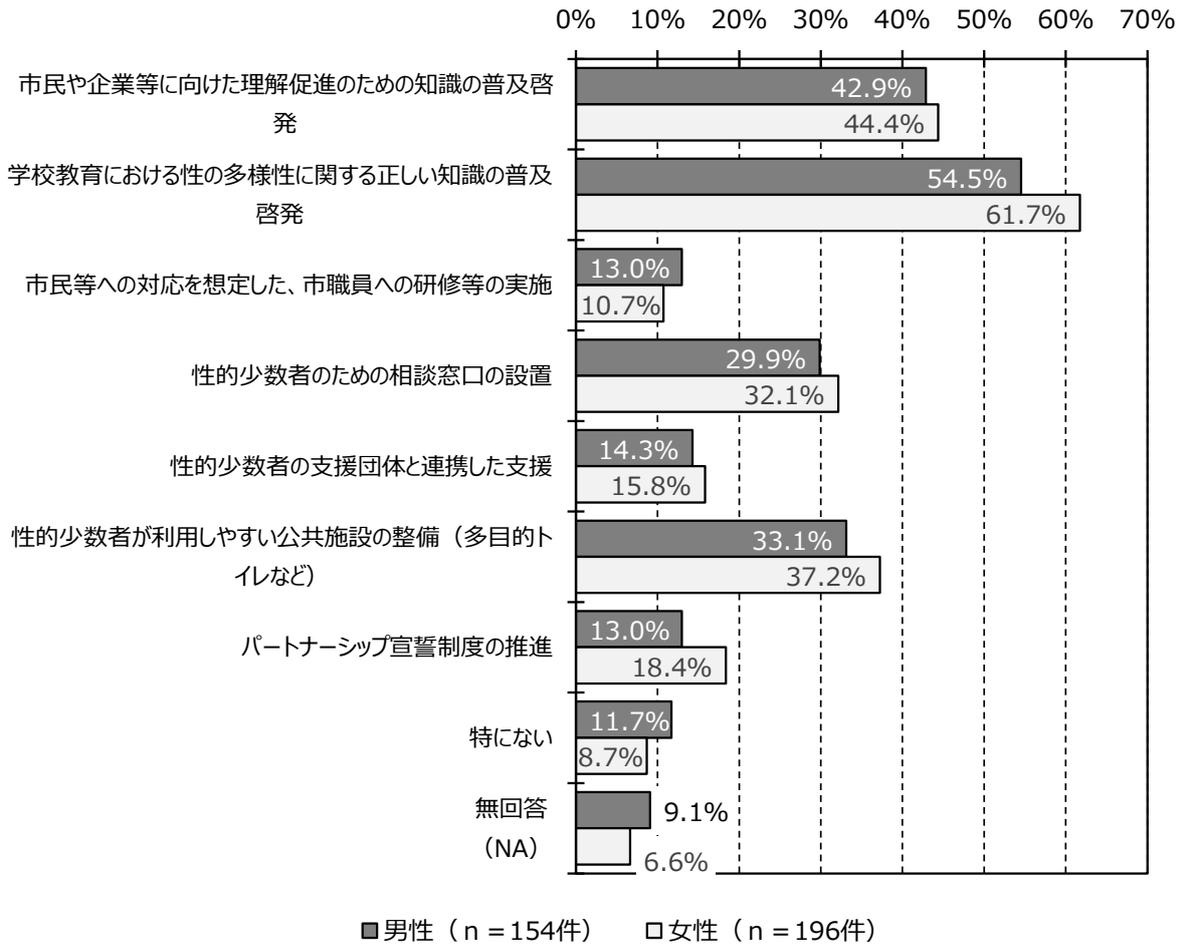
## 2) 性的少数者の支援のために必要なこと

問 28：性的少数者は人口の10%程度を占めているといわれ、偏見や差別、また日常生活の不便に苦しめられていることも少なくありません。これらの性的少数者を支援するためには何かが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



性的少数者の支援のために必要なこととして、全体では「学校教育における性の多様性に関する正しい知識の普及啓発」が58.7%でもっとも多く、ついで「市民や企業等に向けた理解促進のための知識の普及啓発」が43.6%となっています。

<性別>



性別にみても男女とも同様の傾向となっており、「学校教育における性の多様性に関する正しい知識の普及啓発」への回答がもっとも多く、ついで「市民や企業等に向けた理解促進のための知識の普及啓発」への回答が多くなっています。

多くの項目で男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

## [属性別にみた回答傾向]

### <全体>

		n	市民や企業等に向けた理解促進のための知識の普及啓発	学校教育における性の多様性に関する正しい知識の普及啓発	市民等への対応を想定した、市職員への研修等の実施	性的少数者のための相談窓口の設置	性的少数者の支援団体と連携した支援	性的少数者が利用しやすい公共施設の整備（多目的トイレなど）
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>43.6%</b>	<b>58.7%</b>	<b>11.7%</b>	<b>31.1%</b>	<b>15.1%</b>	<b>35.6%</b>
		351件	153件	206件	41件	109件	53件	125件
年齢	10・20歳代	100.0%	25.0%	50.0%	6.3%	31.3%	25.0%	43.8%
		16件	4件	8件	1件	5件	4件	7件
	30歳代	100.0%	37.5%	72.5%	17.5%	37.5%	22.5%	37.5%
		40件	15件	29件	7件	15件	9件	15件
	40歳代	100.0%	31.5%	50.0%	7.4%	20.4%	7.4%	33.3%
		54件	17件	27件	4件	11件	4件	18件
	50歳代	100.0%	45.7%	64.3%	12.9%	37.1%	17.1%	38.6%
		70件	32件	45件	9件	26件	12件	27件
60歳代	100.0%	53.2%	60.6%	11.9%	34.9%	14.7%	37.6%	
	109件	58件	66件	13件	38件	16件	41件	
70歳以上	100.0%	43.5%	50.0%	11.3%	22.6%	12.9%	27.4%	
	62件	27件	31件	7件	14件	8件	17件	
		n	パートナーシップ宣誓制度の推進	特になし	無回答 (NA)			
<b>全体</b>		<b>100.0%</b>	<b>16.0%</b>	<b>10.0%</b>	<b>7.7%</b>			
		351件	56件	35件	27件			
年齢	10・20歳代	100.0%	37.5%	6.3%	12.5%			
		16件	6件	1件	2件			
	30歳代	100.0%	22.5%	7.5%	2.5%			
		40件	9件	3件	1件			
	40歳代	100.0%	16.7%	13.0%	13.0%			
		54件	9件	7件	7件			
	50歳代	100.0%	18.6%	4.3%	5.7%			
		70件	13件	3件	4件			
60歳代	100.0%	14.7%	10.1%	4.6%				
	109件	16件	11件	5件				
70歳以上	100.0%	4.8%	16.1%	12.9%				
	62件	3件	10件	8件				

年齢別にみると、「学校教育における性の多様性に関する正しい知識の普及啓発」については、すべての年齢層で半数以上が必要なこととして挙げており、とくに30歳代では7割以上が必要としています。

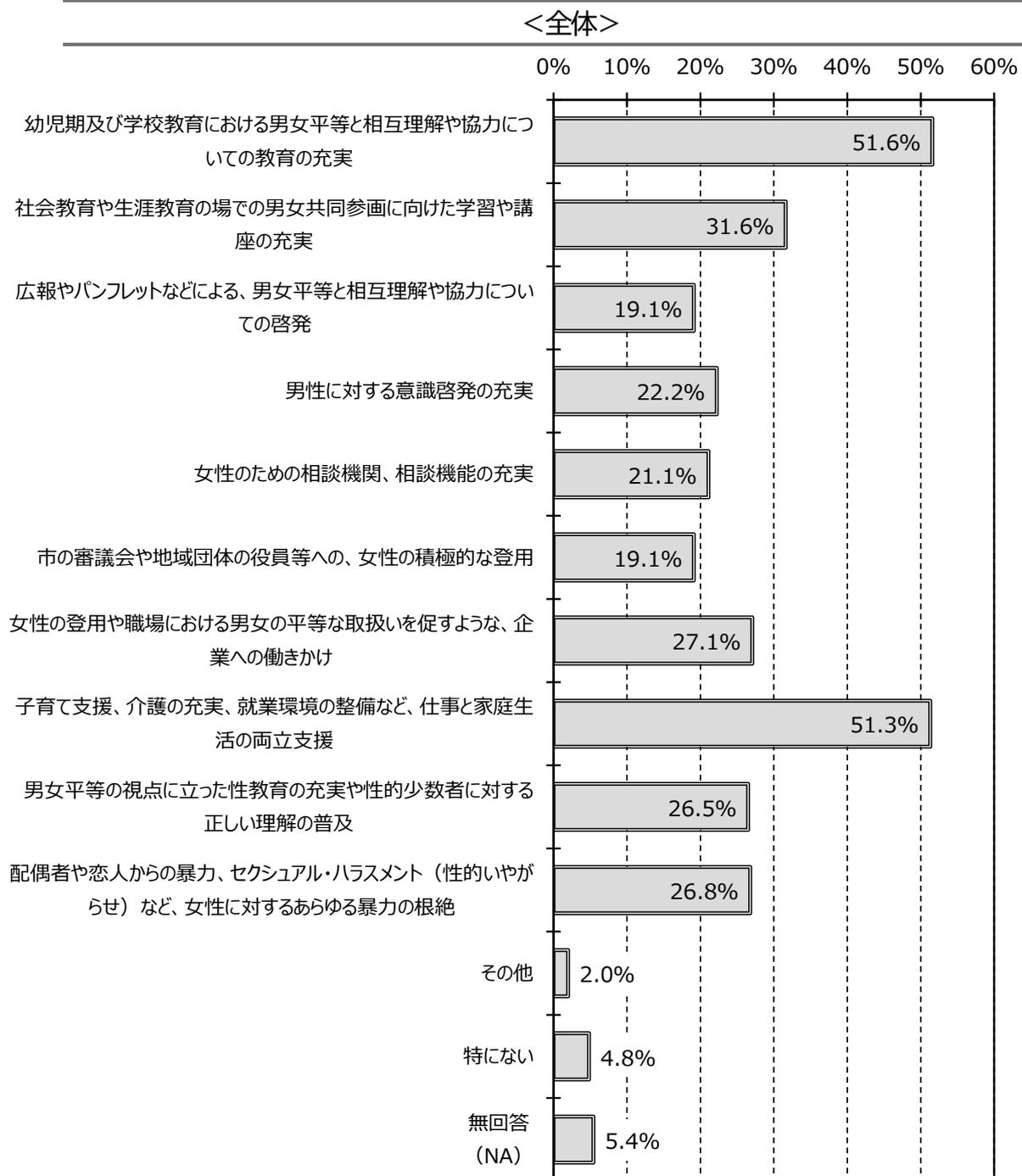
「市民や企業等に向けた理解促進のための知識の普及啓発」については、50歳以上で4割以上が必要として挙げています。

「性的少数者が利用しやすい公共施設の整備（多目的トイレなど）」と「パートナーシップ宣誓制度の推進」については、10・20歳代において回答の割合が他の年齢層よりも高くなっています。

## (6) 行政への要望についておうかがいします。

### 1) 男女共同参画社会の促進のために市に期待すること

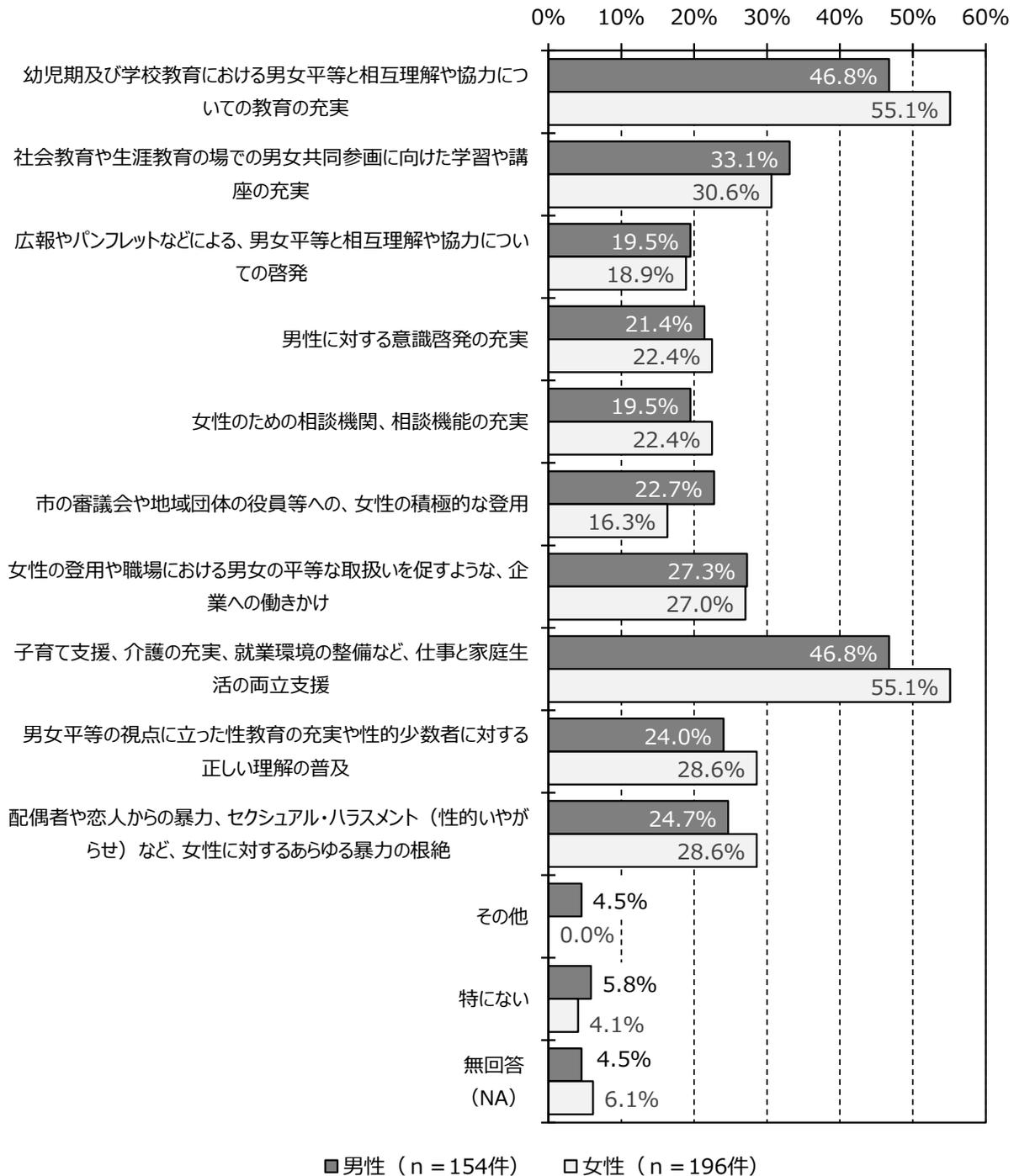
問 29：男性と女性が、あらゆる分野に対等なパートナーとして自らの意思で参画し、ともに責任を担う社会（男女共同参画社会）を実現するために、今後湯上市ではどのようなことをしていくべきだと思いますか。（〇はいくつでも）



□全体（n = 351件）

男女共同参画社会の促進のために市に期待することとして、全体では「幼児期及び学校教育における男女平等と相互理解や協力についての教育の充実」(51.6%)と「子育て支援、介護の充実、就業環境の整備など、仕事と家庭生活の両立支援」(51.3%)への回答が多くなっています。

<性別>



性別にみても、男女とも「幼児期及び学校教育における男女平等と相互理解や協力についての教育の充実」と「子育て支援、介護の充実、就業環境の整備など、仕事と家庭生活の両立支援」への回答が多くなっていますが、いずれも男性よりも女性の方が回答の割合が高くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

<全体>

		n	幼児期及び学校教育における男女平等と相互理解や協力についての教育の充実	社会教育や生涯教育の男女共同参画に向けた学習や講座の充実	広報やパンフレットなどによる、男女平等と相互理解や協力についての啓発	男性に対する意識啓発の充実	女性のための相談機関、相談機能の充実	市の審議会や地域団体の役員等への、女性の積極的な登用
<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>51.6%</b> 181件	<b>31.6%</b> 111件	<b>19.1%</b> 67件	<b>22.2%</b> 78件	<b>21.1%</b> 74件	<b>19.1%</b> 67件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	37.5% 6件	31.3% 5件	31.3% 5件	12.5% 2件	31.3% 5件	18.8% 3件
	30歳代	100.0% 40件	55.0% 22件	25.0% 10件	17.5% 7件	22.5% 9件	20.0% 8件	10.0% 4件
	40歳代	100.0% 54件	48.1% 26件	16.7% 9件	11.1% 6件	22.2% 12件	20.4% 11件	13.0% 7件
	50歳代	100.0% 70件	47.1% 33件	25.7% 18件	14.3% 10件	27.1% 19件	20.0% 14件	24.3% 17件
	60歳代	100.0% 109件	55.0% 60件	42.2% 46件	21.1% 23件	23.9% 26件	22.9% 25件	21.1% 23件
	70歳以上	100.0% 62件	54.8% 34件	37.1% 23件	25.8% 16件	16.1% 10件	17.7% 11件	21.0% 13件
	<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>27.1%</b> 95件	<b>51.3%</b> 180件	<b>26.5%</b> 93件	<b>26.8%</b> 94件	<b>2.0%</b> 7件
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	37.5% 6件	50.0% 8件	43.8% 7件	37.5% 6件	6.3% 1件	12.5% 2件
	30歳代	100.0% 40件	20.0% 8件	65.0% 26件	25.0% 10件	35.0% 14件	2.5% 1件	2.5% 1件
	40歳代	100.0% 54件	14.8% 8件	48.1% 26件	22.2% 12件	24.1% 13件	7.4% 4件	5.6% 3件
	50歳代	100.0% 70件	37.1% 26件	50.0% 35件	21.4% 15件	20.0% 14件	1.4% 1件	2.9% 2件
	60歳代	100.0% 109件	31.2% 34件	48.6% 53件	31.2% 34件	32.1% 35件	0.0% 0件	4.6% 5件
	70歳以上	100.0% 62件	21.0% 13件	51.6% 32件	24.2% 15件	19.4% 12件	0.0% 0件	6.5% 4件
	<b>全体</b>		<b>100.0%</b> 351件	<b>5.4%</b> 19件				
年齢	10・20歳代	100.0% 16件	6.3% 1件					
	30歳代	100.0% 40件	2.5% 1件					
	40歳代	100.0% 54件	1.9% 1件					
	50歳代	100.0% 70件	7.1% 5件					
	60歳代	100.0% 109件	4.6% 5件					
	70歳以上	100.0% 62件	9.7% 6件					

年齢別にみると、いずれの年齢層においても「幼児期及び学校教育における男女平等と相互理解や協力についての教育の充実」と「子育て支援、介護の充実、就業環境の整備など、仕事と家庭生活の両立支援」に期待するという回答が多くなっていますが、10・20歳代では、「男女平等の視点に立った性教育の充実や性的少数者に対する正しい理解の普及」に期待するという回答が43.8%で、他の年齢層よりも回答割合が高くなっています。

## 2) 市への意見・要望

問30：男女共同参画の推進について、市に対するご意見やご要望、アイデアなどがありましたらご自由にお書きください。

性別	年齢	居住地区	回答内容
男性	10・20歳代	天王地区	本当に市民が求めているのか？税金の無駄遣いはやめてほしい
男性	30歳代	天王地区	・潟上市のスポーツフェスタこれからもずっと開催してほしい。マラソン大会と駅伝、リレーマラソンなど開催して頂けたら嬉しい。 ・潟上市役所の職員の対応がとても親切で良い。
男性	30歳代	天王地区	このアンケートの結果がどのように活かされ、またどのように改善されたのか知りたい。
男性	30歳代	天王地区	男女共同参画の推進は素晴らしい、やるべき取り組みの一つだと思います。しかし、活動の方向がずれたり、間違ってしまうこと、また違った問題に発展してしまうと思うので注意が必要だと感じました。ここでの内容で感じたのは「男性」は女性を理解していない、という考えの基、話が展開されているのではということです。そもそも男女平等にという考えなのに女性だけの視点での質問が多く妻と一緒に不信感を感じました。「女性」と一括りで言っても、女性の中でも得意不得意もありますし、差別、偏見もあります。男性も一緒です。まずは、女性が男性がといった括りで考える思い込みをあえて一端止めてみて、個人一人一人が平等で共同参画できる社会を目指すことによって男女共同参画についても新たな、また、違った視点で考えられるのではないのでしょうか。こんな意見が少しでも活動の参考になったら幸いです。長文失礼致しました。
男性	40歳代	天王地区	秋田県、潟上市は30年～50年で人口は半分くらいになり100年もすれば、ほぼ人はいなくなるかと思えます。男女共同参画やってもムダだと思います。老人ばかりで、男も女もないような状況なので老人が生活しやすい秋田県、潟上市をめざしてほしい。秋田の現況をよく見るべき。
男性	40歳代	天王地区	各会社の給料を半分に、雇用を2倍にしましょう。休みがあるほうが幸せ。
男性	40歳代	天王地区	日本政府の男女共同参画政策は少子化対策とうまく噛み合っていない。理由は、政策が「男女を同じ条件で働かせる」ことに重点を置き、生物学的な出産リミットや育児負担の偏りといった現実を十分に考慮していないため、結果として結婚・出産の時期が遅れ、出生数減少を加速させているからであると考え。政府が進めている政策により少子化が進んでいるとすれば、潟上市は独自の政策も考える必要があると思う。
男性	40歳代	昭和地区	男女共同参画と言いつつ、質問が女性目線になって居ると思います。この世の中男性側が絶対有利ではなくバランスが必要と考えます。 教育に関しては子育て世代の前の男尊女卑世代が必要と感じます。孫の授業参観に祖父母を参加させて男女共同参画の授業を組み合わせさせてみてはいかがでしょうか。親子では考え方で反発が生まれるかもしれませんが、祖父母と孫では冷静な判断ができるのではないのでしょうか。

性別	年齢	居住地区	回答内容
男性	50 歳代	天王地区	アンケートの内容が、女性優位であり、男性も女性も生き生きと個性・能力を発揮できる社会を目指すために、かたよりのないアンケートを希望します。
男性	50 歳代	天王地区	取り組み開始から現在までの実績比較を公表して成果を示す 潟上市で取り組んでいる実態が全く見えない（アンケートがあり初めて意識した分野で、これまで全く気にかけた事が無かった）
男性	60 歳代	天王地区	・行政には何も期待していない。・出来れば、他市町村へ行きたい。
男性	60 歳代	天王地区	人口が増える様な対策を積極的に発信して行く様、お願い致します。
男性	60 歳代	昭和地区	幼稚園、保育園などの幼児を育てるために施設の充実を。
男性	70 歳以上	昭和地区	躰も幼児から。家庭環境が良ければ素直に育つと思っている。自分達、育てた時はただ悪い事せずにと行って来たが、褒める言葉も大事だと思う。
女性	10・20 歳代	昭和地区	男女共同と言っている時点でもう国も県も市も差別しているのかな？と少々疑問に思いました。お互いフォローしあう！などにしたほうが良いのかな？と私は思いました。男女共同や男女平等など、そもそも産まれてきた時点で、体等違うからどうがんばっても無理だと思います。ただもう少し市・県・国のほうで国民によりそってくれたら皆いいのかな？と思います。空きやなど多くてそれを利用して子供のいる家庭によりそうなどしていただきたいです。
女性	30 歳代	天王地区	男女平等だと思った事はありません。身体的にも精神的にも平等になるとは思えません。どちらかが意見をゆずらない限り理解が深まる事が無いと思っています。
女性	30 歳代	天王地区	保育施設に勤務している人の立場のことも考えて欲しいです。保護者の子育てを支えるため、土曜保育、延長保育をしているが、保護者の土曜保育のあずけ方、理由を見直して欲しいです。
女性	30 歳代	天王地区	市内の0歳児の保育園の受け入れが少ないように感じる。数年前と比べて、住宅地などが増え、子育て世代が増えている中で矛盾を感じる。支援などもあり、ありがたいが、待機児童が去年いなかったのに、今年の待ち順位の人数におどろいている、なにか対策を考えてほしい。
女性	30 歳代	天王地区	出産時など、パパマクラスは開催されているが、家事や育児に関するパパ向けの教室等を行ってほしい。妊娠、出産に関する知識がパパ達に十分でないと感じるため。育健の授業で学べるようにしたり、上記のようなパパ向けの教室で知識を得られるようにしてほしい。
女性	30 歳代	昭和地区	市内企業でセミナーを受けることを義務化する。若い方は柔軟に理解できますが、中高年の理解が全然足りていません。個人、一人一人の意識が変わらないと生きづらい社会は変わりません。どうか生きやすい市を実現させて下さい。
女性	40 歳代	天王地区	市役所も昔に比べれば女性が増えた印象です。自分達の目に見える所から変化が見えるのはいい事だと思います。

性別	年齢	居住地区	回答内容
女性	40歳代	天王地区	<p>「女性推進」「女性活躍」などという言葉がある時点で平等ではない気がしてモヤモヤします。そもそも男女関係なく能力がある人が活躍するべきです。</p> <p>一方で女性は個人差がありますがひと月のうち3~4日生理痛があり、妊娠出産も痛みと時間が伴います。不妊治療でも不快感と周りの理解がありません。</p> <p>村社会のためか職場などでは立ち入った個人的なこと、噂話など尽きません。とにかくハラスメントが多いです。</p> <p>どの年代の男性でも女性特有の痛み(生理・妊娠・出産など)を疑似体験する教育を義務化して欲しい。1度の体験で終了するものではなく。ただ、どこまでやっても所詮他人事としてしか考えないかもしれない。</p> <p>共働きでも家事は女性というのが根付きすぎている。男性に家事をお願いすると嫌々やります。ケンカになる家庭も多いのではないのでしょうか。昔からある女性への見下しは無くならないと思います。</p>
女性	40歳代	昭和地区	<p>「男性」はこうであるべき「女性」こうであるべきといった前提での質問が多く、市自体男女差別の意識を持っているのが見受けられます。そのような意識が根付いている以上、何度もこのようなアンケートを依頼されても意味なく思えます。市が考え方を改めるところから始めないといけないかと思えます。</p>
女性	40歳代	飯田川地区	<p>職種の違いにより意識の差がかなり激しいと思います。一方で、やはり男性が得意とする分野、女性が得意する分野があると思うので、差別ではなく差=違いというのは必ず、性差に限らず、個人差があると思います。</p>
女性	40歳代	飯田川地区	<p>結婚して潟上市に住み、出産した者です。潟上市は子を持つ女性が働きにくい所だと感じています。自宅保育を経て年少でこども園に入園、落ち着いたころ就活を始めましたが、潟上市にはそもそも企業が少なく、子を預けている時間帯で働けるところはほぼなく、あってもすぐに応募が終了してしまう。(同じ境地の人が多い) やっと見つけて面接を受ければ「子育てに協力してくれる人はいますか?」「子どもが体調不良になることがあると思いますが、極力休まないで下さい。」と言われてしまう始末。同じ園のママさんたちは、お子さんの体調不良で仕事を休むことが多くなれば上司から「自己管理がなっていない」と言われ、同僚からはグチグチ言われ、居づらくなって仕事を辞めてしまうそう、ほとんどの家庭で子の体調不良による早退や休みを取るのは母親です。母親の勤め先、父親、父親の勤め先、それぞれの子そだてに対する意識を変えていかないと、女性は子を持ったら働けないし、子を持つことがデメリットになってしまう。今よりも少しでもママたちが安心して働けるようになりましょう。</p>
女性	40歳代	不明	<p>潟上市に大きな企業を招き、大勢の潟上市民が働けるような状況をつくってほしい。男女共に雇用を促進する事で(大企業の)男性の育休等、夫婦共に協力し合える社会を作っていけると良いと思う。秋田市内から移り、土地が余っていることに驚いたのと、もっと若い人を呼んで住みやすい環境を作れたら、良い市になるのもいいと思いました。</p>

性別	年齢	居住地区	回答内容
女性	50 歳代	天王地区	他県より転入したものです。年配のかたが立てられていて（敬われている）、それで秩序も守られている良い社会だと思います。（都会は年配のかたをバカにしていることにしません）その反面、変化を嫌い、事無かれ主義、新しい意見なんてとんでもないという空気があるので、現況を変えるということは難しいと思います。地域特性に合わせて、ゆるやかな変化でいいと思います。（ある意味、人に優しい部分もあるので、そして陽気、そういう長所を活かしながらか啓発していくのがいいかと思います。）
女性	50 歳代	昭和地区	男女と区別して考えるのではなく、幼児、学校教育であたり前になるよう期待します。女性の結婚、出産、子育て10年～18年、仕事と子育てを両立する間の職場での認め方改革や、左記以外の女性の登用等（ここで差別も生じる）、女性の雇用、女性同志の対等な社会があって男女共同参画社会へつながると思います。女性においても環境が異なります。
女性	50 歳代	昭和地区	やはり最後は、行政が必ず「最後の砦」になっていくと思うので、しっかりと心のケア、安心して暮らせる社会になるようにサポートして欲しいと思っています。皆が平等に幸せに暮らせる潟上市であって下さい。
女性	50 歳代	昭和地区	意識改善、改革しないことには、先が見えないので、各々、先頭に立つ方々が見本を見せてくれたら、こんなことできるんだ、こんな考えあるんだと気づくかも。昭和生まれには長く強いられきたものがあるから意識改善には時間が要する。頑張ってください！！
女性	50 歳代	飯田川地区	まだまだ世の中が100%男女平等ではないので、この問題がすみやかに進んで解決して欲しいです。（男性の理解が一番大事だとは思いますが。）
女性	60 歳代	天王地区	地方ほど男尊女卑の考え方が根強くあり、家庭では男性が主導権を握るのがあたり前のようにまちがった考えをもっている人たちが少なくないと感じています。社会のしくみを変えるにはたくさんの時間がかかるので、まずは家庭生活において男女平等や互いに立場を尊重しあえるような働きかけを望んでいます。
女性	60 歳代	天王地区	男らしく、女らしく、これは悪い事ではないと思う。ただ男だから、女だからと言うので、これはしてはいけないとか、男だから出来るだろうとか、決めつけは、どうかと思う。男らしく、女らしくの中で、その中で個人として個性として、ひとりの人として見ていけばいい。男らしく、女らしく性別による子育ては、今は時代遅れな考え方だと思う。その子らしく、伸して、だからと言って「らしく」は、なくなってもいけないと思う。ある程度は、男らしく、女らしくの振り舞いはあるべきだと思う。
女性	60 歳代	天王地区	様々な声を発信できるような環境を作ってほしい。発信箱（投書箱）のようなものをスーパーやコンビニなど、人の良く行く場所に設置し、後に回収し、一覧にして市民が市民の声をみるができるよう可視化する取組を提案したい。可能なら全県に、県民全体が発信する（声を知る）声を共有できたら、もっと人に寛容に優しくなれるのではないかと思う。

性別	年齢	居住地区	回答内容
女性	60歳代	天王地区	予算が9兆円とも10兆円とも言われているが、その用途を詳しく確認したいので、市としても予算に対して実際にどの様に使われたのか、果して税金の使い方として正しいものか明確にして欲しい。一説にはヨガや韓国語講座等それが何の役に立つのかあきれてしまうものにもお金が流れていること聞く。又、子供の頃からの教育はとても大事だが、今の日本は、かたよった考えを押しつけて、NHKの報道のように中国寄りの教育にならないか心配で心配でたまりません。
女性	60歳代	天王地区	この後の30年、50年後は、男性、女性ではなく、幼児、子供、若年、初老、老人と年代での行政支援が必要になるのではないのでしょうか。結婚はしない、一人の生活者、人口の減少化、もっと骨太の行政を作ってください。
女性	60歳代	天王地区	父子家庭も応援してもらいたい
女性	60歳代	昭和地区	潟上市は若いカップル、子供達が多く、反面お年寄りも多い。どちらも大切な潟上市民ですので、どちらにとっても住みやすい街づくりをお願いいたします。
女性	60歳代	昭和地区	公務員はできても、民間企業では、なかなかむずかしい。利益の追求をめざしているから。
女性	60歳代	昭和地区	問29の1～10についての取り組みを充実させて欲しい。
女性	70歳以上	天王地区	私は年令84才。時代はかなり変化し、今の若い人達は男性もかなり奥様に対して協力的になっている事はうれしい限りです。少しずつでも平等と理解を深めて行く将来でありますように。
女性	70歳以上	天王地区	長いき世代で男性の係わり方が少ない。高齢者の生き方の工夫など。参加させるためには何が必要か？
女性	70歳以上	天王地区	職員をはじめ市のトップが理解し率先すべき。
女性	70歳以上	昭和地区	昭和世代、特に老人達の考えを変えることは大変なこと。急かず、ゆっくり進めてもいいのでは。
女性	70歳以上	昭和地区	年代の違いか、共稼ぎしているためか、若い人達は家事、育事等私達には考えられなかった様に分担し助け合っておる様見受けられ、この問題はこれからの人達の意見を聞き進める事と思います。老々介護をしている自分にはむずかしいアンケートでした。
女性	70歳以上	飯田川地区	男女それぞれに異性に対する不満、願望のアンケート調査を試みる。男女共同参画の推進はされてきているが、まだ、多少の温度差はあると思う。
女性	70歳以上	飯田川地区	子供から大人までわかりやすい講習を一緒に受けたいものです。潟上市民が本計画についてどのように考えているのかアンケートの結果なども知りたい。

潟上市男女共同参画推進計画に関する市民アンケート調査  
[アンケート調査結果報告書]

令和7年9月

編集	潟上市総務部企画政策課企画政策班  〒010-0201 秋田県潟上市天王字棒沼台 226 番地 1 TEL:018-853-5302
----	--